

---

吹田市  
健康に関する市民意識アンケート調査 2025  
報告書（単純集計）（案）

---

令和8年〇月

吹 田 市



## 目次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査期間	1
(4) 調査方法	1
(5) 配布数及び有効回答数、回答率	1
(6) 調査結果の表示方法	1
2. 健康に関する市民意識アンケート調査結果（一般市民）	2
(1) あなた自身のことについて	2
(2) 食生活等について	10
(3) 運動の状況等について	18
(4) こころの健康等について	21
(5) 歯の健康等について	28
(6) お酒を飲む機会等について	30
(7) 喫煙状況等について	32
(8) 健診や医療機関の受診状況等について	37
(9) その他のことについて	41
3. 健康に関する市民意識アンケート調査結果（保護者）	46
(1) あなた自身のことについて	46
(2) お子さんのことについて	53
(3) お子さんの食生活等について	56
(4) お子さんの運動の状況等について	61
(5) お子さんのこころの健康等について	63
(6) お子さんの歯の健康等について	70
(7) お子さんの周りの喫煙状況等について	71



## 1. 調査の概要

### (1) 調査の目的

健康増進に関する計画策定や評価、保健活動の基礎資料として、調査を実施しました。

### (2) 調査対象

- ① 一般市民対象調査：18歳以上の市民（2,500人）
- ② 保護者対象調査：2歳以上18歳未満の子供の保護者（1,000人）

### (3) 調査期間

令和7年11月1日（土）から令和7年11月25日（火）

### (4) 調査方法

調査票を郵送にて配布。回答は郵送又はWEBにて回収。

### (5) 配布数及び有効回答数、回答率

	配布数	有効回答数	有効回答率
一般市民	2,500通	1,268通	50.7%
保護者	1,000通	632通	63.2%

### (6) 調査結果の表示方法

- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- ② 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ③ 前回調査と設問の選択肢が同一であり、かつ統計的に有意な差が認められたものについては、「有意差あり」と記載しています。
- ④ 前回調査と今回調査の結果を併記した図表のうち、設問文や選択肢を変更した項目については、前回調査との厳密な比較は困難ですが、回答傾向の把握を目的として、回答の合算値を参考として示しています。

## 2. 健康に関する市民意識アンケート調査結果（一般市民）

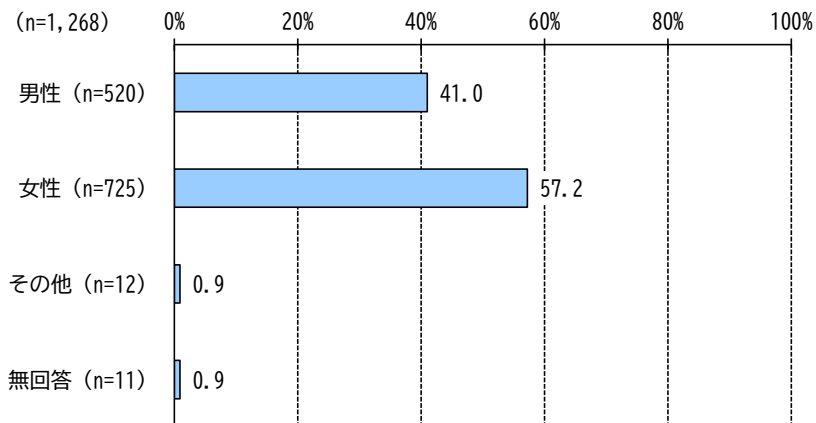
### （1）あなた自身のことについて

問1 性別は次のどれにあてはまりますか。（あてはまるもの1つに○）

【全体】

○ 性別について、「女性」が57.2%、「男性」が41.0%となっています。

【図 1-1 性別】

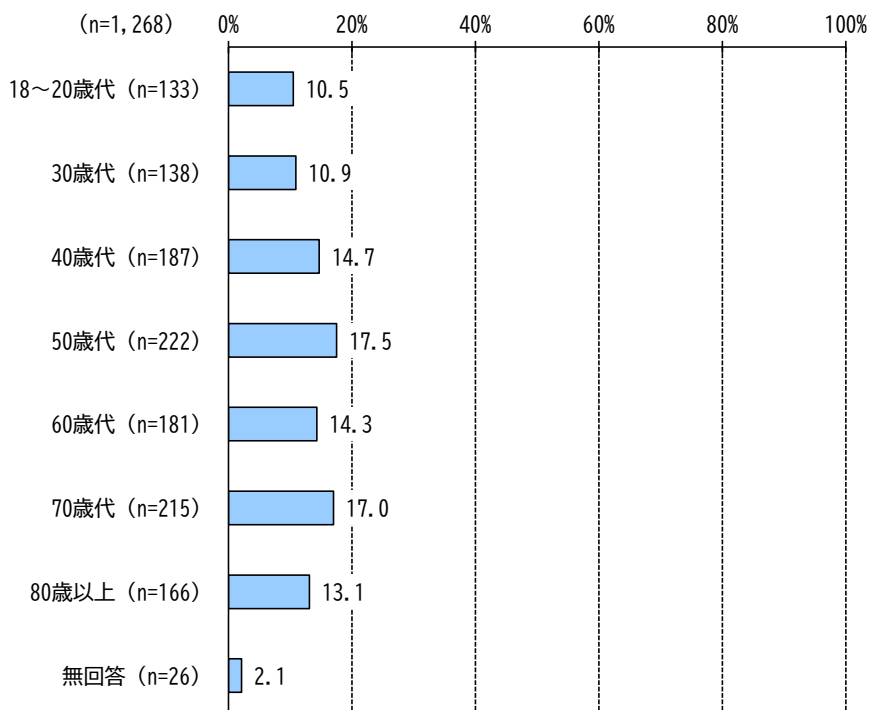


問2 現在、何歳ですか。（令和7年（2025年）10月1日時点）

【全体】

○ 年齢について、「50歳代」が17.5%、次いで「70歳代」が17.0%、「40歳代」が14.7%となっています。

【図 1-2 年齢】

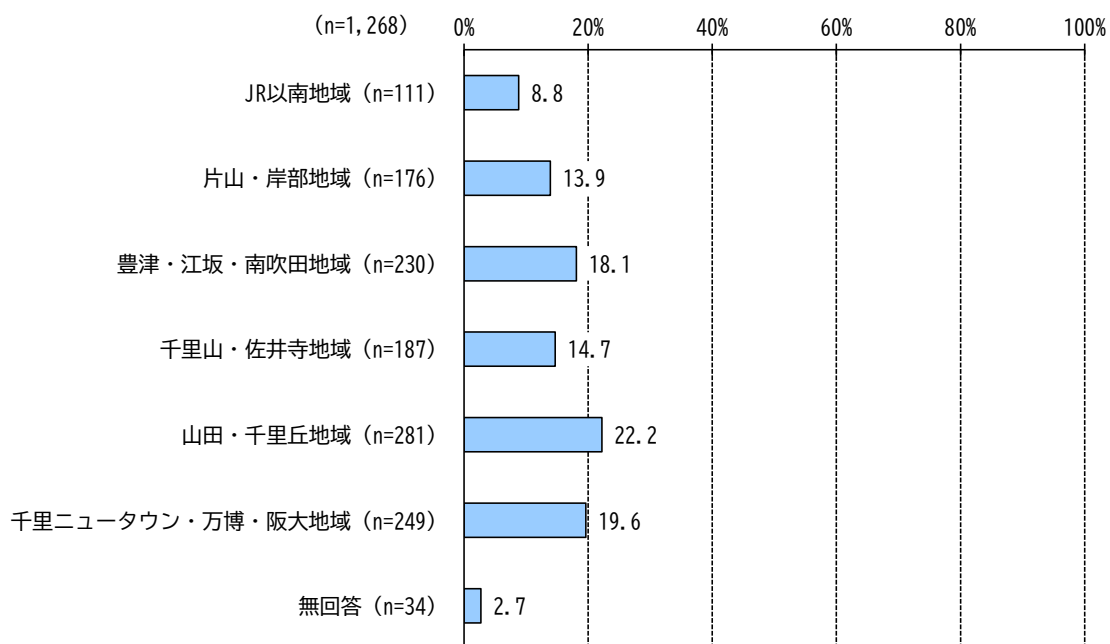


問3 現在、お住まいの地域はどこですか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】

- 居住地域について、「山田・千里丘地域」が22.2%、次いで「千里ニュータウン・万博・阪大地域」が19.6%、「豊津・江坂・南吹田地域」が18.1%となっています。

【図 1-3 居住地域】

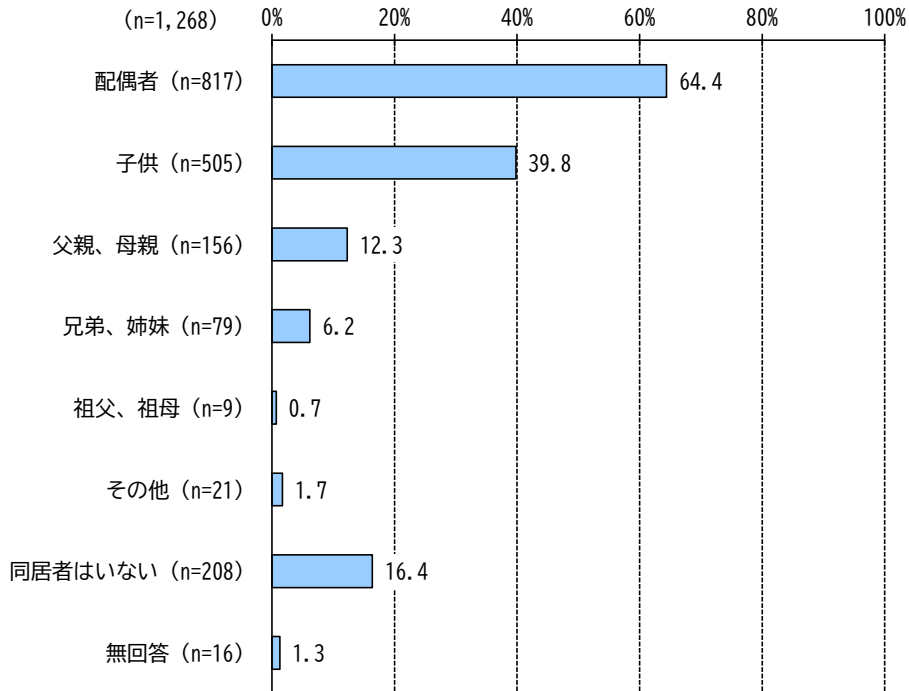


問4 現在、同居している人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

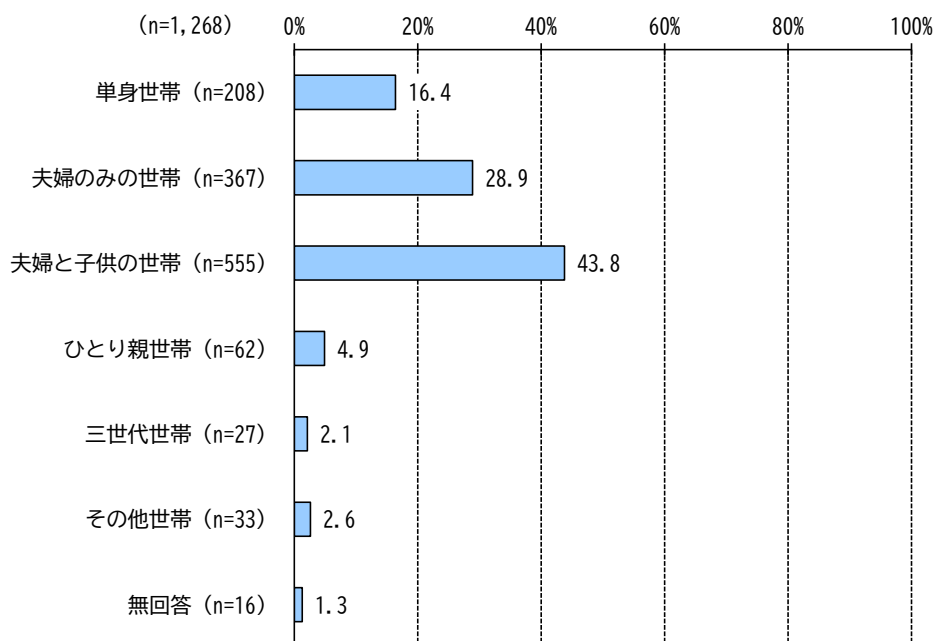
※あなたからみた続柄でお答えください。

- 【全体】**
- 家族構成について、「配偶者」が 64.4%、次いで「子供」が 39.8%、「同居者はいない」が 16.4%となっています。
  - 世帯構成について、「夫婦と子供の世帯」が 43.8%、次いで「夫婦のみの世帯」が 28.9%、「単身世帯」が 16.4%となっています。

**【図 1-4 家族構成】**



**【図 1-5 世帯構成】**

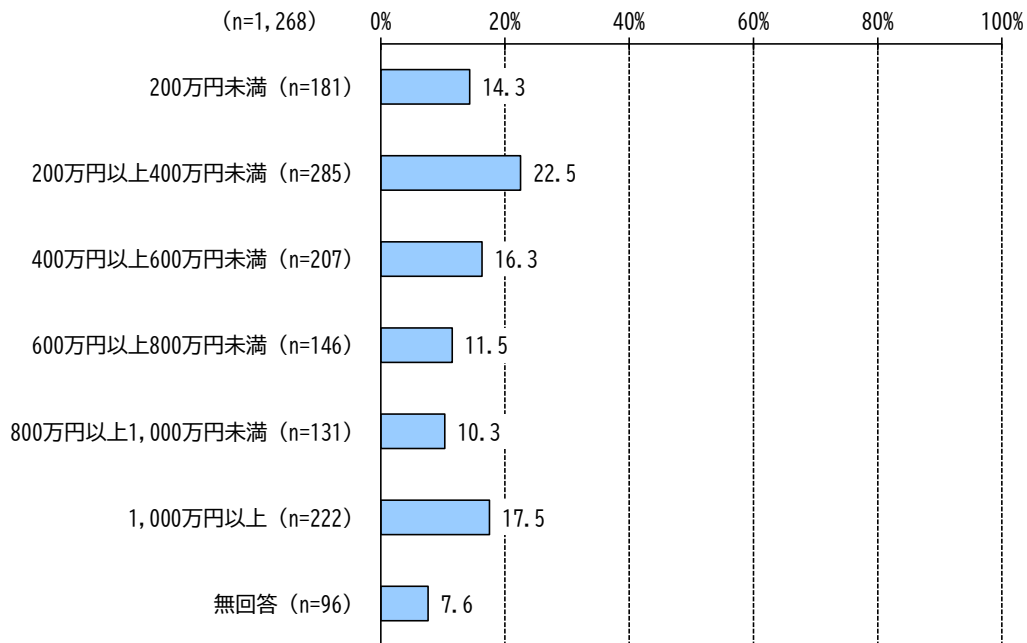


※三世帯世帯とは、回答者との続柄が、祖父母、父母（又は配偶者の父母）、配偶者、子供（又は子供の配偶者）及び孫の直系世代のうち、3つ以上の世代が同居していることが判定可能な世帯をいいます。

問5 世帯全体の年間の収入は次のどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】  
 ○ 世帯年収について、「200万円以上 400万円未満」が22.5%、次いで「1,000万円以上」が17.5%、「400万円以上 600万円未満」が16.3%となっています。

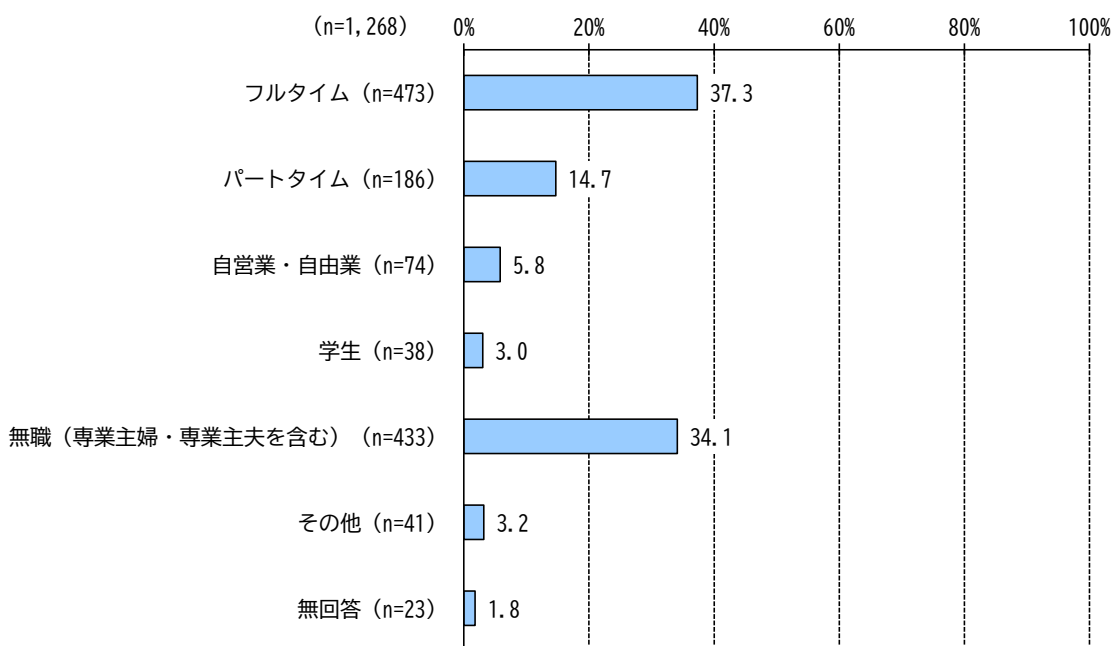
【図 1-6 世帯年収】



問6 主たる就業・就学状況は次のどれにあてはまりますか。(もっともあてはまるもの1つに○)

【全体】  
 ○ 就業・就学状況について、「フルタイム」が37.3%、次いで「無職（専業主婦・専業主夫を含む）」が34.1%、「パートタイム」が14.7%となっています。

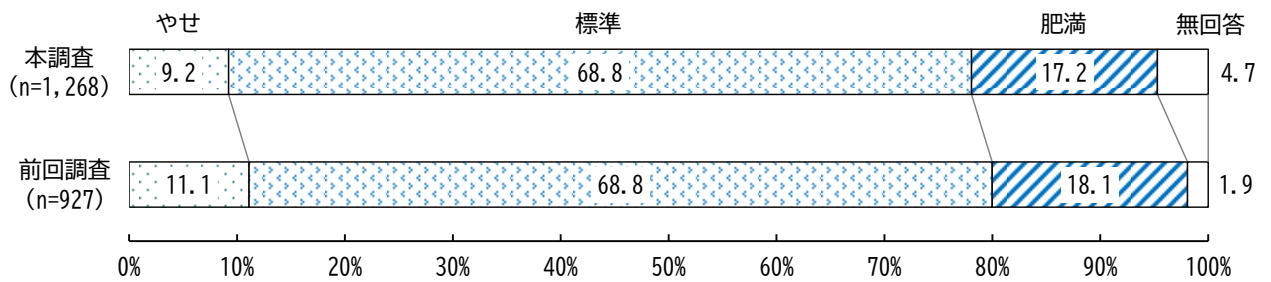
【図 1-7 就業・就学状況】



問7 身長と体重はどのくらいですか。

**【全体】**  
 ○ BMI（やせ・標準・肥満）について、「標準」が 68.8%、次いで「肥満」が 17.2%、「やせ」が 9.2%となっています。

【図 1-8 BMI（やせ・標準・肥満）】



BMI (kg/m <sup>2</sup> )	体格
18.5未満	やせ
18.5～25未満	標準
25以上	肥満

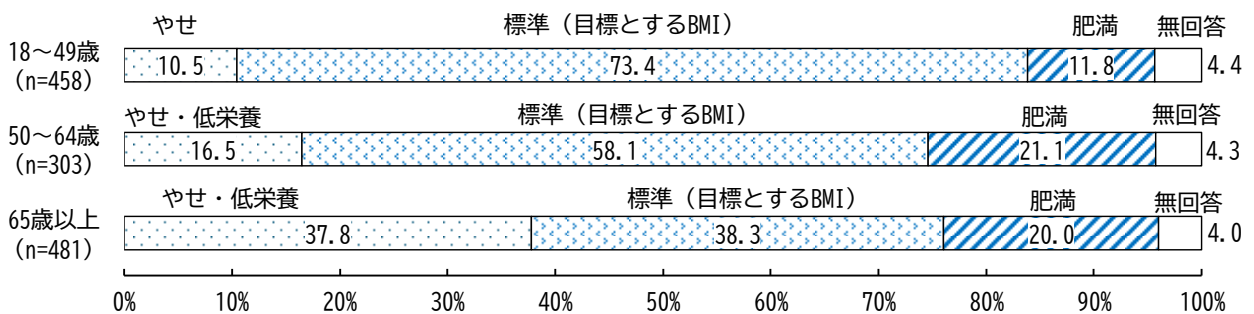
※BMI (Body mass index) とは、身長と体重から算出される肥満の度合いを判定する数値であり、身長・体重から BMI を算出して分類します。

<計算式> 体重[kg] ÷ (身長[m] × 身長[m])

低栄養を含むBMI

**【全体】**  
 ○ 18～49歳について、「標準（目標とするBMI）」が 73.4%、次いで「肥満」が 11.8%、「やせ」が 10.5%となっています。  
 ○ 50～64歳について、「標準（目標とするBMI）」が 58.1%、次いで「肥満」が 21.1%、「やせ・低栄養」が 16.5%となっています。  
 ○ 65歳以上について、「標準（目標とするBMI）」が 38.3%、次いで「やせ・低栄養」が 37.8%、「肥満」が 20.0%となっています。

【図 1-9 低栄養を含むBMI】



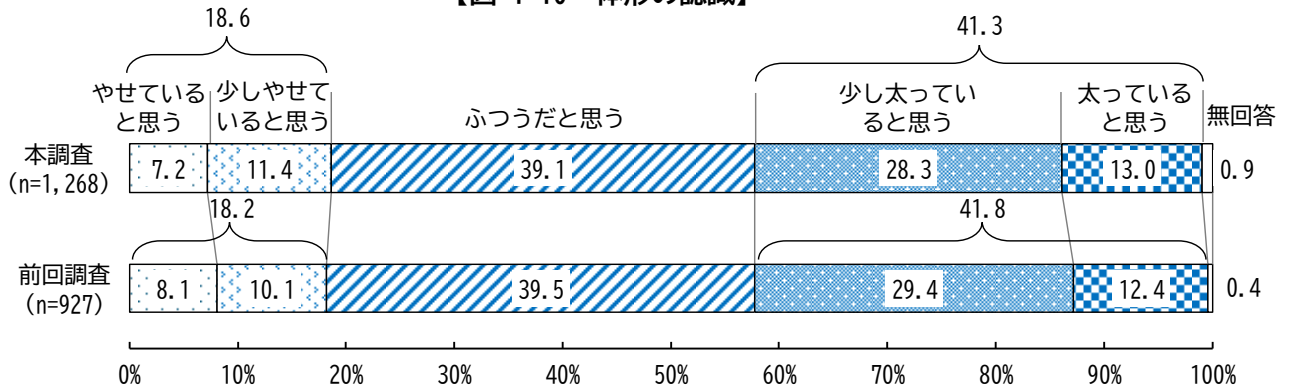
年齢	目標とするBMI (kg/m <sup>2</sup> )
18～49歳	18.5～25未満
50～64歳	20.0～25未満
65歳以上	21.5～25未満

※本区分は、総死亡率の低減に加え、主な生活習慣病の有病率や身体機能の低下、その他考慮すべき健康障害等との関連を踏まえて策定された厚生労働省「日本人の食事摂取基準（2025年度版）」に基づいて整理しています。

問8 あなたは、ご自身の体形についてどう感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- 体形の認識について、「ふつうだと思う」が 39.1%、次いで「少し太っていると思う」が 28.3%、「太っていると思う」が 13.0%となっています。
  - 「やせていると思う」「少しやせていると思う」を合わせた“やせていると思っている人”は 18.6%となっており、「少し太っていると思う」「太っていると思う」を合わせた“太っていると思っている人”は 41.3%となっています。
  - 問7の BMI と比較すると、BMI が肥満に該当する人は 17.2%である一方、“太っていると思っている人”は 41.3%と多くなっており、実際の体型と自己認識の間に解離がみられます。

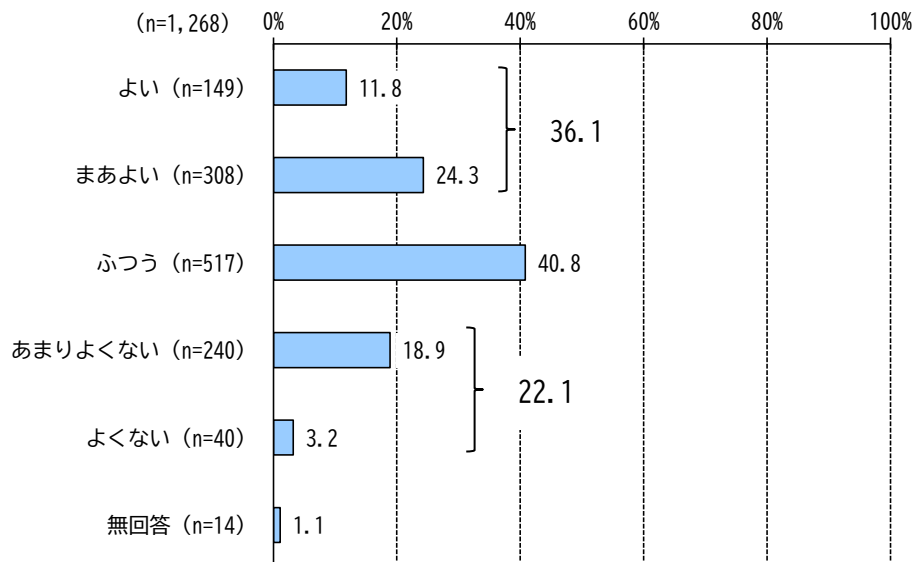
【図 1-10 体形の認識】



問9 あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- 現在の健康状態について、「ふつう」が 40.8%、次いで「まあよい」が 24.3%、「あまりよくない」が 18.9%となっています。
  - 「よい」「まあよい」を合わせた“よいと感じている人”は 36.1%となっており、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくないと感じている人”は 22.1%となっています。

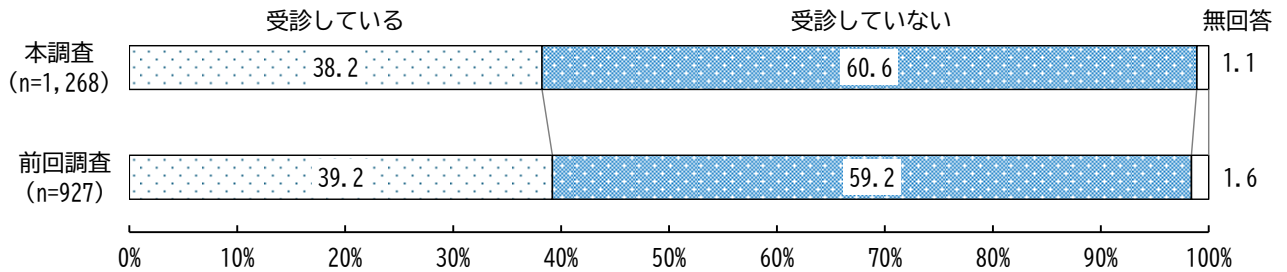
【図 1-11 現在の健康状態】



問10 現在、生活習慣病の治療（通院による定期的な検査や生活習慣の改善指導を含む）のため、定期的に医療機関を受診していますか。（あてはまるもの1つに○）

【全体】  
○ 生活習慣病治療のための定期的な医療機関の受診状況について、「受診している」が38.2%、「受診していない」が60.6%となっています。

【図 1-12 生活習慣病治療のための定期的な医療機関の受診状況】

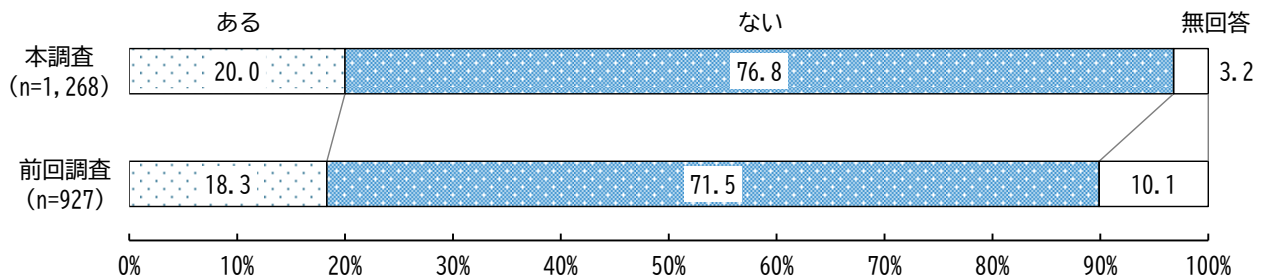


※生活習慣病とは、高血圧、糖尿病、脂質異常症、がん、心筋梗塞、脳梗塞等の病気をいいます。

問11 現在、健康上の問題で日常生活に何か影響(支障)はありますか。（あてはまるもの1つに○）

【全体】  
○ 日常生活における健康上の問題による影響の有無について、「ある」が20.0%、「ない」が76.8%となっています。  
【本調査と前回調査との比較】  
○ 「ない」は前回調査(71.5%)から5.3ポイント増加しています。

【図 1-13 日常生活における健康上の問題による影響の有無】

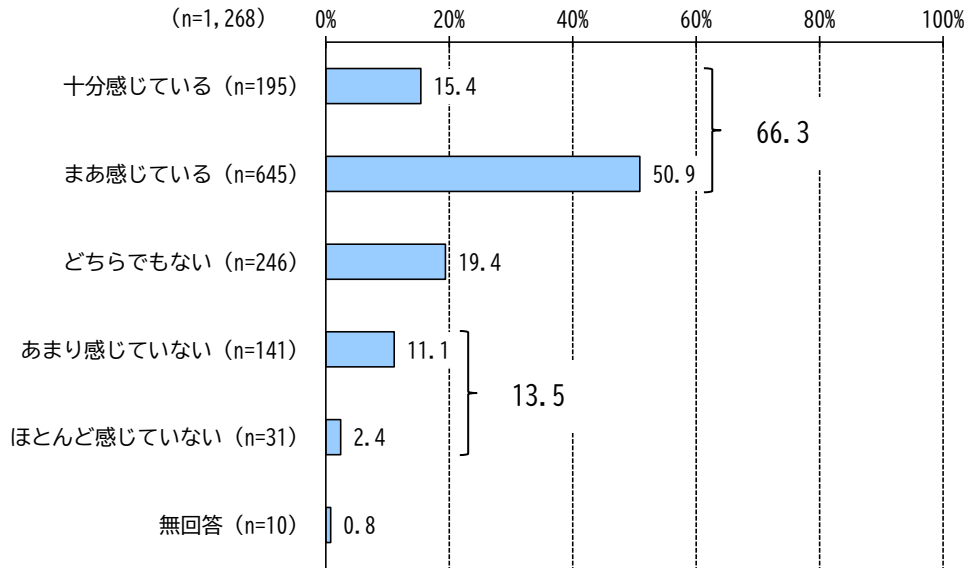


問12 あなたは、日頃の生活の中で、どの程度充実感を感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】

- 日頃の生活の中での充実感について、「まあ感じている」が 50.9%、次いで「どちらでもない」が 19.4%、「十分感じている」が 15.4%となっています。
- 「十分感じている」「まあ感じている」を合わせた“感じている人”は66.3%となっており、あまり感じていない「ほとんど感じていない」を合わせた“感じていない人”は13.5%となっています。

【図 1-14 生活の充実感】

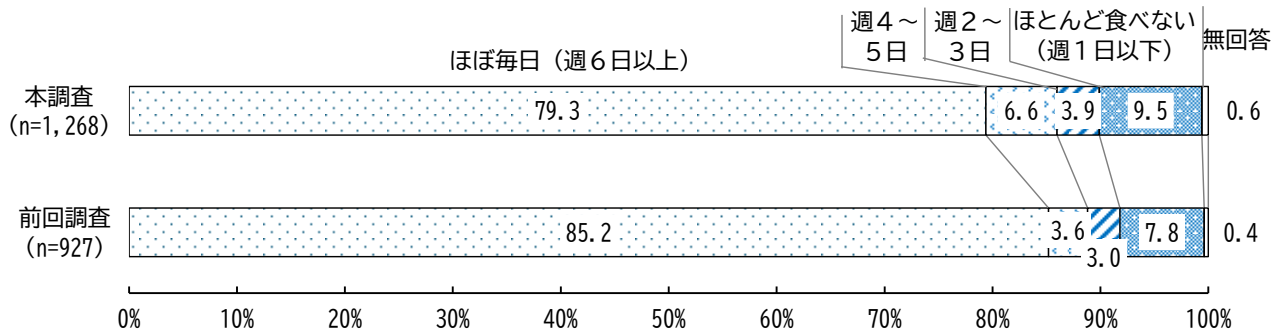


## (2) 食生活等について

問1 ふだん朝食を食べていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- 朝食を食べる頻度について、「ほぼ毎日(週6日以上)」が79.3%、次いで「ほとんど食べない(週1日以下)」が9.5%、「週4~5日」が6.6%となっています。
- 【本調査と前回調査との比較】
- 「ほぼ毎日(週6日以上)」は前回調査(85.2%)から5.9ポイント減少しています。〈有意差あり〉
  - 「週4~5日」は前回調査(3.6%)から3.0ポイント増加しています。〈有意差あり〉

【図 2-1 朝食を食べる頻度】



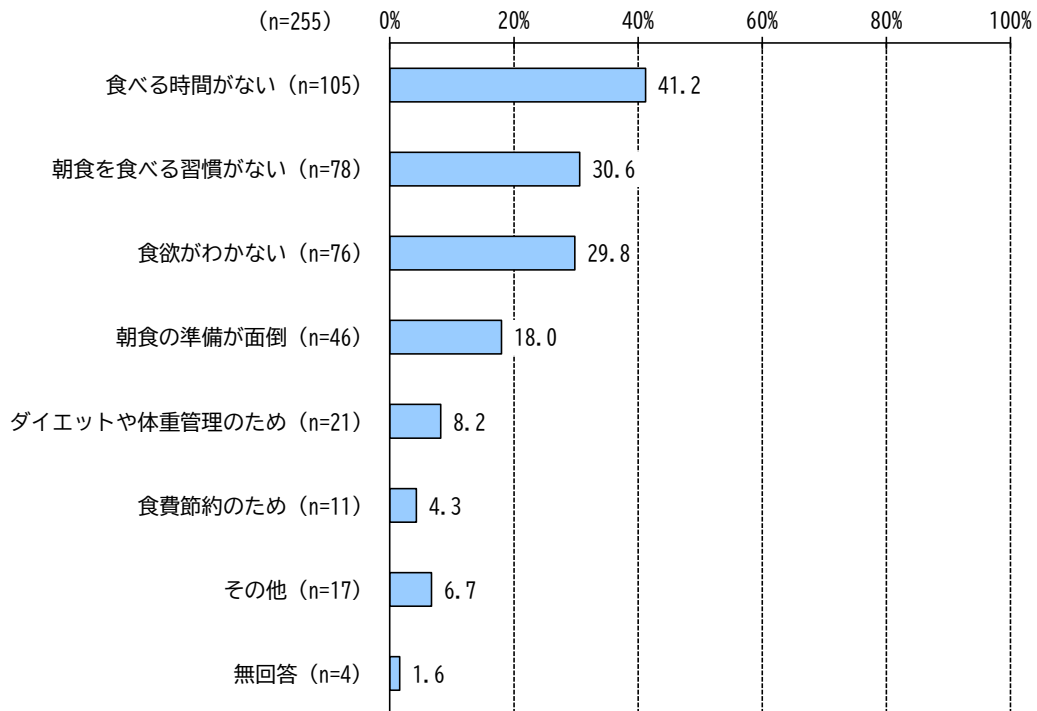
※エネルギーのない食品(水、無糖の飲料、サプリメント等)のみは朝食に含みません。

【問1で「週4~5日」「週2~3日」「ほとんど食べない」と回答した人にお聞きします。】

問1-1 朝食を食べていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 【全体】
- 朝食を食べない理由について、「食べる時間がない」が41.2%、次いで「朝食を食べる習慣がない」が30.6%、「食欲がわかない」が29.8%となっています。

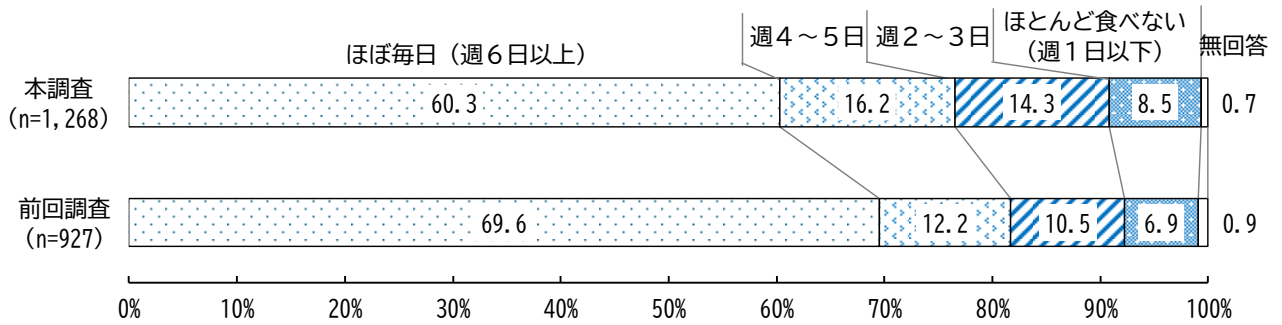
【図 2-2 朝食を食べない理由】



問2 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度について、「ほぼ毎日（週6日以上）」が60.3%、次いで「週4～5日」が16.2%、「週2～3日」が14.3%となっています。
  - 【本調査と前回調査との比較】
  - 「ほぼ毎日（週6日以上）」は前回調査（69.6%）から9.3ポイント減少しています。〈有意差あり〉
  - 「週4～5日」は前回調査（12.2%）から4.0ポイント増加しています。〈有意差あり〉

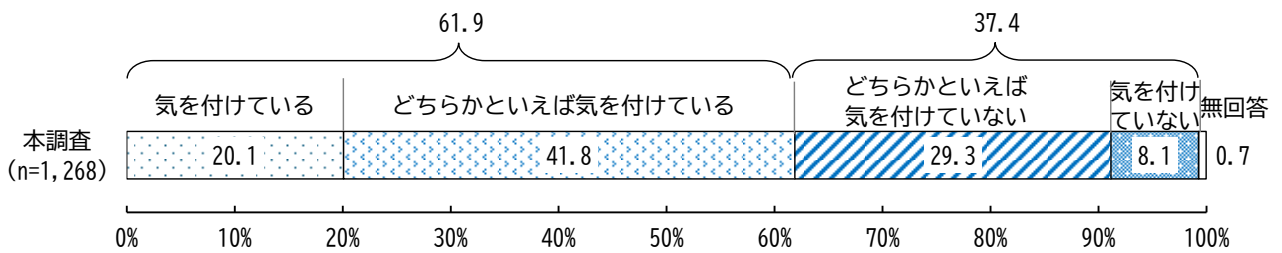
【図 2-3 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度】



問3 よく噛んで食べることに気を付けていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- よく噛んで食べることに気を付けているかについて、「どちらかといえば気を付けている」が41.8%、次いで「どちらかといえば気を付けていない」が29.3%、「気を付けている」が20.1%となっています。
  - 「気を付けている」「どちらかといえば気を付けている」を合わせた“気を付けている人”は61.9%となっており、「どちらかといえば気を付けていない」「気を付けていない」を合わせた“気を付けていない人”は37.4%となっています。

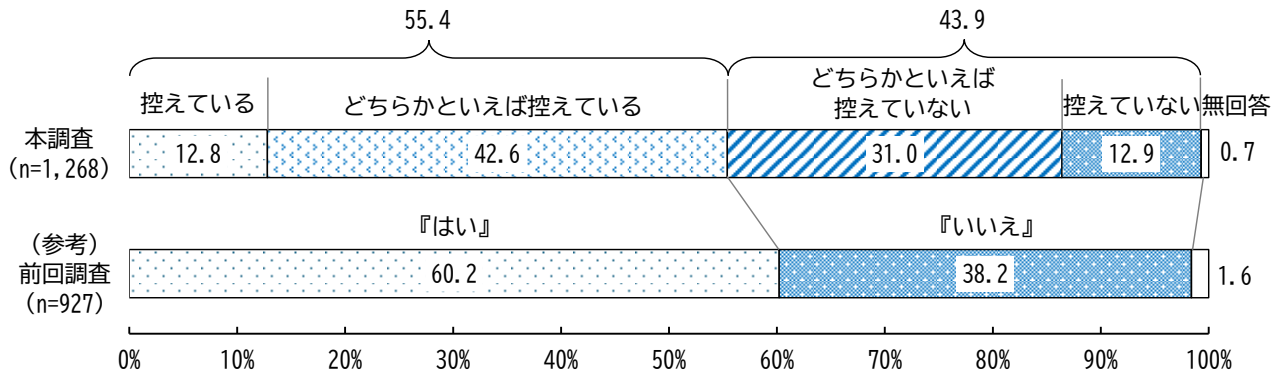
【図 2-4 よく噛んで食べることへの意識】



問4 塩分を多く含む食品（食事）を控えていますか。（あてはまるもの1つに○）

- 【全体】
- 塩分を多く含む食品を控えているかについて、「どちらかといえば控えている」が 42.6%、次いで「どちらかといえば控えていない」が 31.0%、「控えていない」が 12.9%となっています。
  - 「控えている」「どちらかといえば控えている」を合わせた“控えている人”は 55.4%となっており、「どちらかといえば控えていない」「控えていない」を合わせた“控えていない人”は 43.9%となっています。

【図 2-5 塩分を多く含む食品（食事）を控える意識】



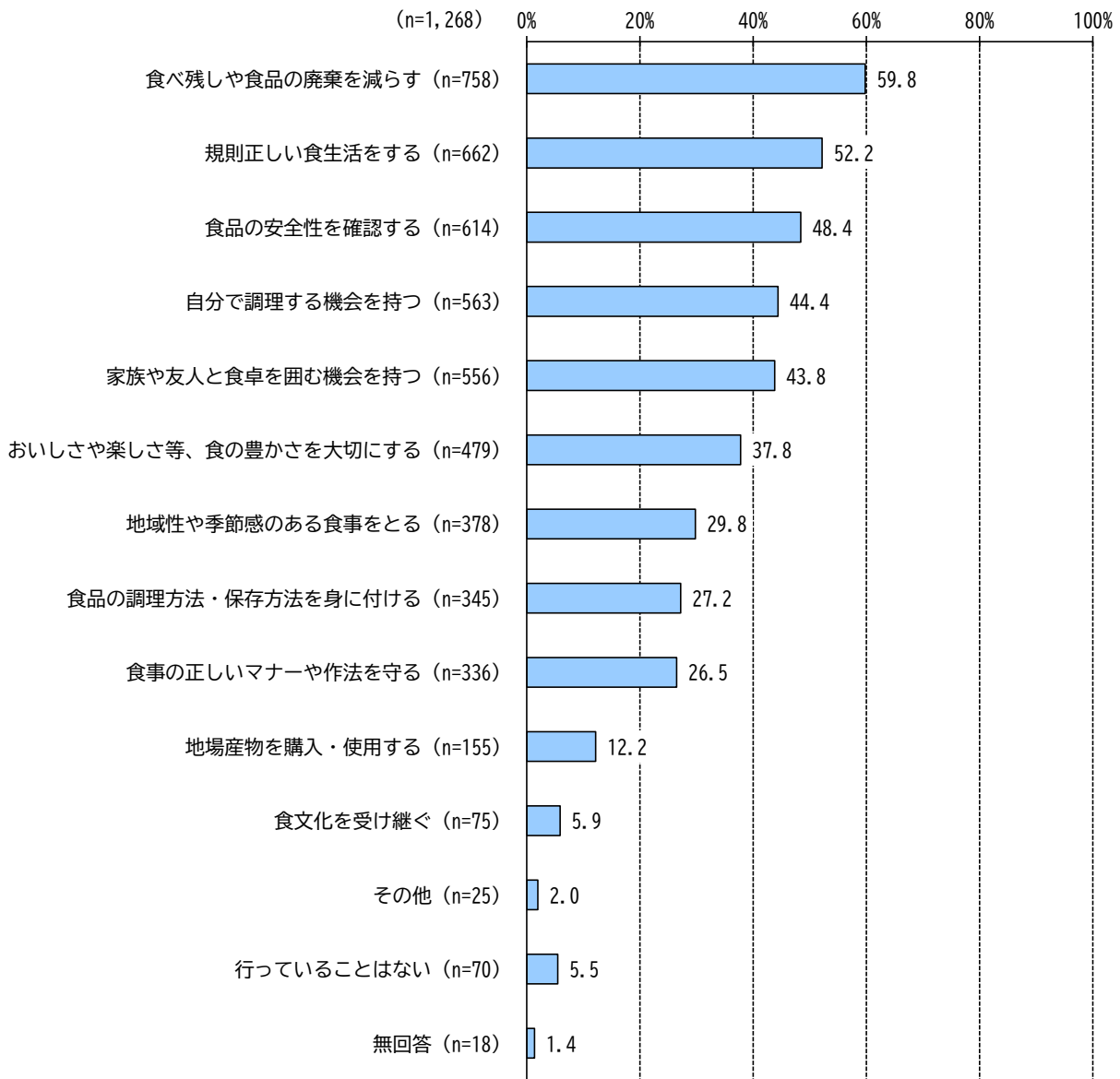
※前回調査は選択肢が異なるため、参考として掲載しています。

問5 ふだんの食生活で心がけていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- ふだんの食生活で心がけていることについて、「食べ残しや食品の廃棄を減らす」が 59.8%、次いで「規則正しい食生活をする」が 52.2%、「食品の安全性を確認する」が 48.4%となっています。

【図 2-6 ふだんの食生活で心がけていること】



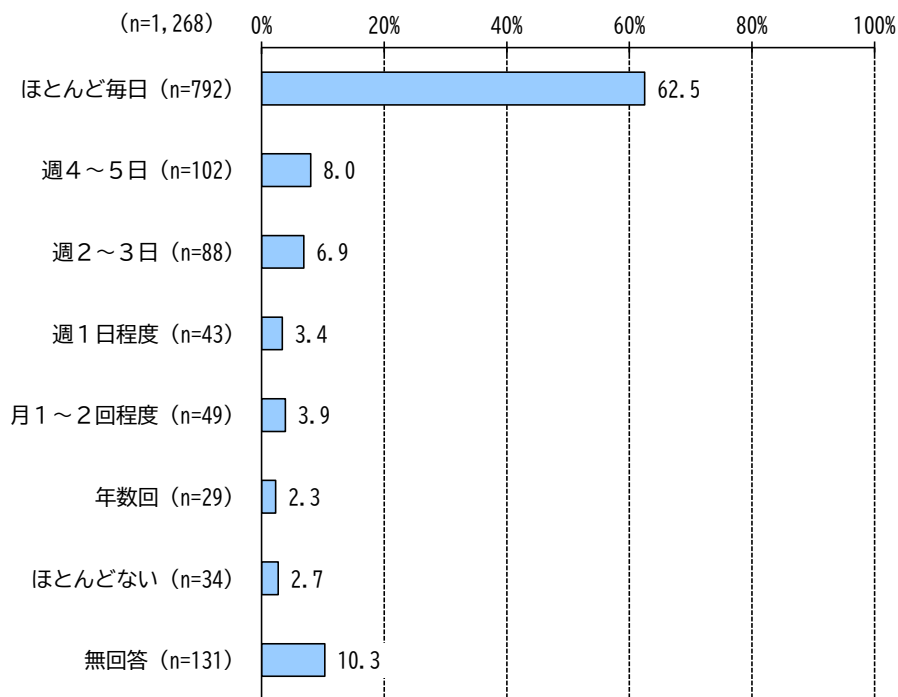
※地場産物とは、自分たちが住んでいる地域で生産・収穫された食べ物のことをいいます。

※食品の安全性とは、食品の安全性には、食品を買うときや食べるときに容器や包装に記載されている「消費期限」、「アレルギー表示」等を確認するといった行動が含まれます。

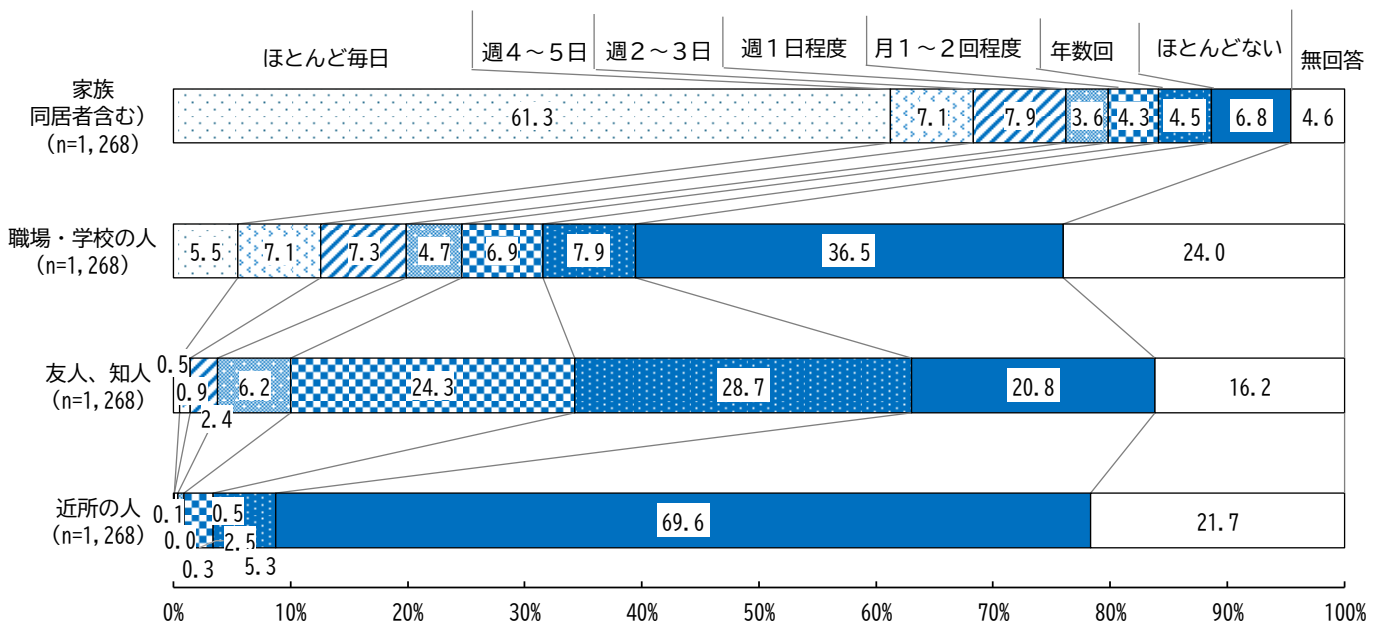
問6 家庭（同居者含む）や職場、学校、お住まいの地域において、誰かと一緒に食事することはどのくらいありますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

- 【全体】
- 共食の頻度について、「ほとんど毎日」が 62.5%、次いで「週4～5日」が 8.0%、「週2～3日」が 6.9%となっています。
- 【選択肢別】
- 家族（同居者含む）について、「ほとんど毎日」が 61.3%、次いで「週2～3日」が 7.9%、「週4～5日」が 7.1%となっています。
  - 職場・学校の人について、「ほとんどない」が 36.5%、次いで「年数回」が 7.9%、「週2～3日」が 7.3%となっています。
  - 友人、知人について、「年数回」が 28.7%、次いで「月1～2回程度」が 24.3%、「ほとんどない」が 20.8%となっています。
  - 近所の人について、「ほとんどない」が 69.6%、次いで「年数回」が 5.3%、「月1～2回程度」が 2.5%となっています。

【図 2-7 共食の頻度（いずれかの共食の機会のうち、最も頻度が多いもの）】



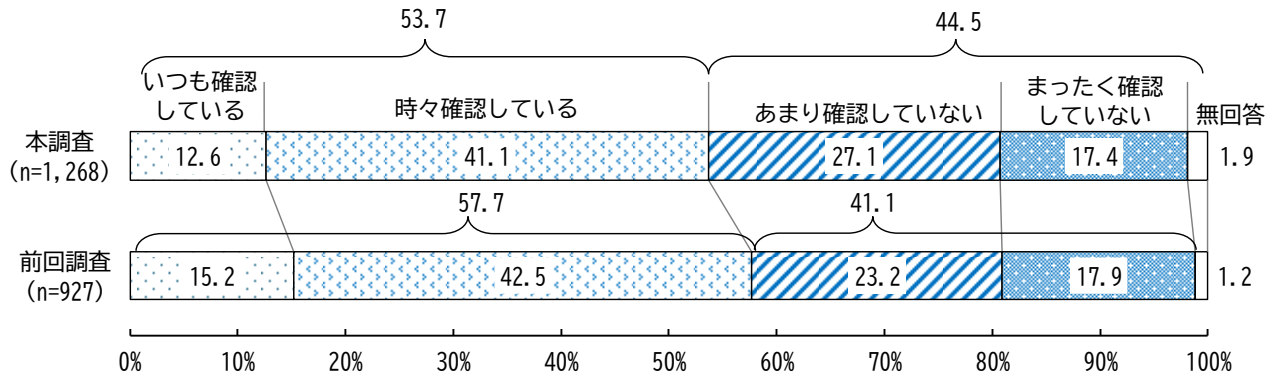
【図 2-8 共食の頻度（選択肢別）】



問7 食品を購入する際に栄養成分表示を確認していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- 食品を購入する際に栄養成分表示を確認しているかについて、「時々確認している」が41.1%、次いで「あまり確認していない」が27.1%、「まったく確認していない」が17.4%となっています。
  - 「いつも確認している」「時々確認している」を合わせた“確認する人”は53.7%となっており、「あまり確認していない」「まったく確認していない」を合わせた“確認しない人”は44.5%となっています。

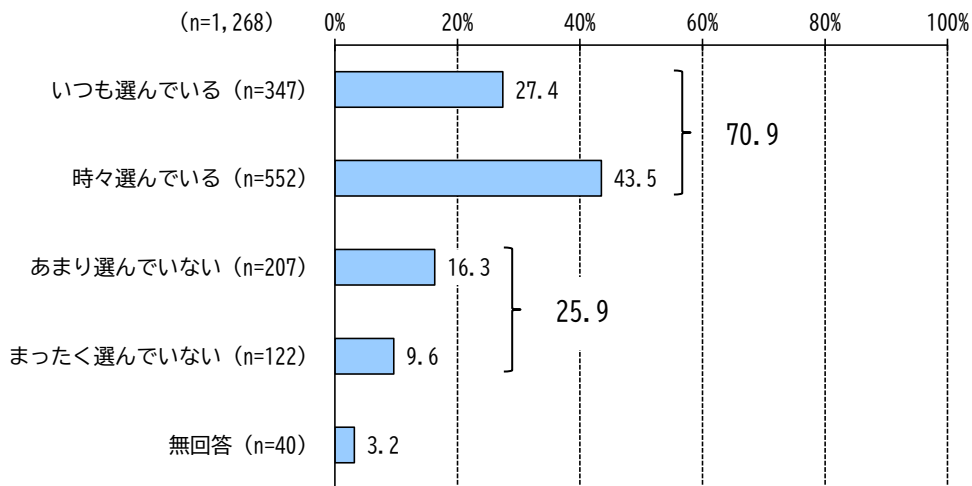
【図 2-9 栄養成分表示の確認状況】



問8 日頃から環境に配慮した食品を選んでいますか。(あてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- 日頃から環境に配慮した食品を選んでいるかについて、「時々選んでいる」が43.5%、次いで「いつも選んでいる」が27.4%、「あまり選んでいない」が16.3%となっています。
  - 「いつも選んでいる」「時々選んでいる」を合わせた“選んでいる人”は70.9%となっており、「あまり選んでいない」「まったく選んでいない」を合わせた“選んでいない人”は25.9%となっています。

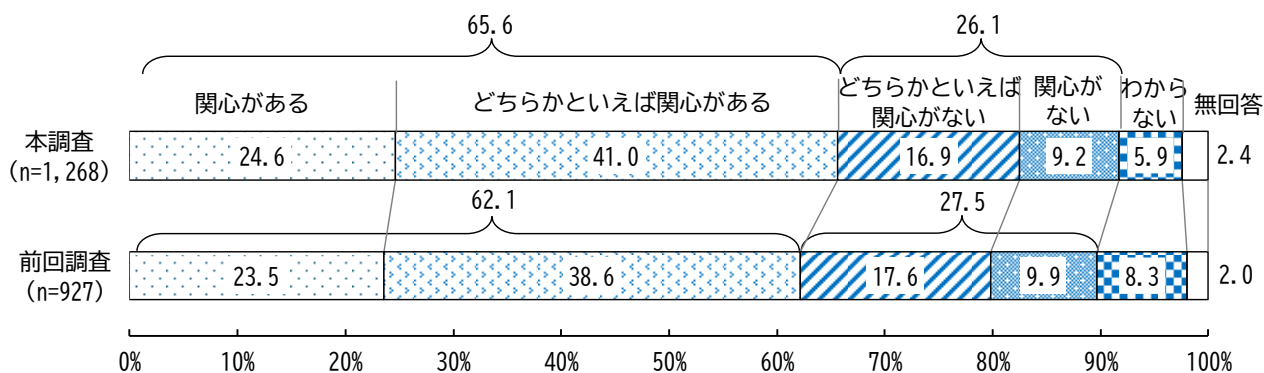
【図 2-10 環境に配慮した食品の選択状況】



問9 「食育」に関心がありますか。(あてはまるもの1つに○)

**【全体】**  
 ○ 食育への関心度について、「どちらかといえば関心がある」が41.0%、次いで「関心がある」が24.6%、「どちらかといえば関心がない」が16.9%となっています。  
 ○ 「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある人”は65.6%となっており、「どちらかといえば関心がない」「関心がない」を合わせた“関心がない人”は26.1%となっています。

【図 2-11 食育への関心度】

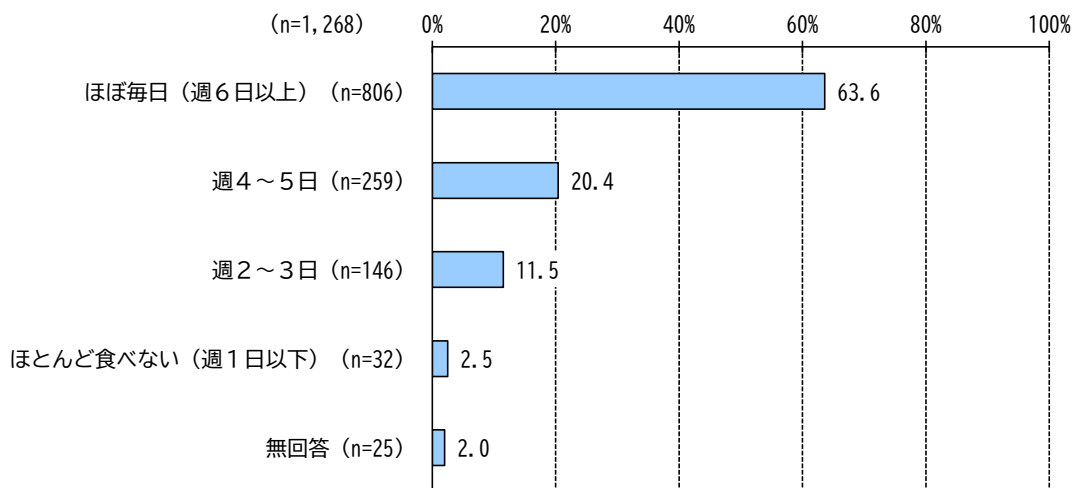


※食育とは、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつ等を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化等への理解を深めたりすることをいいます。

問10 ふだん、野菜をどのくらいの頻度で食べていますか。(あてはまるもの1つに○)

**【全体】**  
 ○ 野菜の摂取頻度について、「ほぼ毎日（週6日以上）」が63.6%、次いで「週4～5日」が20.4%、「週2～3日」が11.5%となっています。

【図 2-12 野菜の摂取頻度】

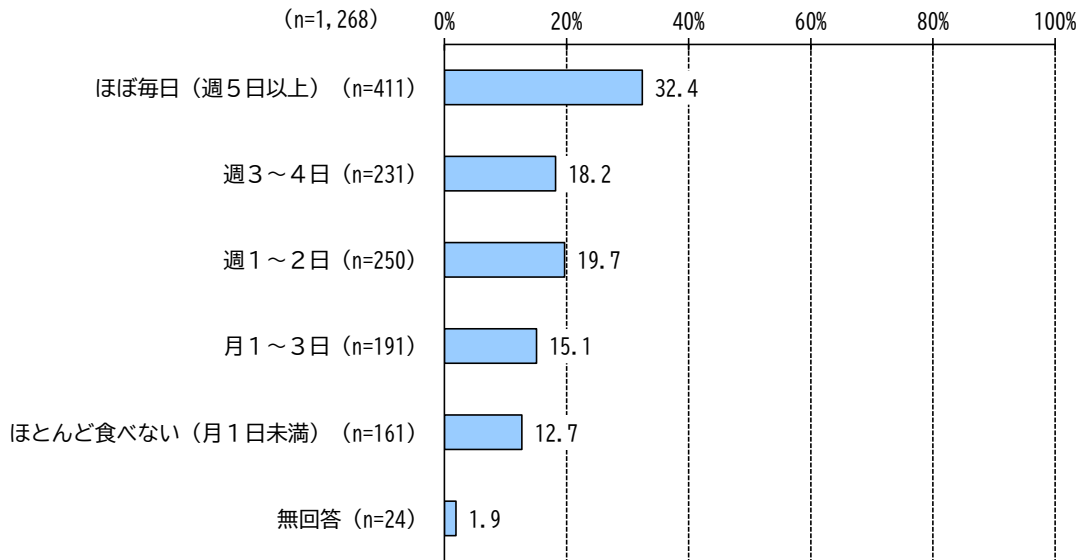


問11 ふだん、果物をどのくらいの頻度で食べていますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】

- 果物の摂取頻度について、「ほぼ毎日（週5日以上）」が 32.4%、次いで「週1～2日」が 19.7%、「週3～4日」が 18.2%となっています。

【図 2-13 果物の摂取頻度】

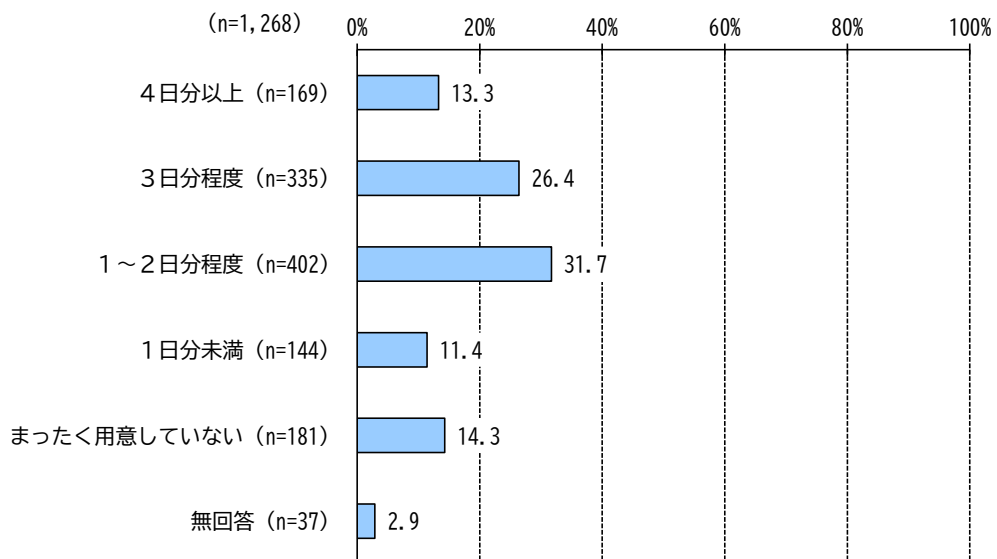


問12 世帯人数分の非常食を何日分用意していますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】

- 世帯人数分の非常食を何日分用意しているかについて、「1～2日分程度」が 31.7%、次いで「3日分程度」が 26.4%、「まったく用意していない」が 14.3%となっています。

【図 2-14 世帯人数に応じた非常食の備蓄日数】

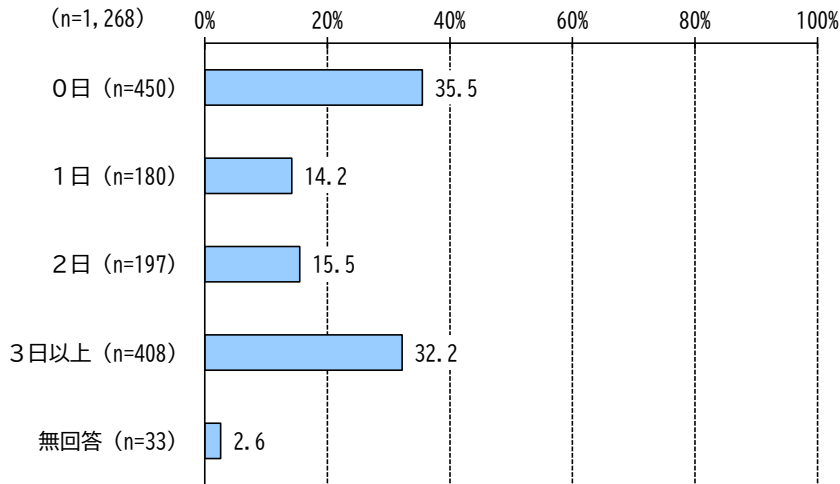


### (3) 運動の状況等について

問1 運動を1週間のうち、どのくらい行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

**【全体】**  
○ 日常生活における運動の実施頻度について、「0日」が35.5%、次いで「3日以上」が32.2%、「2日」が15.5%となっています。

**【図 3-1 日常生活における運動の実施頻度】**



※運動とは、息が弾み、軽く汗をかく程度のものを行います。

例：ウォーキング、サイクリング、フィットネス（ヨガやストレッチ）等

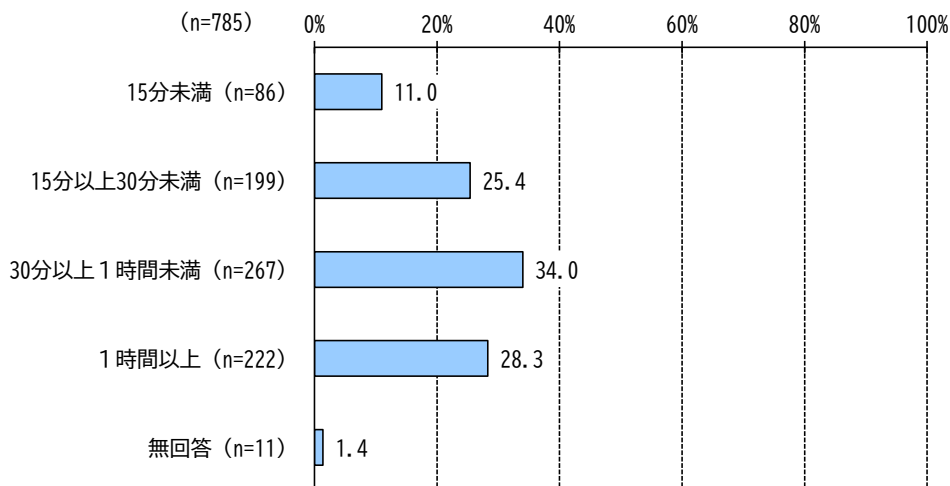
**【問1で「1日」「2日」「3日以上」と回答した人にお聞きします。】**

問1-1 運動をする日は、1日あたり平均してどのくらい行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

※複数回に分けた場合は、その合計時間をご記入ください。

**【全体】**  
○ 日常生活における運動の実施時間について、「30分以上1時間未満」が34.0%、次いで「1時間以上」が28.3%、「15分以上30分未満」が25.4%となっています。

**【図 3-2 日常生活における運動の実施時間】**



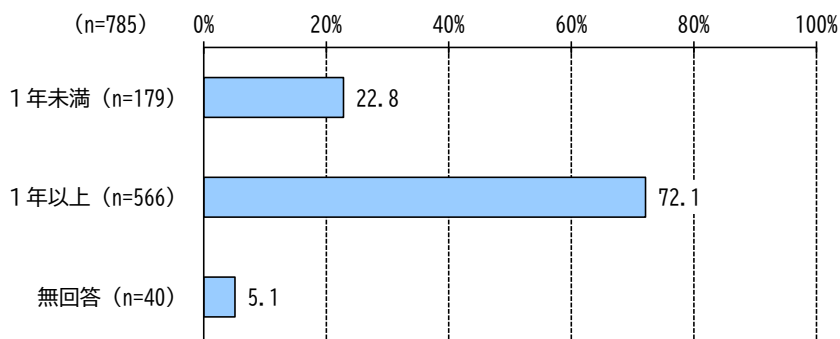
【問1で「1日」「2日」「3日以上」と回答した人にお聞きします。】

問1-2 運動をどのくらいの期間続けていますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】

○ 日常生活における運動の継続期間について、「1年未満」が22.8%、「1年以上」が72.1%となっています。

【図 3-3 日常生活における運動の継続期間】

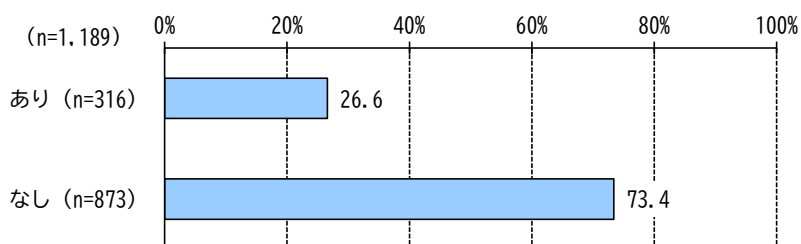


運動習慣の有無

【全体】

○ 運動習慣の有無について、「あり」が26.6%、「なし」が73.4%となっています。

【図 3-4 運動習慣の有無】



※以下の条件をすべて満たす人が「あり」となります。

問1 (1週間あたりの運動日数)で「2日」以上を選択した人

問1-1 (1日あたりの運動時間)で「30分以上1時間未満」以上を選択した人

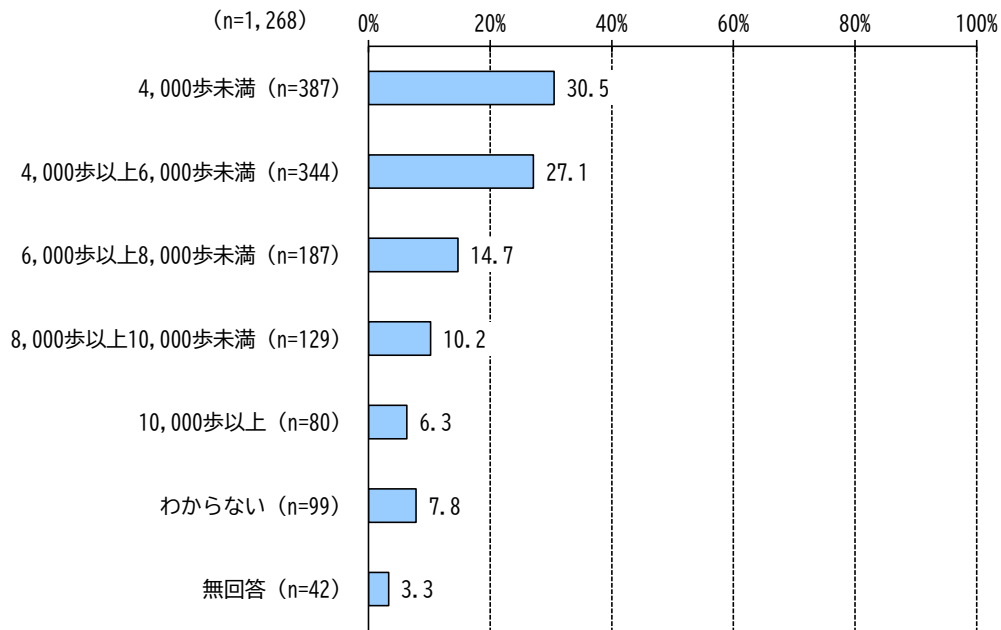
問1-2 (運動の継続期間)で「1年以上」を選択した人

問2 1日にどのくらい歩いていますか。(あてはまるもの1つに○)

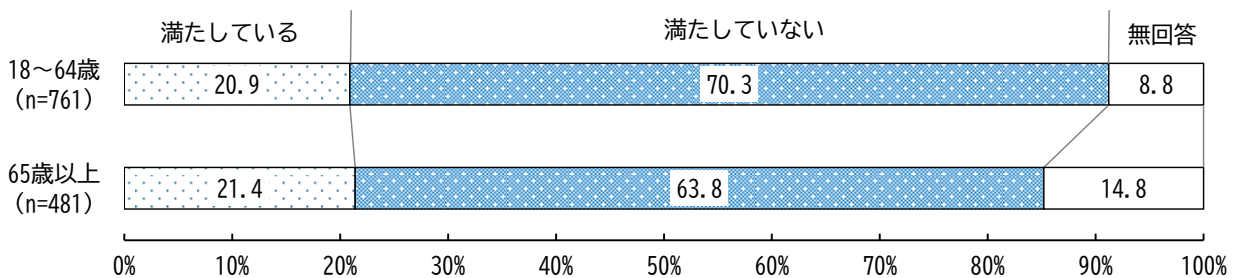
※平日の歩数を回答してください。

- 【全体】
- 1日の歩数について、「4,000歩未満」が30.5%、次いで「4,000歩以上6,000歩未満」が27.1%、「6,000歩以上8,000歩未満」が14.7%となっています。
  - 必要な1日の歩数を満たしている人について、「満たしている」が20.7%、「満たしていない」が66.4%となっています。

【図 3-5 1日の歩数】



【図 3-6 必要な1日の歩数を満たしている人】



※以下の条件を満たす人が「満たしている」となります。

18～64歳：8,000歩以上

65歳以上：6,000歩以上

なお、厚生労働省「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」に基づき、設定したものです。

#### (4) こころの健康等について

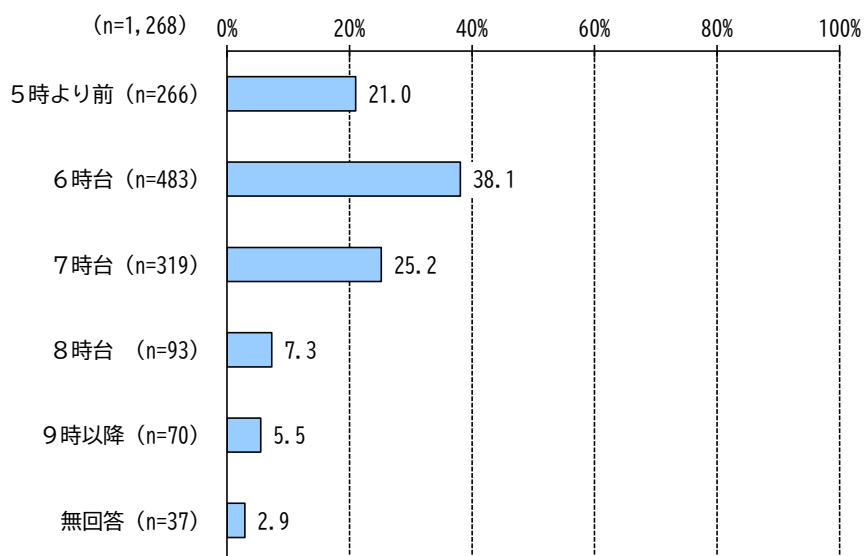
問1 ふだんの起床時間・就寝時間は何時頃ですか。

※30分単位でご回答ください。

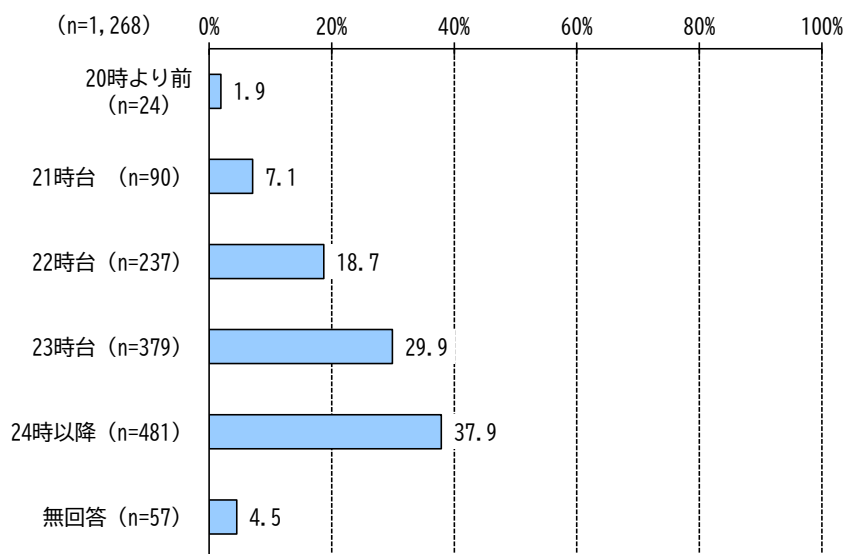
##### 【全体】

- 起床時間について、「6時台」が38.1%、次いで「7時台」が25.2%、「5時より前」が21.0%となっています。
- 就寝時間について、「24時以降」が37.9%、次いで「23時台」が29.9%、「22時台」が18.7%となっています。
- 睡眠時間について、「7時間以上8時間未満」が31.5%、次いで「6時間以上7時間未満」が23.9%、「8時間以上9時間未満」が20.3%となっています。
- 睡眠時間が6時間以上9時間未満（60歳以上は6時間以上8時間未満）は、63.2%となっています。

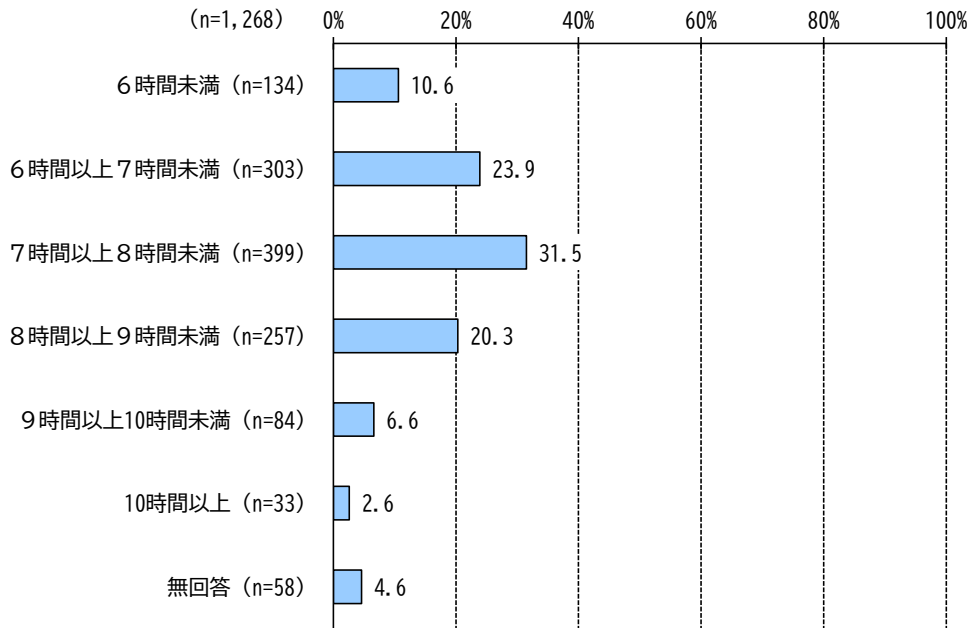
【図 4-1 起床時間】



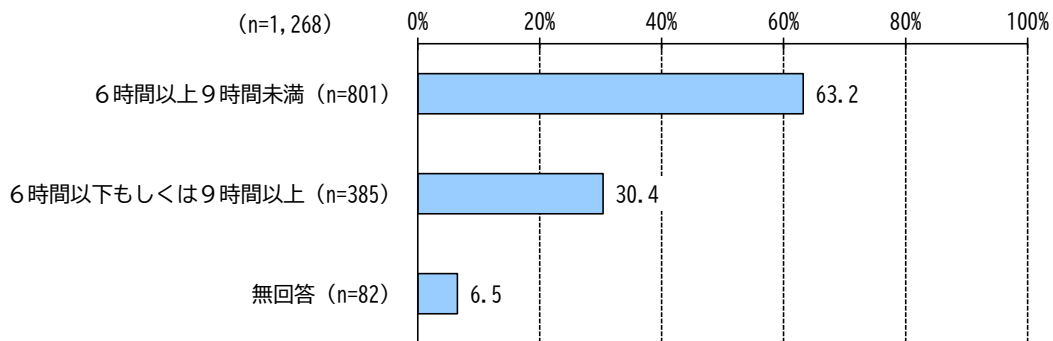
【図 4-2 就寝時間】



【図 4-3 睡眠時間】



【図 4-4 睡眠時間が6時間以上9時間未満の人】



※以下の条件を満たす人が「6時間以上9時間未満」となります。

18～59歳：睡眠時間が6時間以上9時間未満

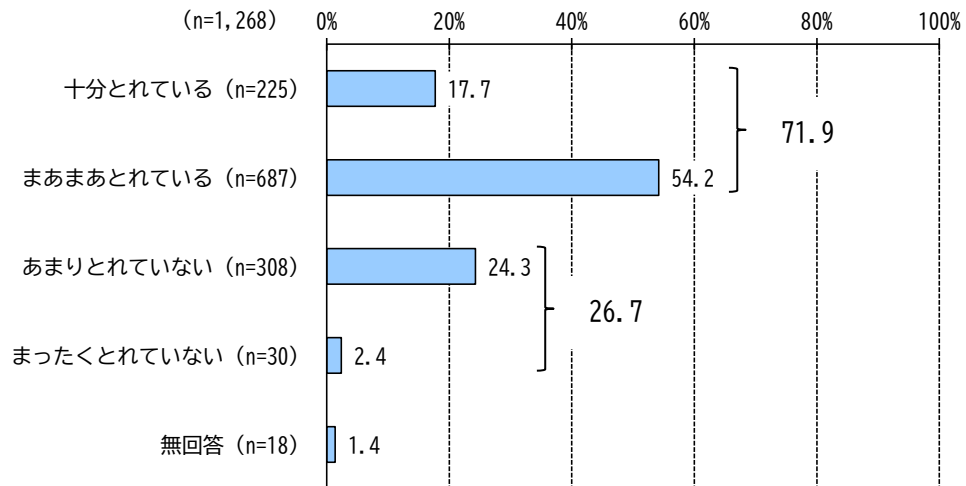
60歳以上：睡眠時間が6時間以上8時間未満

なお、国民健康・栄養調査に基づき、設定したものです。

問2 睡眠で休養が十分とれていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- 睡眠で休養が十分とれているかについて、「まあまあとれている」が54.2%、次いで「あまりとれていない」が24.3%、「十分とれている」が17.7%となっています。
  - 「十分とれている」「まあまあとれている」を合わせた“とれている人”は71.9%となっており、「あまりとれていない」「まったくとれていない」を合わせた“とれていない人”は26.7%となっています。

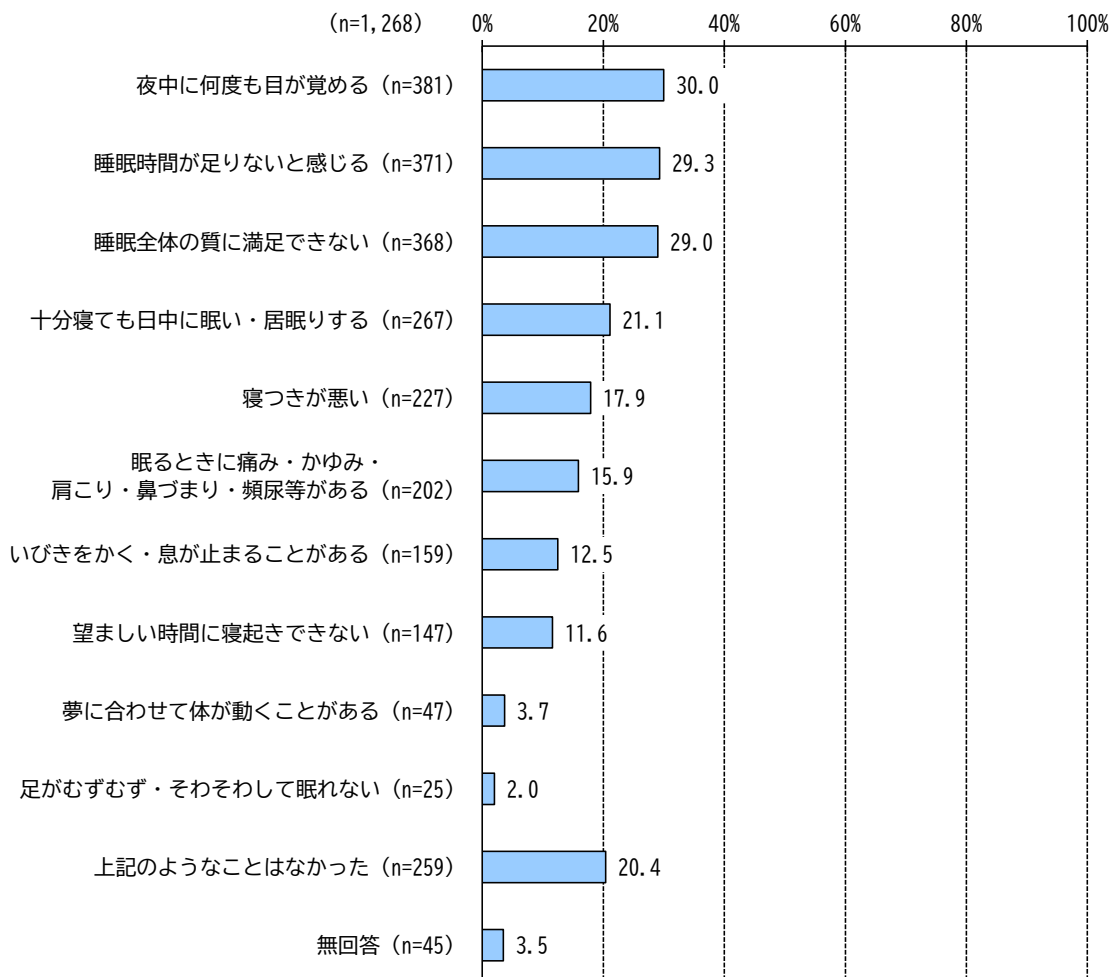
【図 4-5 睡眠で休養が十分とれているか】



問3 この1か月間、睡眠時に次のようなことが週3回以上ありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 【全体】
- 睡眠時になることについて、「夜中に何度も目が覚める」が30.0%、次いで「睡眠時間が足りないと感じる」が29.3%、「睡眠全体の質に満足できない」が29.0%となっています。

【図 4-6 睡眠時になること】

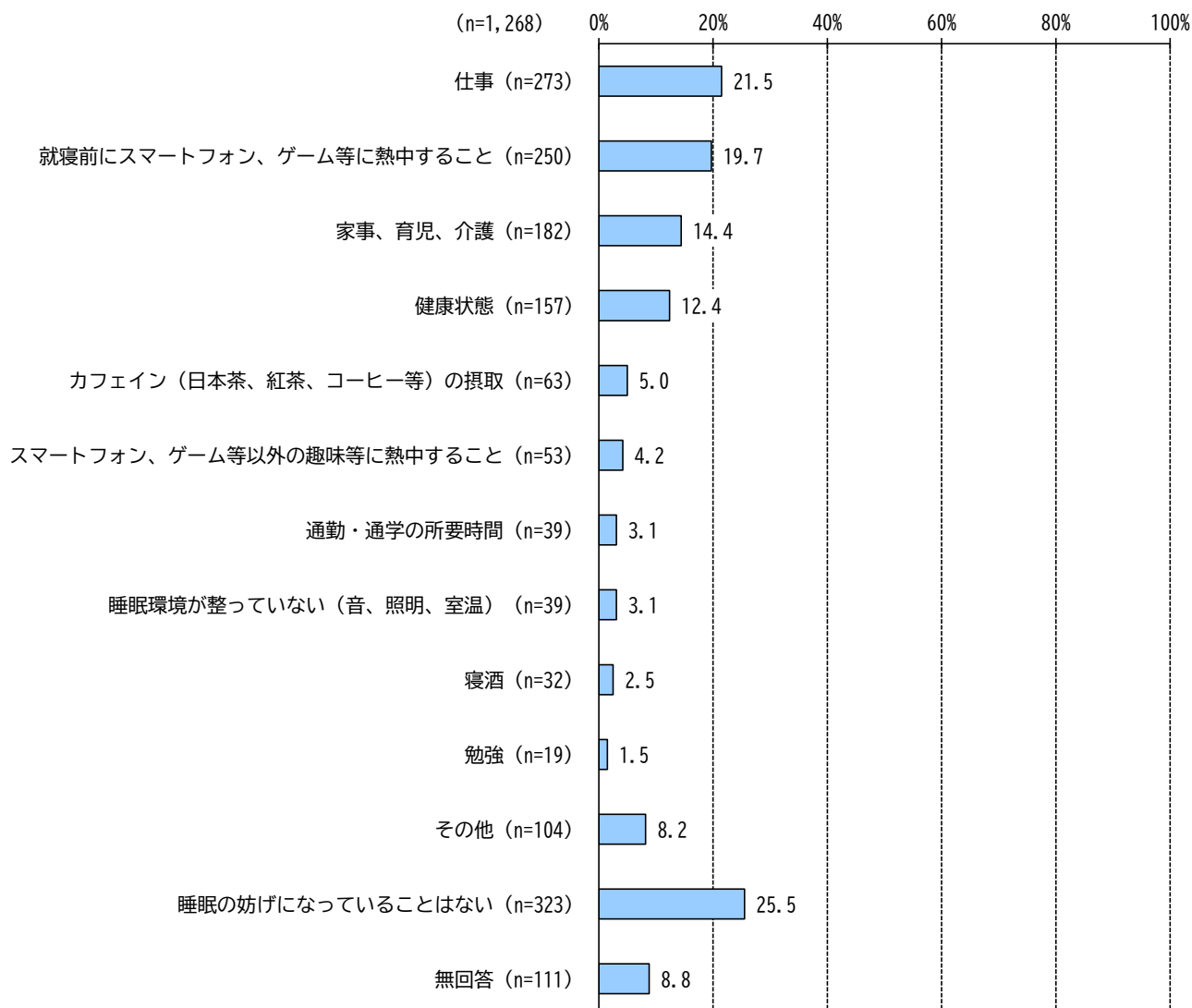


問4 あなたの睡眠の確保の妨げとなっていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- 睡眠の確保の妨げとなっていることについて、「睡眠の妨げになっていないこと」が25.5%、次いで「仕事」が21.5%、「就寝前にスマートフォン、ゲーム等に熱中すること」が19.7%となっています。

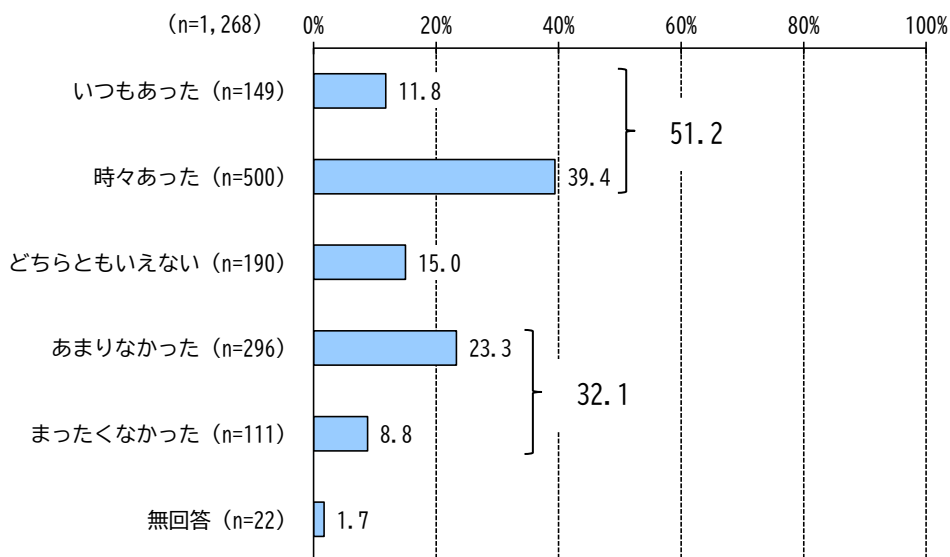
【図 4-7 睡眠の確保の妨げとなっていること】



問5 この1か月間、不安や悩みを感じることはありましたか。(あてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- 不安や悩みを感じることに、「時々あった」が 39.4%、次いで「あまりなかった」が 23.3%、「どちらともいえない」が 15.0%となっています。
  - 「いつもあった」「時々あった」を合わせた“感じる人があった人”は 51.2%となっており、「あまりなかった」「まったくなかった」を合わせた“感じる人がなかった人”は 32.1%となっています。

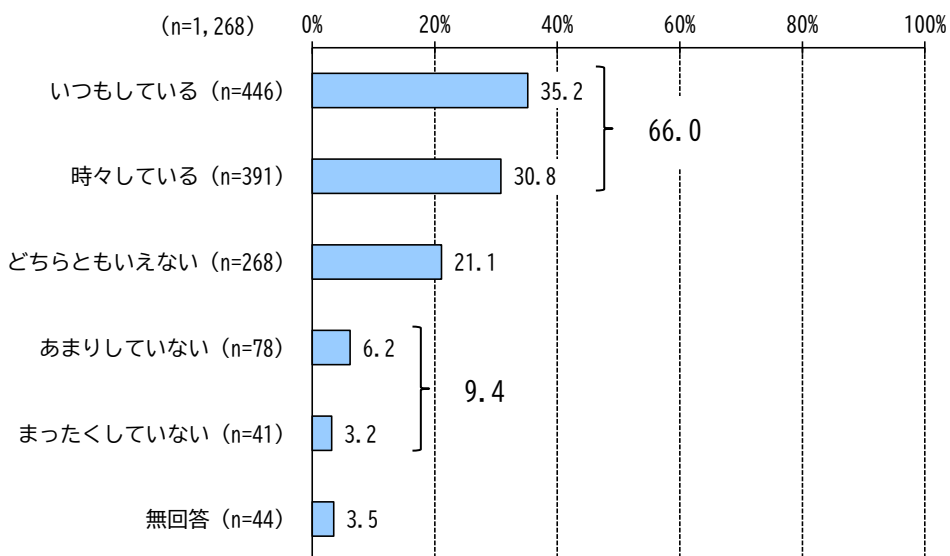
【図 4-8 不安や悩みを感じること】



問6 不安や悩みを感じたときに、自分で解決、対処していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- 不安や悩みを感じたときに、自分で解決、対処しているかについて、「いつもしている」が 35.2%、次いで「時々している」が 30.8%、「どちらともいえない」が 21.1%となっています。
  - 「いつもしている」「時々している」を合わせた“している人”は 66.0%となっており、「あまりしていない」「まったくしていない」を合わせた“していない人”は 9.4%となっています。

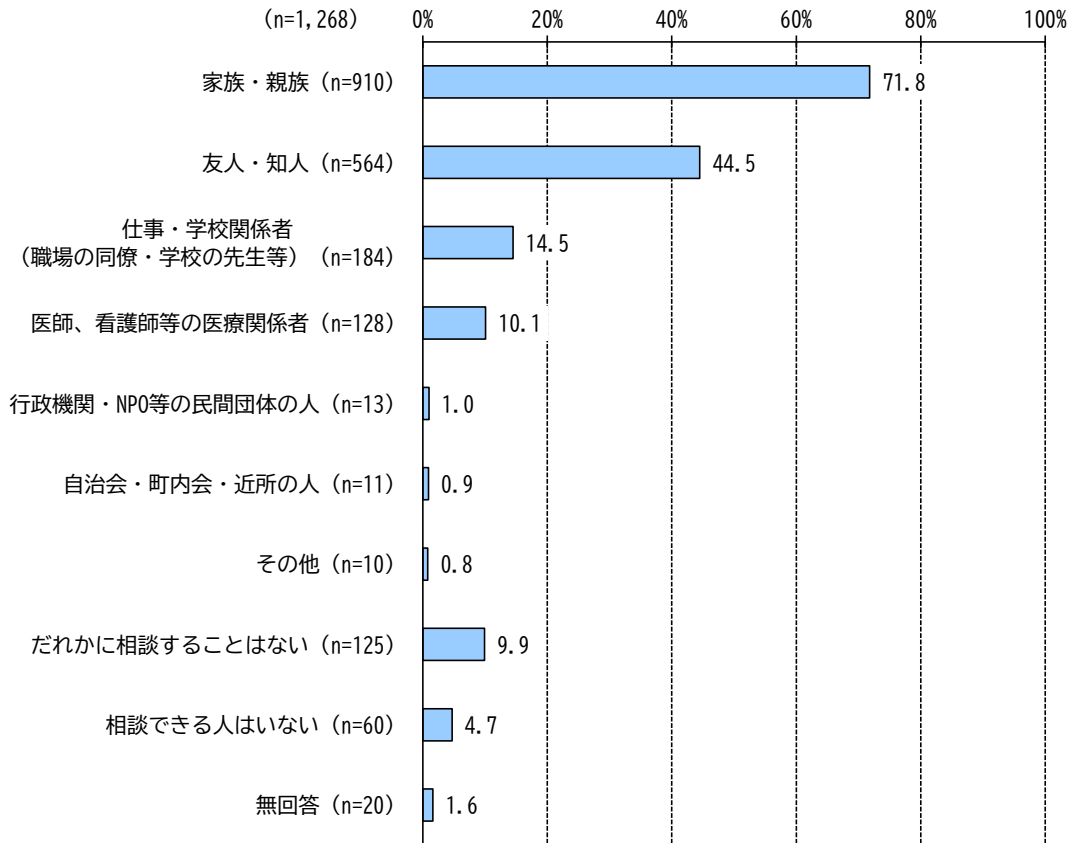
【図 4-9 不安や悩みを感じたときに、自分で解決、対処しているか】



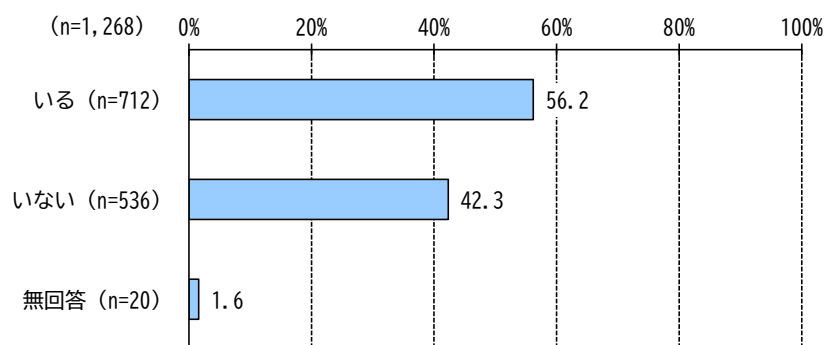
問7 不安や悩みを相談できる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- 【全体】
- 不安や悩みの相談相手について、「家族・親族」が71.8%、次いで「友人・知人」が44.5%、「仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）」が14.5%となっています。
  - 家族・親族以外の相談相手がいる人について、「いる」が56.2%、「いない」が42.3%となっています。

【図 4-10 不安や悩みの相談相手】



【図 4-11 家族・親族以外の相談相手がいる人】

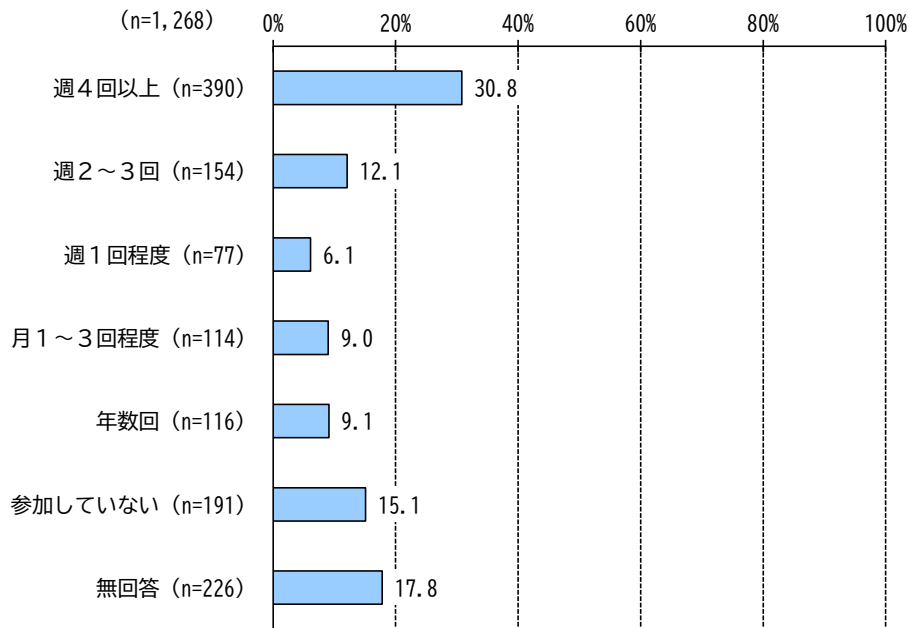


※問7において「家族・親族」を相談相手として選択した人のうち、「家族・親族」以外の相談相手を選択した人を「いる」としています。

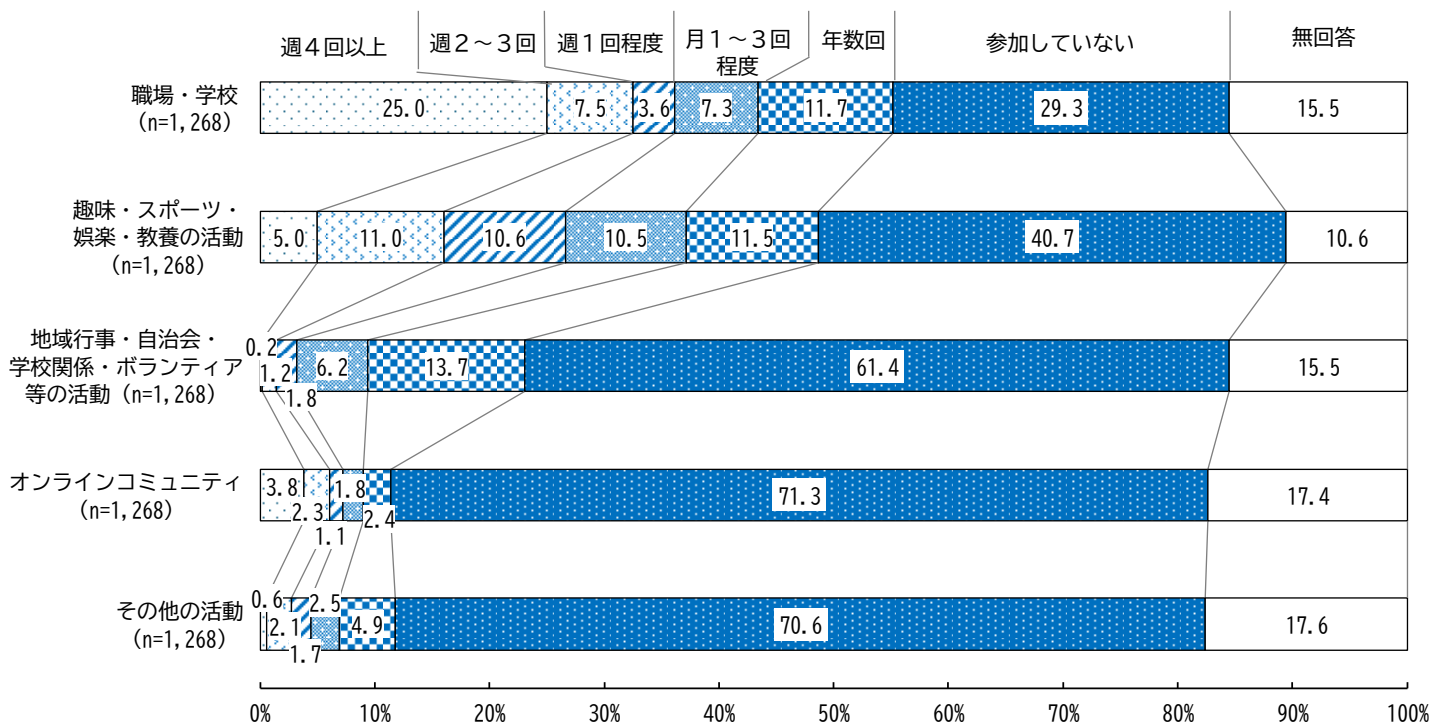
問8 職場や学校、趣味等、人と交流する場にどのくらいの頻度で参加していますか。  
(それぞれあてはまるもの1つに○)

- 【全体】**  
 ○ いずれかの場で最も頻度が多いものについて、「週4回以上」が30.8%、次いで「参加していない」が15.1%、「週2～3回」が12.1%となっています。
- 【選択肢別】**  
 ○ 職場・学校について、「参加していない」が29.3%、次いで「週4回以上」が25.0%、「年数回」が11.7%となっています。  
 ○ 趣味・スポーツ・娯楽・教養の活動について、「参加していない」が40.7%、次いで「年数回」が11.5%、「週2～3回」が11.0%となっています。  
 ○ 地域行事・自治会・学校関係・ボランティア等の活動について、「参加していない」が61.4%、次いで「年数回」が13.7%、「月1～3回程度」が6.2%となっています。  
 ○ オンラインコミュニティについて、「参加していない」が71.3%、次いで「週4回以上」が3.8%、「年数回」が2.4%となっています。

【図 4-12 人と交流する場への参加頻度（いずれかの場で最も頻度が多いもの）】



【図 4-13 人と交流する場への参加頻度（選択肢別）】



※オンラインコミュニティとは、インターネット上で共通の関心や目的を持つ人々が交流する場のことをいいます。

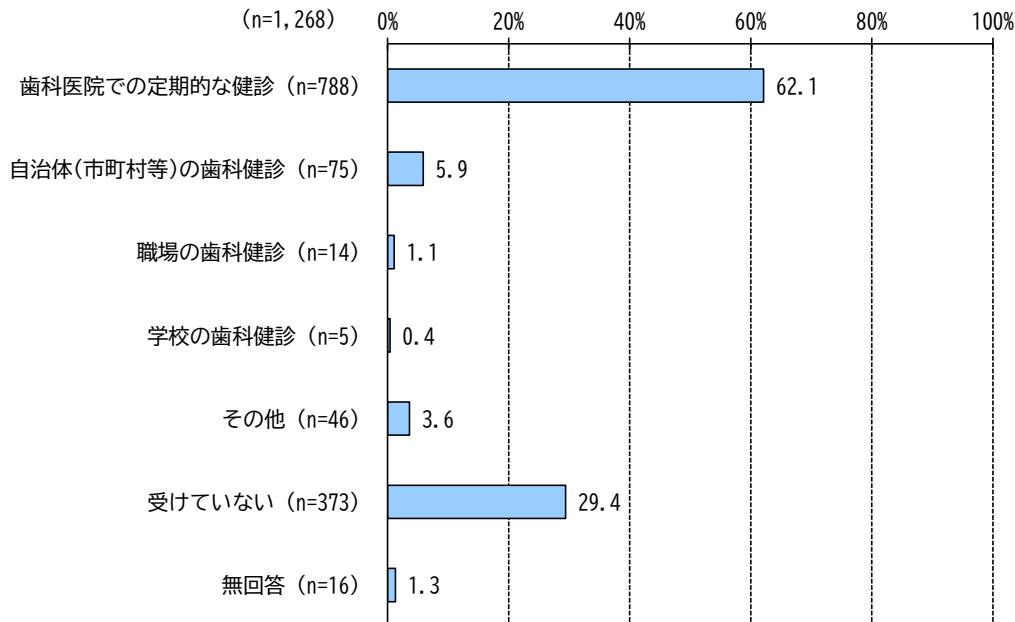
## (5) 歯の健康等について

問1 この1年間にどのような機会で歯科健診を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- 歯科健診の受診状況について、「歯科医院での定期的な健診」が62.1%、次いで「受けていない」が29.4%、「自治体(市町村等)の歯科健診」が5.9%となっています。

【図 5-1 歯科健診の受診状況】



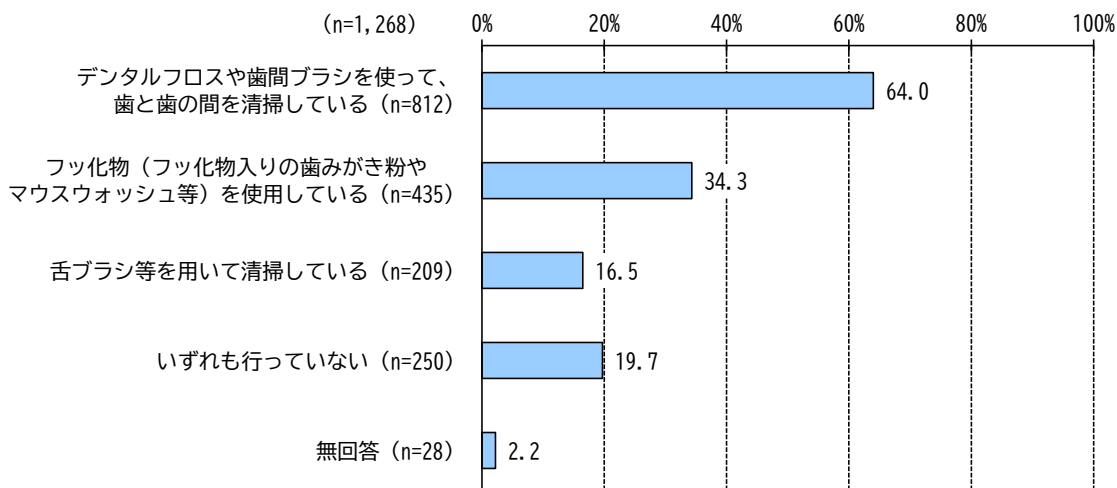
問2 歯ブラシを用いた歯みがきに加えて、歯や口の清掃で行っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- 歯や口の清掃で行っていることについて、「デンタルフロスや歯間ブラシを使って、歯と歯の間を清掃している」が64.0%、次いで「フッ化物(フッ化物入りの歯みがき粉やマウスウォッシュ等)を使用している」が34.3%、「いずれも行っていない」が19.7%となっています。

【図 5-2 歯や口の清掃で行っていること】



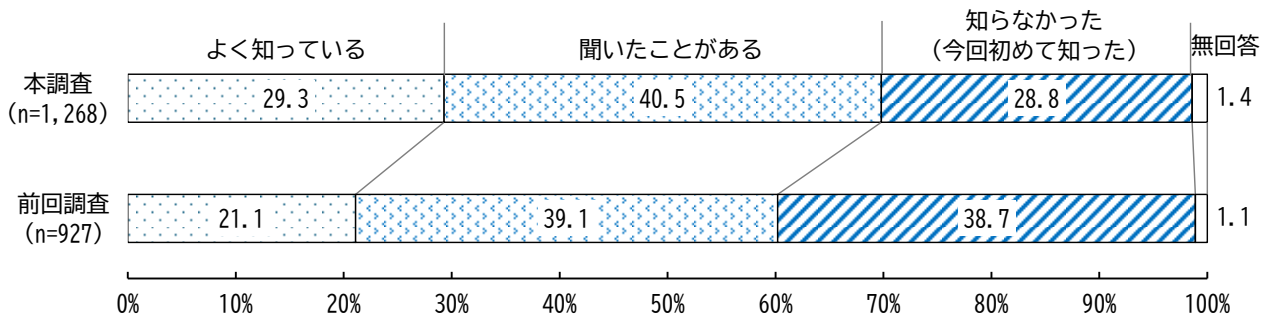
※デンタルフロスとは、歯と歯のすき間に通して、歯ブラシでは届かない汚れを取り除く糸のことをいいます。

※歯間ブラシとは、歯と歯のすき間に差し込んで、汚れをかき出す小さなブラシのことをいいます。

問3 “歯周病”と“糖尿病”が、相互に悪影響を及ぼし合っていることを知っていますか。  
 (あてはまるもの1つに○)

**【全体】**  
 ○ 歯周病と糖尿病が悪影響を及ぼし合うことの認知度について、「聞いたことがある」が40.5%、次いで「よく知っている」が29.3%、「知らなかった(今回初めて知った)」が28.8%となっています。  
**【本調査と前回調査との比較】**  
 ○ 「よく知っている」は前回調査(21.1%)から8.2ポイント増加しています。〈有意差あり〉  
 ○ 「知らなかった(今回初めて知った)」は前回調査(38.7%)から9.9ポイント減少しています。〈有意差あり〉

【図 5-3 歯周病と糖尿病が悪影響を及ぼし合うことの認知度】



(6) お酒を飲む機会等について

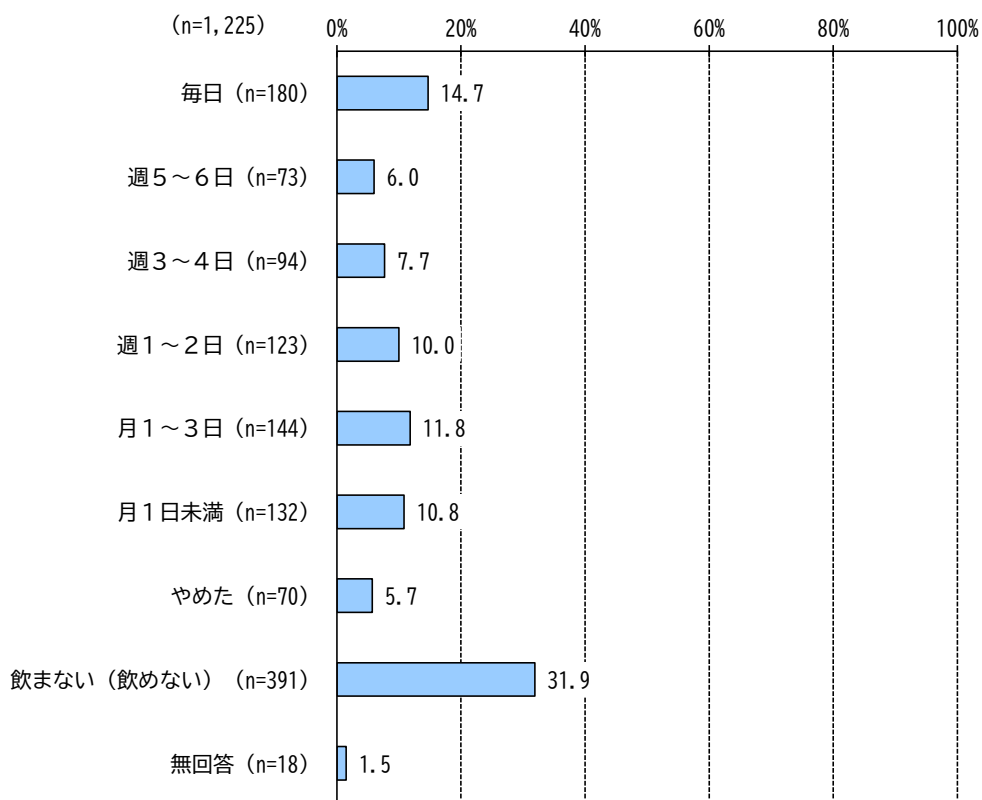
【20歳以上の人にお聞きします。】

問1 お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒等）を飲む頻度はどのくらいですか。（あてはまるものの1つに○）

【全体】

○ 飲酒の頻度について、「飲まない（飲めない）」が 31.9%、次いで「毎日」が 14.7%、「月1～3日」が 11.8%となっています。

【図 6-1 飲酒の頻度】



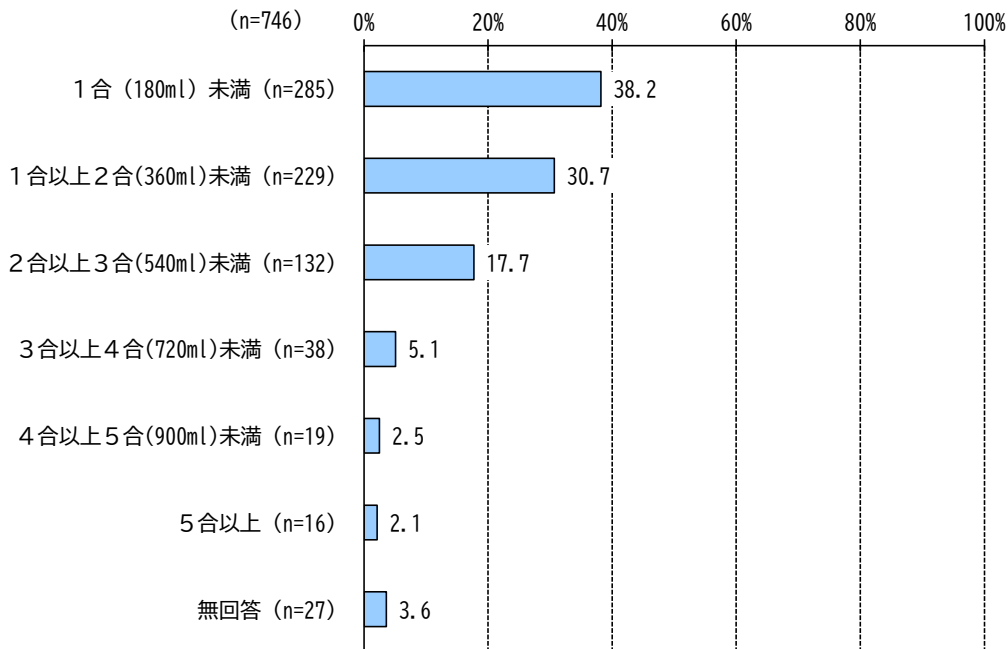
※選択肢の「(7) やめた」とは、過去に月1回以上の習慣的な飲酒歴があった人のうち最近1年以上アルコールを摂取していない人をいいます。

【問1で「毎日」「週5～6日」「週3～4日」「週1～2日」「月1～3日」「月1日未満」と回答した人にお聞きします。】

問1-1 お酒を飲む日は1日あたり、どのくらいの量を飲みますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】  
○ 1日あたりの飲酒量について、「1合(180ml)未満」が38.2%、次いで「1合以上2合(360ml)未満」が30.7%、「2合以上3合(540ml)未満」が17.7%となっています。

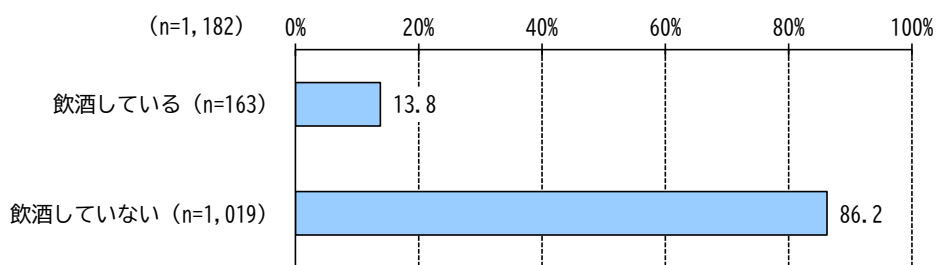
【図 6-2 1日あたりの飲酒量】



生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人

【全体】  
○ 生活習慣病のリスクを高める量の飲酒について、「飲酒している」が13.3%、「飲酒していない」が83.2%となっています。

【図 6-3 生活習慣病のリスクを高める量の飲酒】



※以下の条件を満たす人が「飲酒している」となります。

男性：1日の純アルコールが40g以上

女性：1日の純アルコールが20g以上

なお、問1で「毎日」～「月1～3日」と回答し、問1-1に回答した場合、及び問1で「月1日未満」～「飲まない(飲めない)」を回答した場合を集計対象者としています。

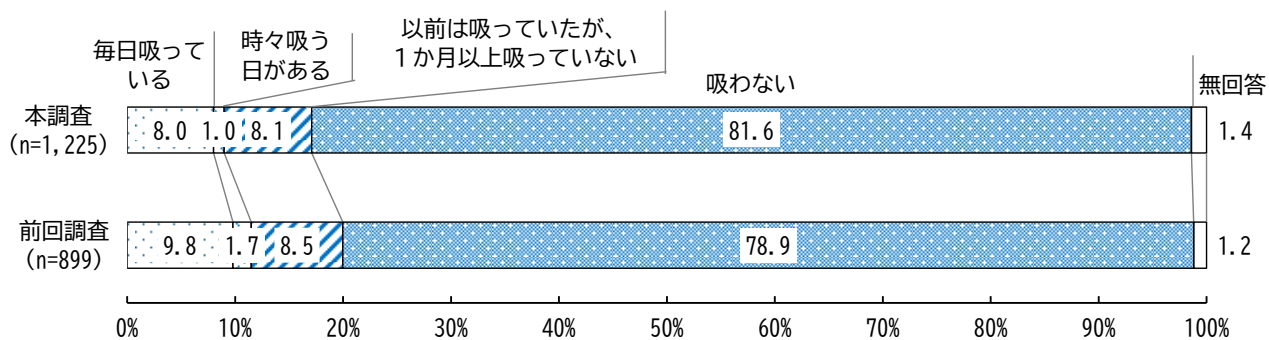
(7) 喫煙状況等について

【20歳以上の人にお聞きします。】

問1 たばこを吸いますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】  
○ 喫煙の有無について、「吸わない」が81.6%、次いで「以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない」が8.1%、「毎日吸っている」が8.0%となっています。

【図 7-1 喫煙の有無】

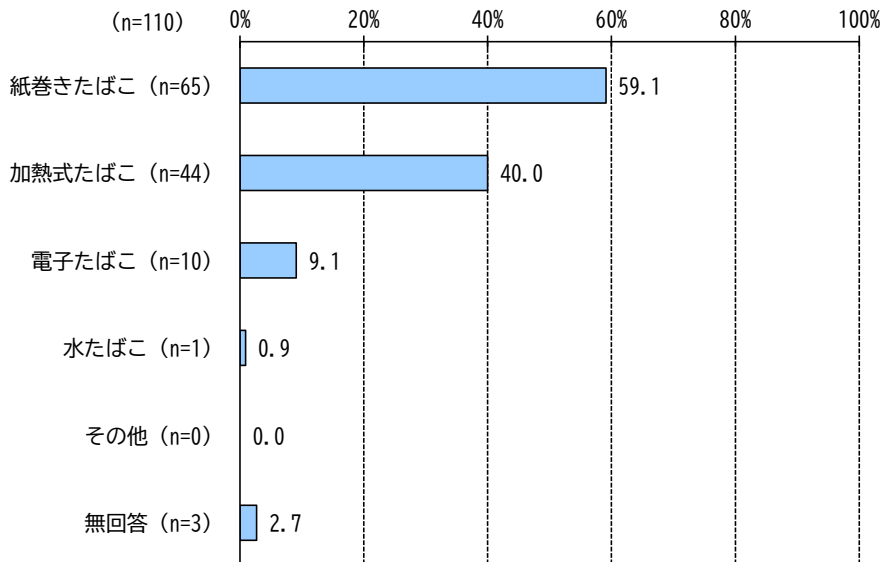


【問1で「毎日吸っている」「時々吸う日がある」と回答した人にお聞きします。】

問1-1 現在吸っているたばこ製品はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- 【全体】
- 吸っているたばこの種類について、「紙巻きたばこ」が 59.1%、次いで「加熱式たばこ」が 40.0%、「電子たばこ」が 9.1%となっています。
  - たばこの併用状況について、「紙巻きたばこのみ」が 48.2%、次いで「加熱式たばこ又は電子たばこのみ」が 36.4%、「2種類以上」が 11.8%となっています。

【図 7-2 吸っているたばこの種類】



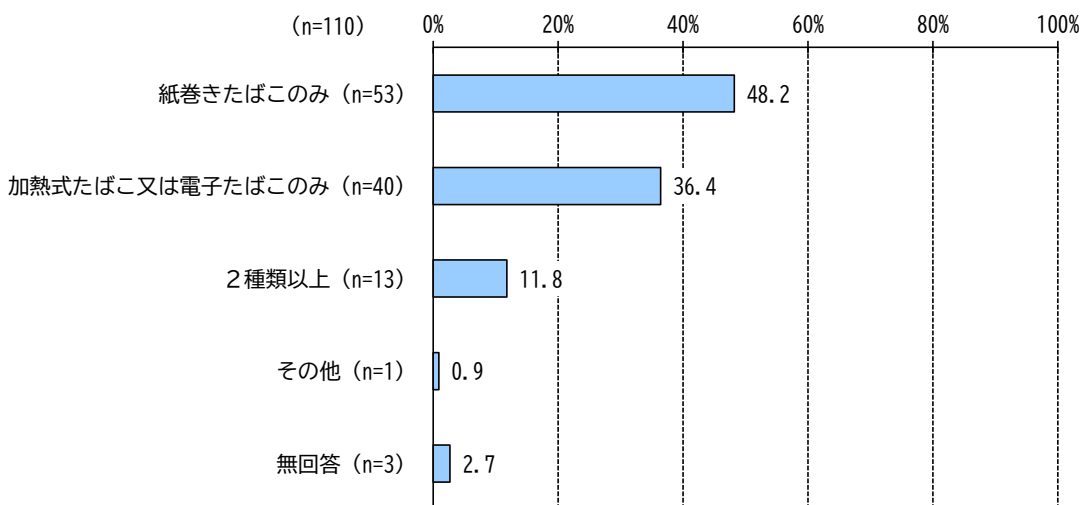
※紙巻きたばことは、紙に刻んだタバコ葉を詰め、火をつけて煙を吸うタイプ。一般的なたばこです。

※加熱式たばことは、火を使わず、専用の機器でタバコ葉を加熱して蒸気を吸うタイプ。

※電子たばことは、リキッド（液体）を加熱し、発生した蒸気を吸うタイプ。

※水たばことは、専用器具を使い、水で冷やした煙を吸うタイプ。

【図 7-3 たばこの併用状況】



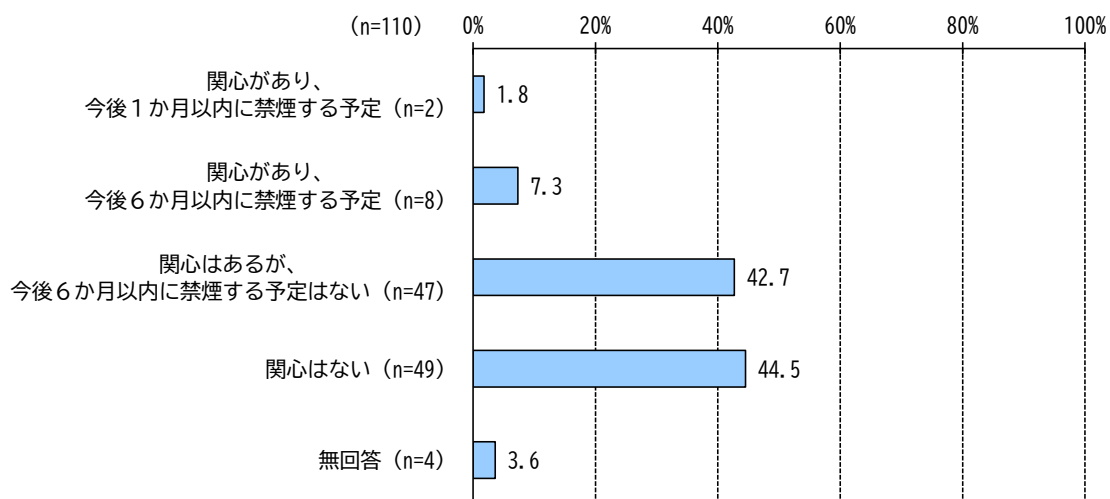
【問1で「毎日吸っている」「時々吸う日がある」と回答した人にお聞きします。】

問1-2 禁煙について、関心がありますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】

- 禁煙の関心度について、「関心はない」が44.5%、次いで「関心はあるが、今後6か月以内に禁煙する予定はない」が42.7%、「関心があり、今後6か月以内に禁煙する予定」が7.3%となっています。

【図 7-4 禁煙の関心度】



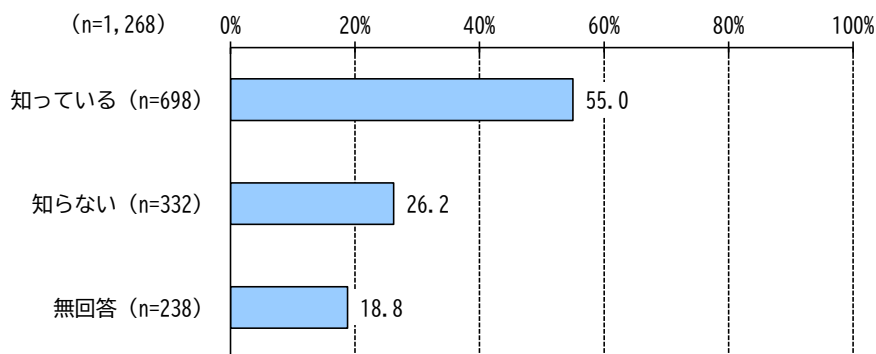
問2 喫煙は単なる嗜好や習慣ではなく、治療の対象となることを知っていますか。

(あてはまるもの1つに○)

【全体】

- 喫煙は単なる嗜好や習慣ではなく、治療の対象となることの認知度について、「知っている」が55.0%、「知らない」が26.2%となっています。

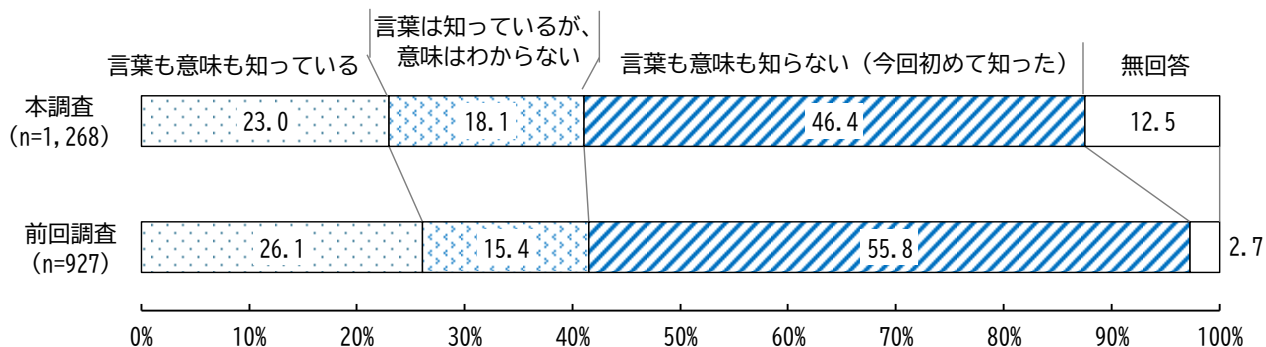
【図 7-5 喫煙は単なる嗜好や習慣ではなく、治療の対象となることの認知度】



問3 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」について知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

【全体】  
 ○ 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の認知度について、「言葉も意味も知らない（今回初めて知った）」が46.4%、次いで「言葉も意味も知っている」が23.0%、「言葉は知っているが、意味はわからない」が18.1%となっています。  
 【本調査と前回調査との比較】  
 ○ 「言葉は知っているが、意味はわからない」は前回調査（15.4%）から2.7ポイント増加しています。〈有意差あり〉

【図 7-6 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の認知度】

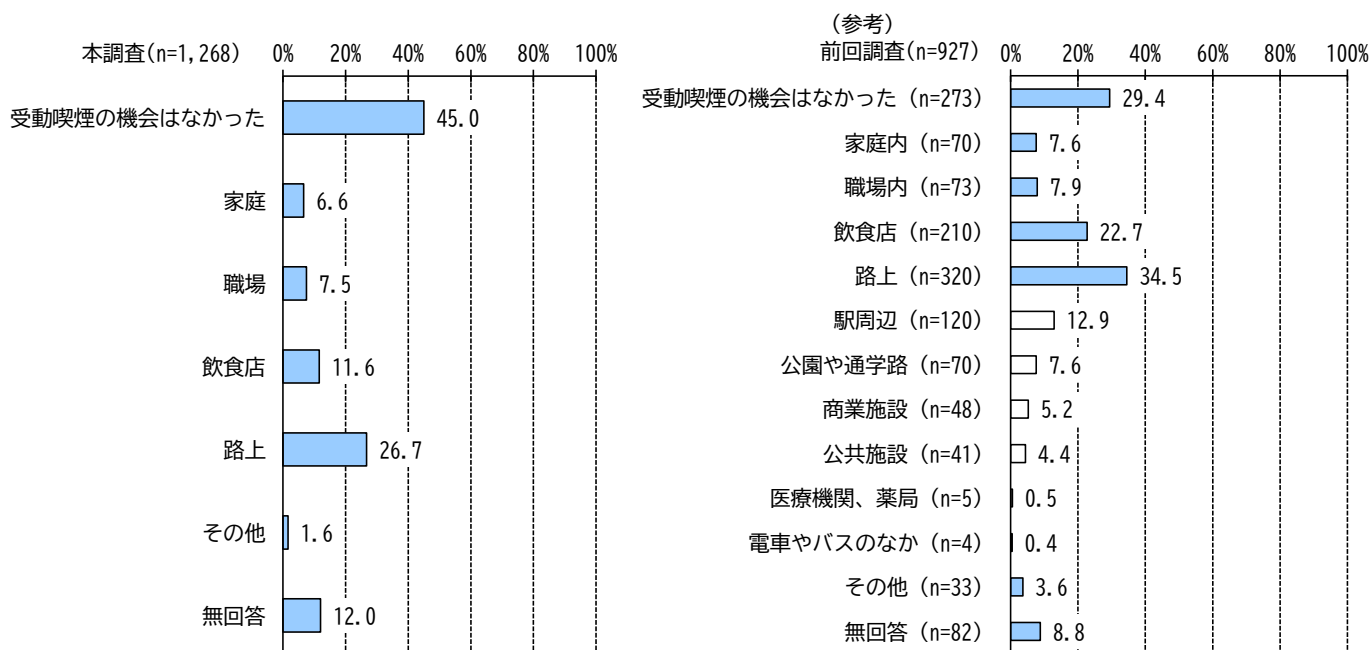


※COPDとは、たばこの煙等が原因で、呼吸困難や慢性的な咳・たんが続く等、肺機能が徐々に低下していく病気のことをいいます。

問4 この1か月間、受動喫煙の機会がありましたか。（あてはまるものすべてに○）

【全体】  
 ○ 1か月間の受動喫煙の機会について、「受動喫煙の機会はなかった」が45.0%、次いで「路上」が26.7%、「飲食店」が11.6%となっています。  
 【本調査と前回調査との比較】  
 ○ 「受動喫煙の機会はなかった」は前回調査（29.4%）から増加しています。

【図 7-7 1か月間の受動喫煙の機会】

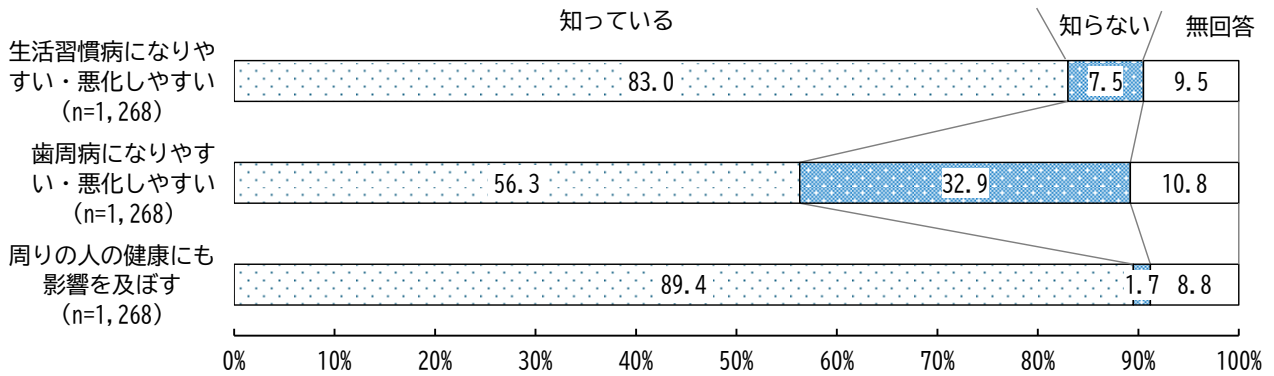


※前回調査は選択肢が異なるため、参考として掲載しています。

問5 たばこが健康に与える影響について、知っていますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- 生活習慣病になりやすい・悪化しやすいについて、「知っている」が 83.0%、「知らない」が 7.5%となっています。
  - 歯周病になりやすい・悪化しやすいについて、「知っている」が 56.3%、「知らない」が 32.9%となっています。
  - 周りの人の健康にも影響を及ぼすについて、「知っている」が 89.4%、「知らない」が 1.7%となっています。

【図 7-8 たばこが健康に与える影響の認知度】

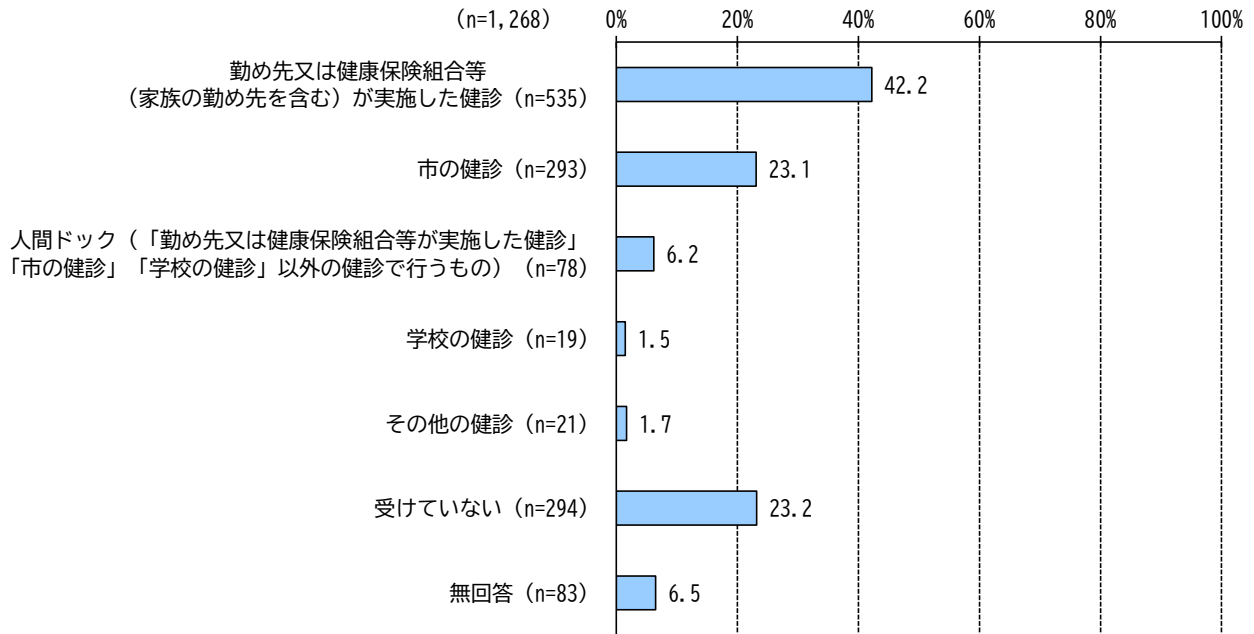


(8) 健診や医療機関の受診状況等について

問1 この1年間にどのような機会に健診や人間ドックを受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

**【全体】**  
 ○ 健診や人間ドックの受診状況について、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した健診」が42.2%、次いで「受けていない」が23.2%、「市の健診」が23.1%となっています。

【図 8-1 健診や人間ドックの受診状況】



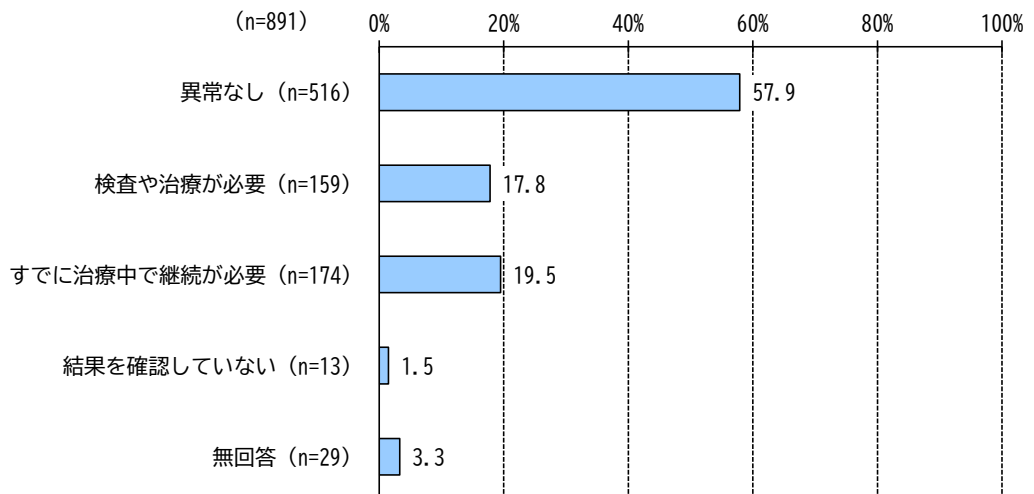
※がん検診、妊産婦健診、歯の健診、診療目的での検査は健診に含みません。

【問1で「市の健診」「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した健診」「学校の健診」「人間ドック」「その他の健診」と回答した人にお聞きします。】

問1-1 健診や人間ドックの結果はどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

**【全体】**  
 ○ 健診や人間ドックの結果について、「異常なし」が57.9%、次いで「すでに治療中で継続が必要」が19.5%、「検査や治療が必要」が17.8%となっています。

【図 8-2 健診や人間ドックの結果】



【問1-1で「検査や治療が必要」「すでに治療中で継続が必要」と回答した人にお聞きします。】

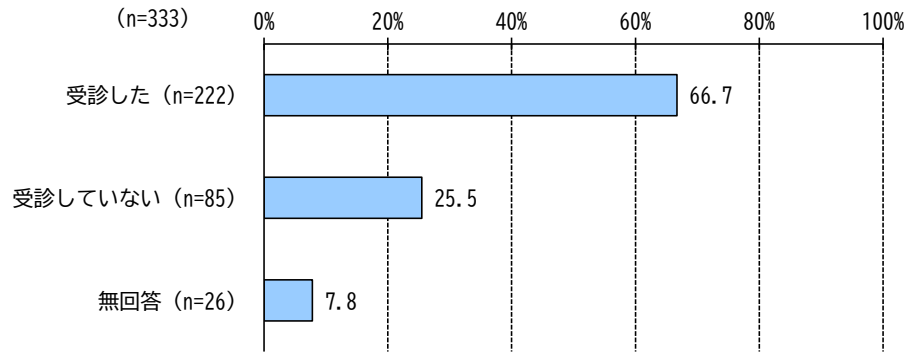
問1-1 (1) 健診や人間ドックの結果を確認した後、医療機関を受診しましたか。

(あてはまるもの1つに○)

【全体】

- 健診や人間ドックの結果を確認した後、医療機関を受診したかについて、「受診した」が66.7%、「受診していない」が25.5%となっています。

【図 8-3 健診や人間ドックの結果を確認した後、医療機関を受診したか】



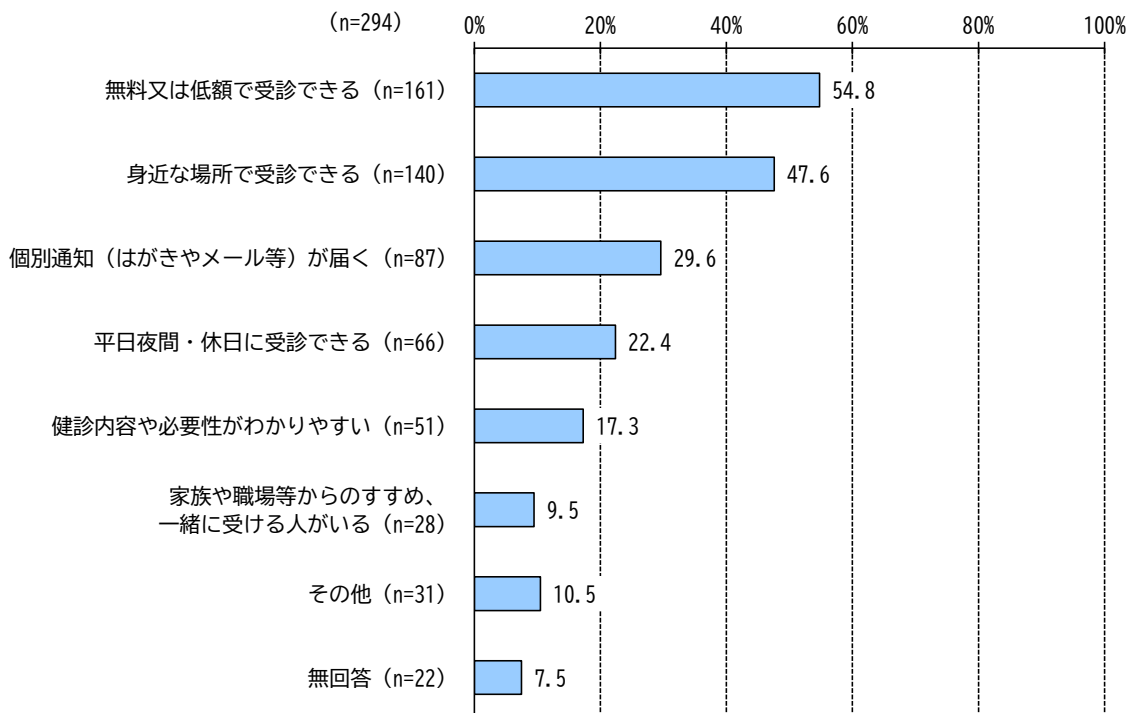
【問1で「受けていない」と回答した人にお聞きします。】

問1-2 健診を受けやすくするには、何が重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- 健康診査や人間ドックを受けていない理由について、「無料又は低額で受診できる」が54.8%、次いで「身近な場所で受診できる」が47.6%、「個別通知（はがきやメール等）が届く」が29.6%となっています。

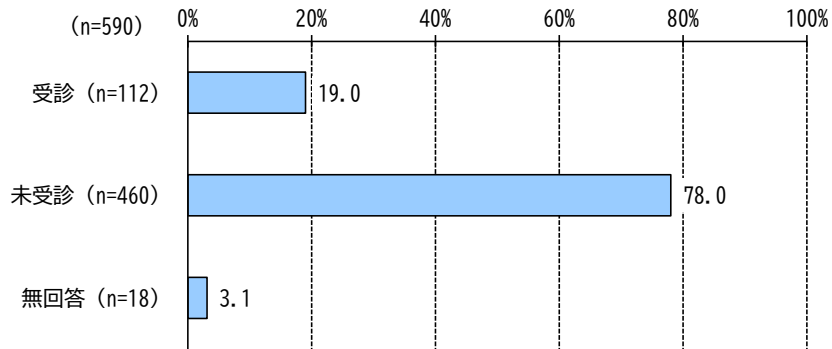
【図 8-4 健康診査や人間ドックを受けていない理由】



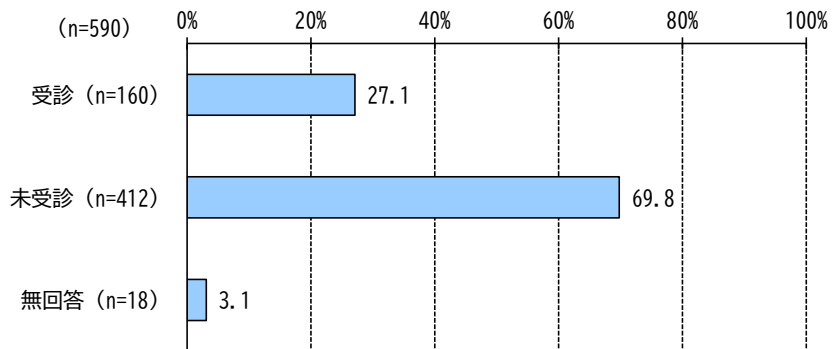
問2 この1年間（胃がん検診、乳がん検診、子宮がん検診はこの2年間）にどの検診を受けましたか。（あてはまるものすべてに○）

- 【全体】**
- 肺がん検診について、「受診」が19.0%、「未受診」が78.0%となっています。
  - 大腸がん検診について、「受診」が27.1%、「未受診」が69.8%となっています。
  - 胃がん検診について、「受診」が26.8%、「未受診」が69.5%となっています。
  - 乳がん検診（女性）について、「受診」が50.8%、「未受診」が46.8%となっています。
  - 子宮がん検診（女性）について、「受診」が45.7%、「未受診」が52.2%となっています。

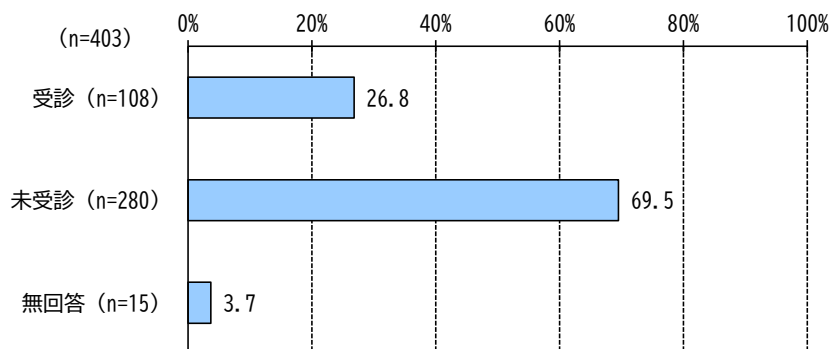
**【図 8-5 肺がん検診】**



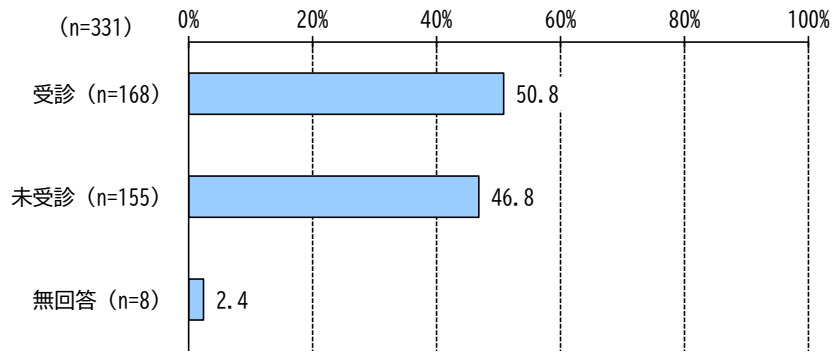
**【図 8-6 大腸がん検診】**



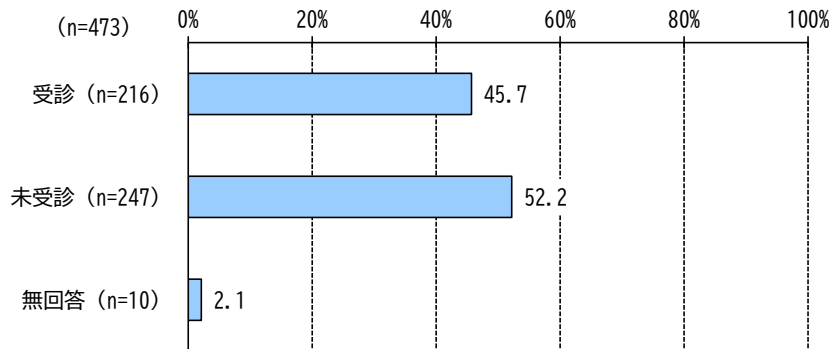
**【図 8-7 胃がん検診】**



【図 8-8 乳がん検診（女性）】



【図 8-9 子宮がん検診（女性）】



※厚生労働省の各がん検診の推奨対象者に基づき、肺・大腸・乳がん検診は40歳以上69歳以下、胃がん検診は50歳以上69歳以下、子宮がん検診20歳以上69歳以下の受診状況を示しています。

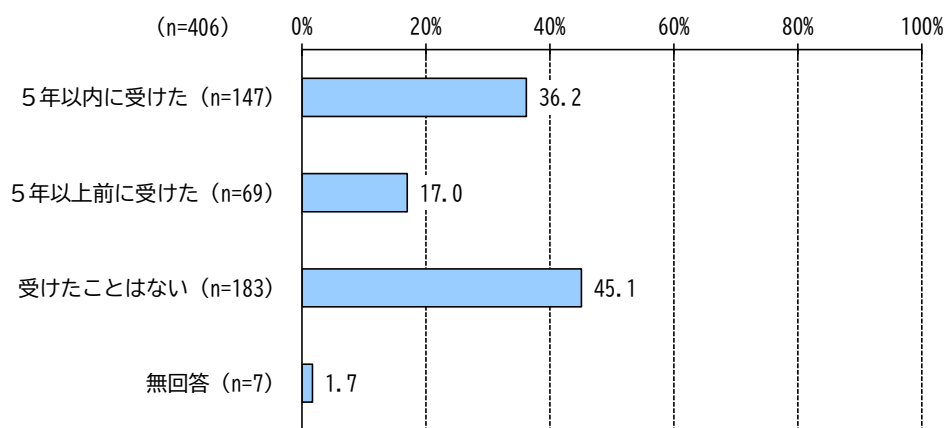
【40歳以上75歳以下の女性にお聞きします。】

問3 骨粗しょう検診（骨密度を測る検査）を受けましたか。（あてはまるもの1つに○）

【全体】

- 骨粗しょう検診（骨密度を測る検査）の受診状況について、「受けたことはない」が45.1%で、次いで「5年以内に受けた」が36.2%、「5年以上前に受けた」が17.0%となっています。

【図 8-10 骨粗しょう検診（骨密度を測る検査）の受診状況】



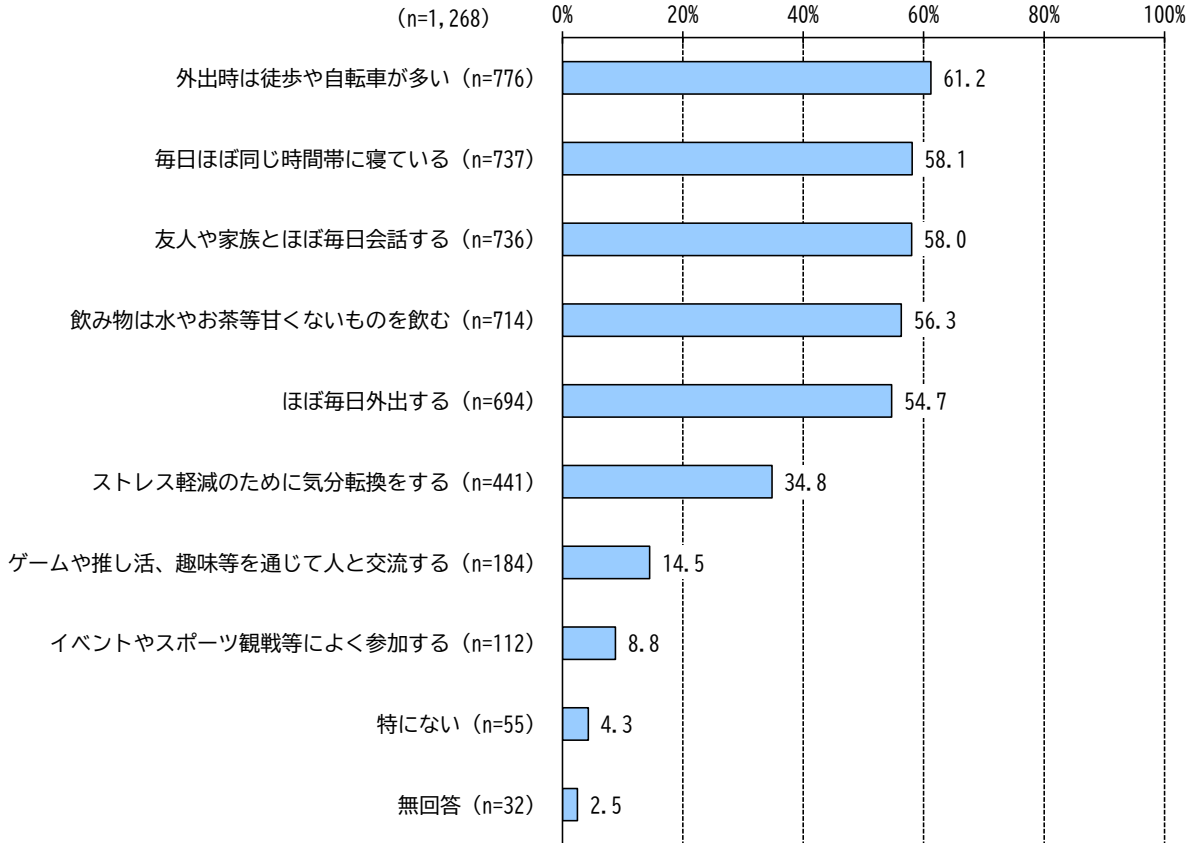
## (9) その他のことについて

問1 ふだん、行っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- ふだん、行っているものについて、「外出時は徒歩や自転車が多い」が61.2%、次いで「毎日ほぼ同じ時間帯に寝ている」が58.1%、「友人や家族とほぼ毎日会話する」が58.0%となっています。

【図 9-1 ふだん、行っているもの】



※推し活とは、有名人やアニメ、ゲームのキャラクター等を応援する活動のことをいいます。

問2 ご自身や家族の健康に関心がありますか。(あてはまるもの1つに○)

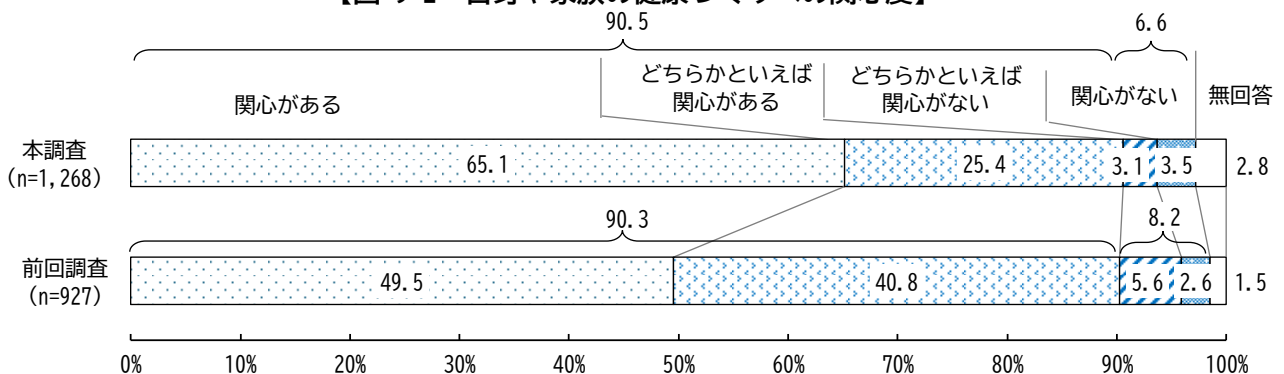
【全体】

- 自身や家族の健康づくりへの関心度について、「関心がある」が65.1%、次いで「どちらかといえば関心がある」が25.4%、「関心がない」が3.5%となっています。
- 「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた「関心がある人」は90.5%となっており、「どちらかといえば関心がない」「関心がない」を合わせた「関心がない人」は6.6%となっています。

【本調査と前回調査との比較】

- 「関心がある」は前回調査(49.5%)から15.6ポイント増加しています。〈有意差あり〉
- 「どちらかといえば関心がある」は前回調査(40.8%)から15.4ポイント、「どちらかといえば関心がない」は前回調査(5.6%)から2.5ポイント減少しています。〈有意差あり〉

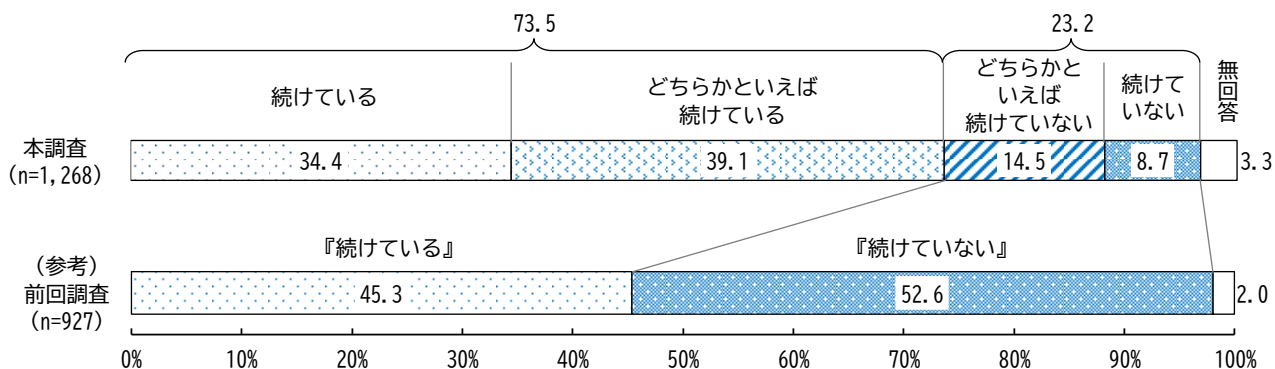
【図 9-2 自身や家族の健康づくりへの関心度】



問3 この1年間、健康を意識した行動を続けていますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】  
 ○ 健康を意識した行動の継続状況について、「どちらかといえば続けている」が39.1%、次いで「続けている」が34.4%、「どちらかといえば続けない」が14.5%となっています。  
 ○ 「続けている」「どちらかといえば続けている」を合わせた“続けている人”は73.5%となっており、「どちらかといえば続けない」「続けない」を合わせた“続けない人”は23.2%となっています。

【図 9-3 健康を意識した行動の継続状況】

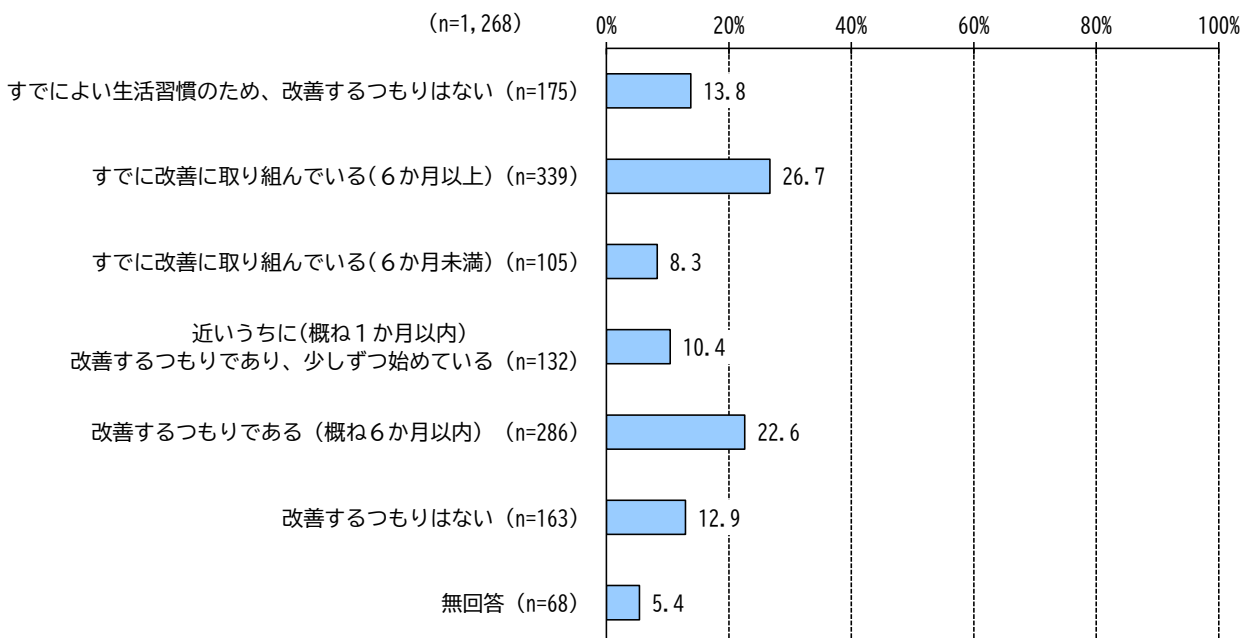


※前回調査は選択肢が異なるため、参考として掲載しています。

問4 運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いませんか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】  
 ○ 生活習慣の改善意識について、「すでに改善に取り組んでいる(6か月以上)」が26.7%、次いで「改善するつもりである(概ね6か月以内)」が22.6%、「すでによい生活習慣のため、改善するつもりはない」が13.8%となっています。

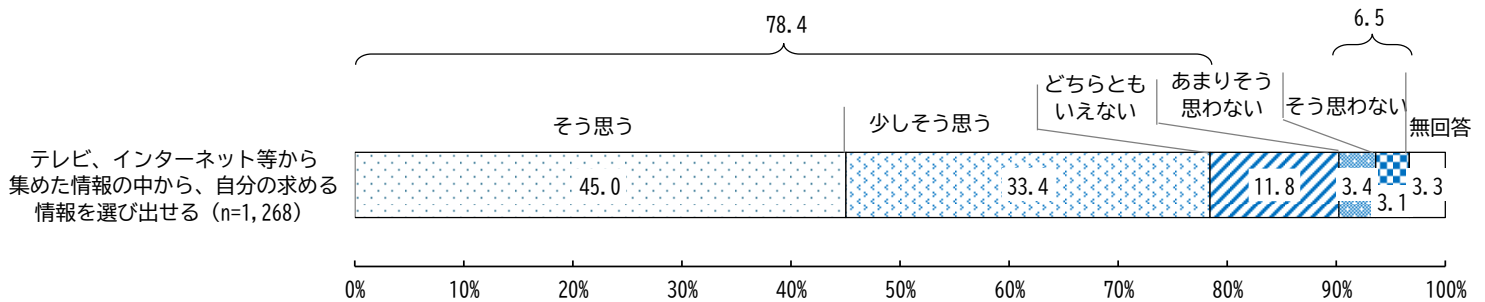
【図 9-4 生活習慣の改善意識】



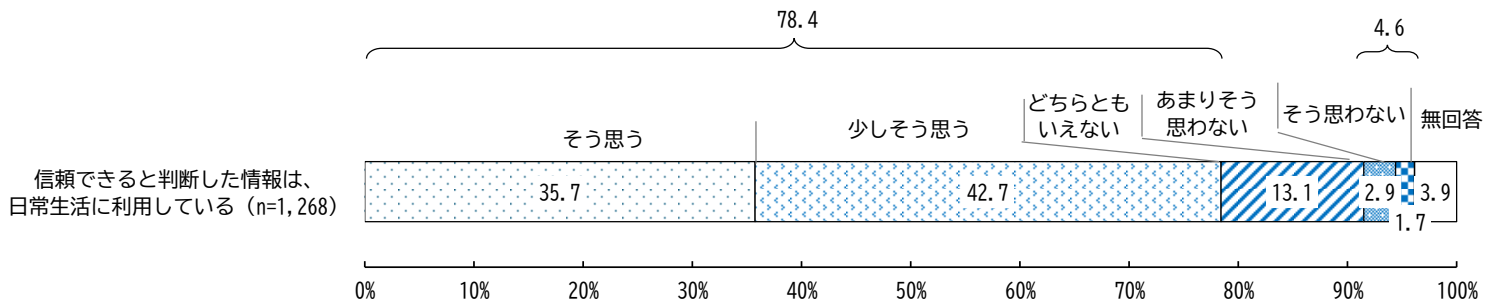
問5 病気や健康に関連した情報を自分自身で探したり、利用したりすることができると思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- テレビ、インターネット等から集めた情報の中から、自分の求める情報を選び出せるについて、「そう思う」が 45.0%、次いで「少しそう思う」が 33.4%、「どちらともいえない」が 11.8%となっています。
  - 「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は 78.4%となっており、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない人”は 6.5%となっています。
  - 信頼できると判断した情報は、日常生活に利用しているについて、「少しそう思う」が 42.7%、次いで「そう思う」が 35.7%、「どちらともいえない」が 13.1%となっています。
  - 「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は 78.4%となっており、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない人”は 4.6%となっています。

【図 9-5 健康情報の選択に関する自己評価】



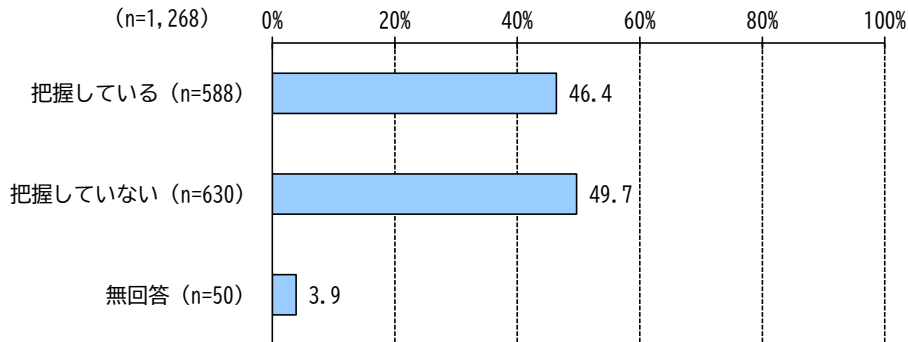
【図 9-6 健康情報の活用に関する自己評価】



問6 日頃から、スマートフォンのアプリ等に記録されたご自身の生活習慣(歩数等)や健康状態を把握していますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】  
○ 生活習慣(歩数等)や健康状態の把握について、「把握している」が46.4%、「把握していない」が49.7%となっています。

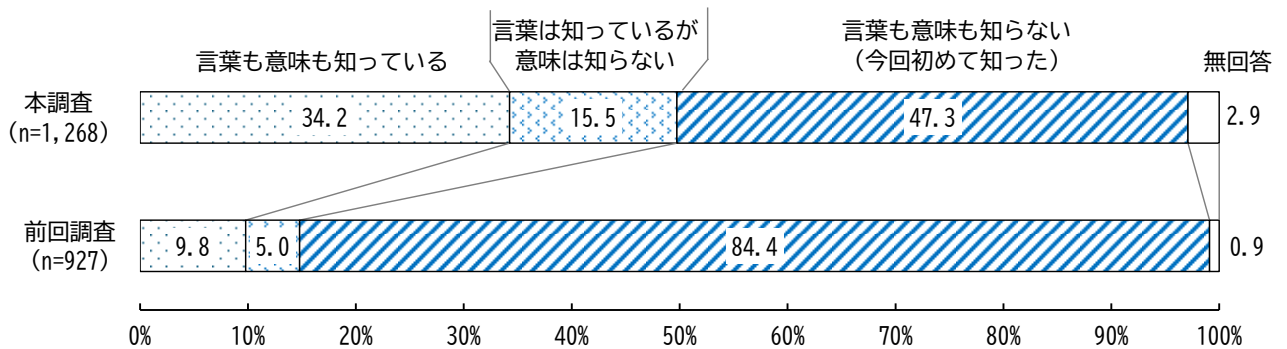
【図 9-7 生活習慣(歩数等)や健康状態の把握】



問7 フレイルという言葉を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】  
○ フレイルの認知度について、「言葉も意味も知らない(今回初めて知った)」が47.3%、次いで「言葉も意味も知っている」が34.2%、「言葉は知っているが意味は知らない」が15.5%となっています。  
【本調査と前回調査との比較】  
○ 「言葉も意味も知っている」は前回調査(9.8%)から24.4ポイント、「言葉は知っているが意味は知らない」は前回調査(5.0%)から10.5ポイント増加しています。〈有意差あり〉  
○ 「言葉も意味も知らない(今回初めて知った)」は前回調査(84.4%)から37.1ポイント減少しています。〈有意差あり〉

【図 9-8 フレイルの認知度】

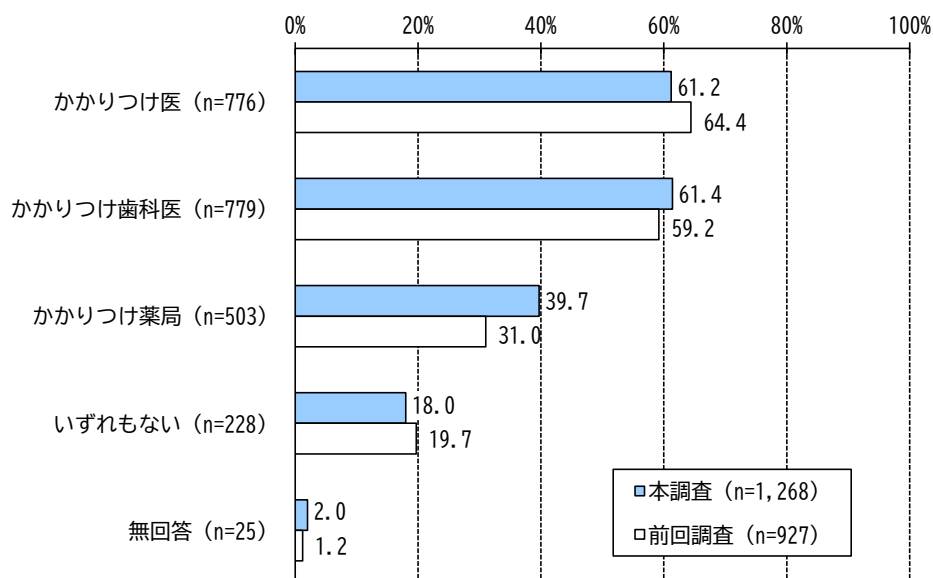


※フレイルとは、年齢とともに心身の活力(筋力や認知機能等)が低下して、要介護状態に近づくことをいいます。対策をとれば、健康な状態に戻ることも可能です。

問8 かかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 【全体】
- かかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無について、「かかりつけ歯科医」が61.4%、次いで「かかりつけ医」が61.2%、「かかりつけ薬局」が39.7%となっています。
- 【本調査と前回調査との比較】
- 「かかりつけ薬局」は前回調査(31.0%)から8.7ポイント増加しています。〈有意差あり〉

【図 9-9 かかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無】



※かかりつけ医とは、体のことを継続して診てもらえ、何でも相談できる身近な医師のことをいいます。

※かかりつけ歯科医とは、歯や口のことを継続して診てもらえ、何でも相談できる身近な歯科医師のことをいいます。

※かかりつけ薬局とは、薬や健康について継続して相談できる身近な薬局のことをいいます。

### 3. 健康に関する市民意識アンケート調査結果（保護者）

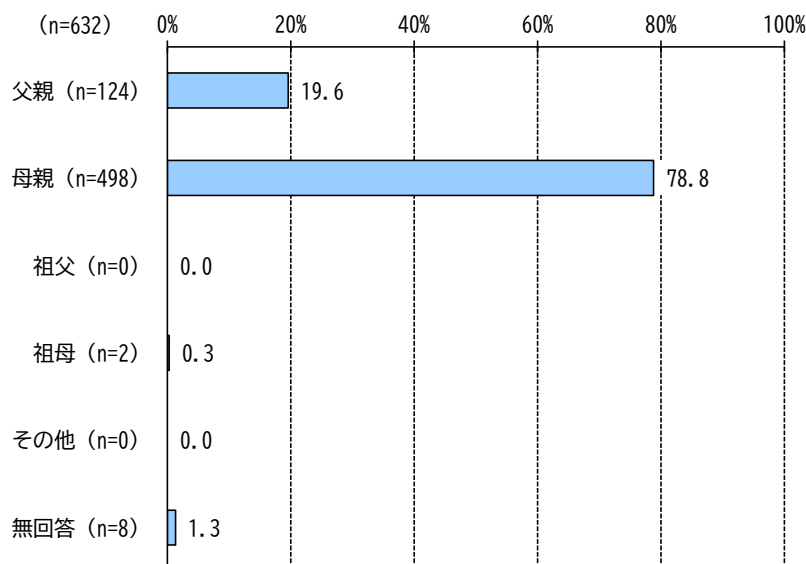
#### (1) あなた自身のことについて

問1 お子さんからみた、あなたの続柄はどれにあてはまりますか。（あてはまるもの1つに○）

【全体】

○ 保護者（記入者）の続柄について、「母親」が78.8%、次いで「父親」が19.6%、「祖母」が0.3%となっています。

【図 10-1 保護者（記入者）の続柄】

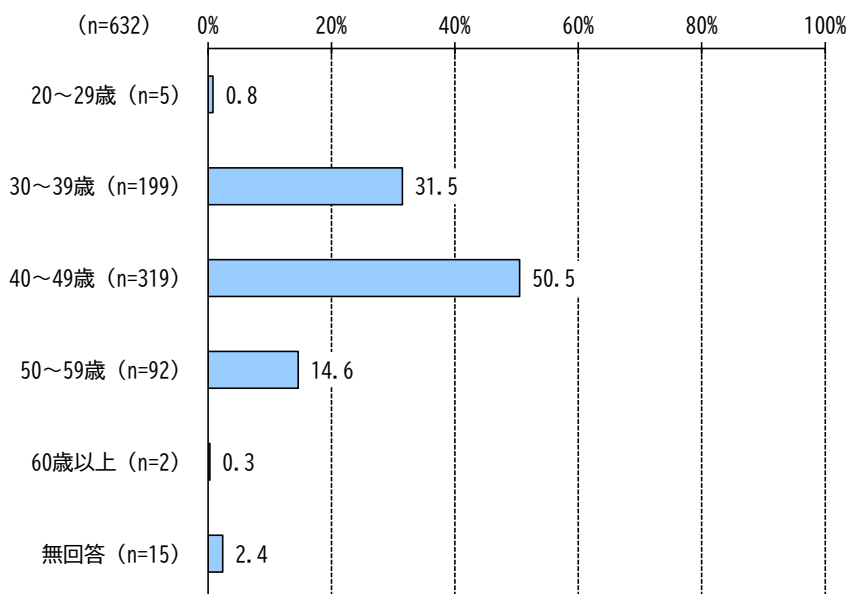


問2 あなたは現在、何歳ですか。（令和7年（2025年）10月1日時点）

【全体】

○ 保護者（記入者）の年齢について、「40～49歳」が50.5%、次いで「30～39歳」が31.5%、「50～59歳」が14.6%となっています。

【図 10-2 保護者（記入者）の年齢】

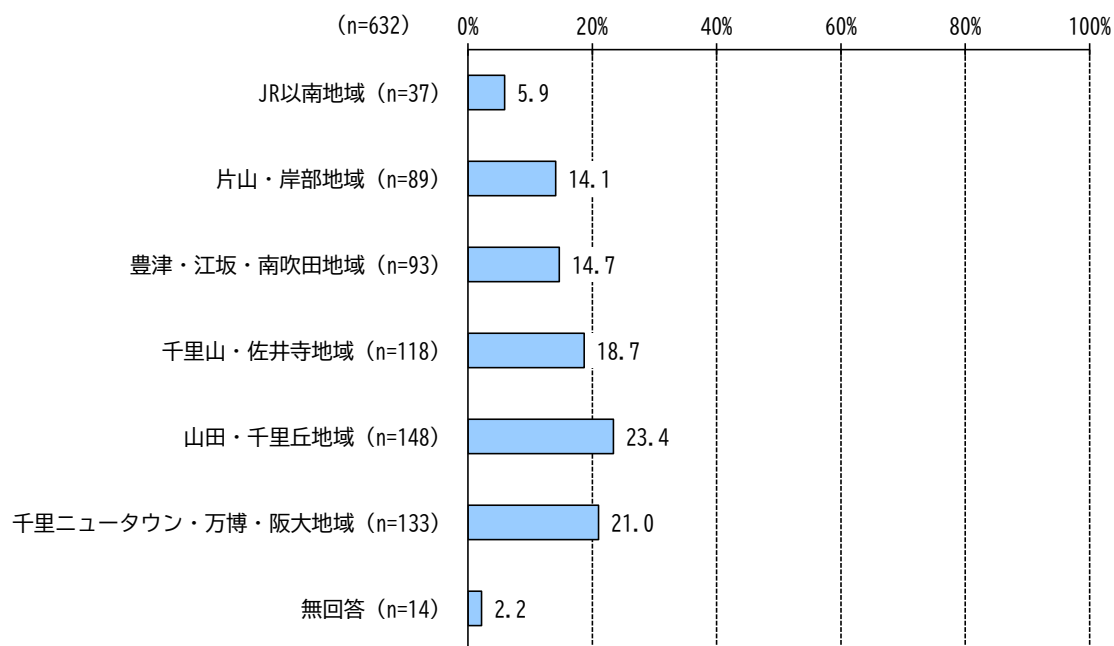


問3 現在お住まいの地域はどこですか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】

- 居住地域について、「山田・千里丘地域」が23.4%、次いで「千里ニュータウン・万博・阪大地域」が21.0%、「千里山・佐井寺地域」が18.7%となっています。

【図 10-3 居住地域】



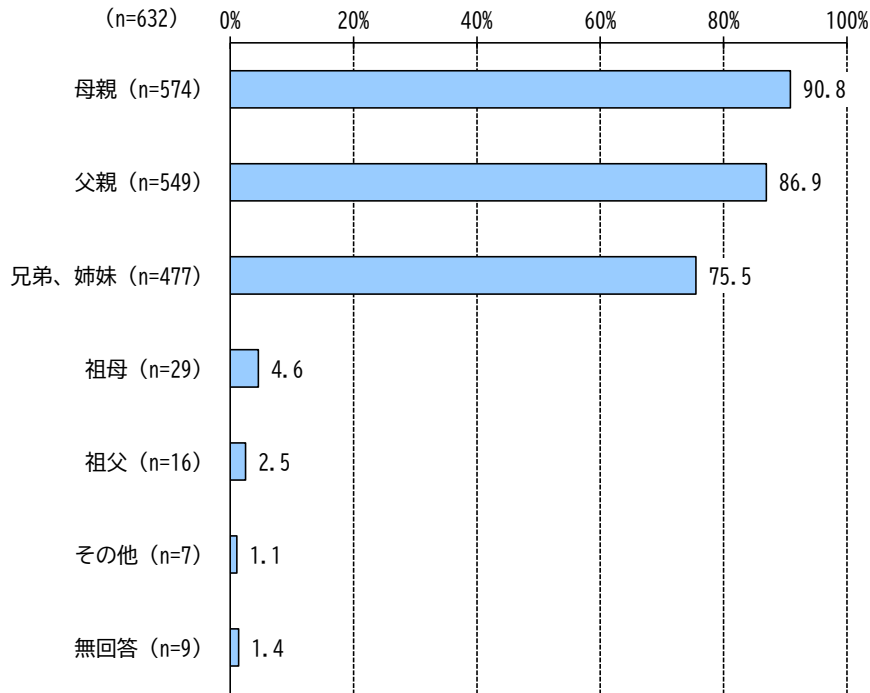
問4 現在、お子さんと同居している人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

※続柄はお子さんからみた関係でお答えください。

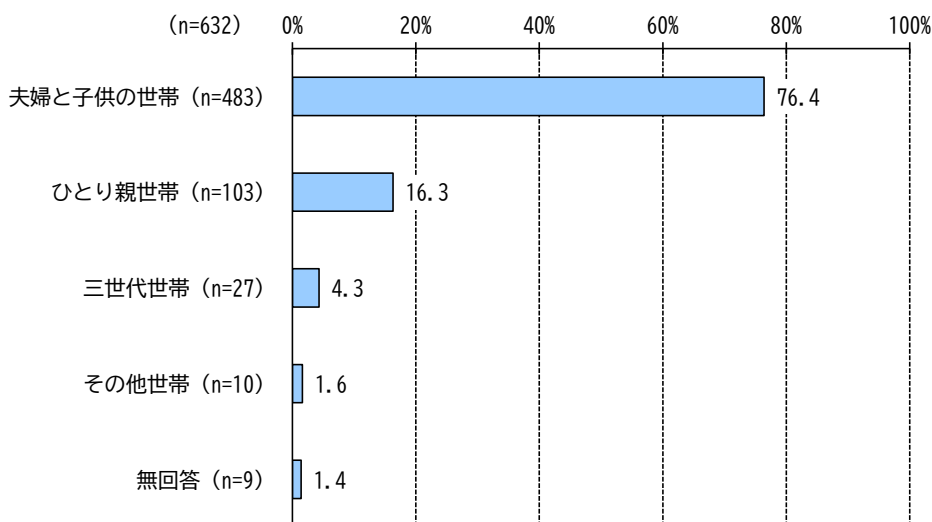
【全体】

- 家族構成について、「母親」が90.8%、次いで「父親」が86.9%、「兄弟、姉妹」が75.5%となっています。
- 世帯構成について、「夫婦と子供の世帯」が76.4%、次いで「ひとり親世帯」が16.3%、「三世代世帯」が4.3%となっています。

【図 10-4 家族構成】



【図 10-5 世帯構成】

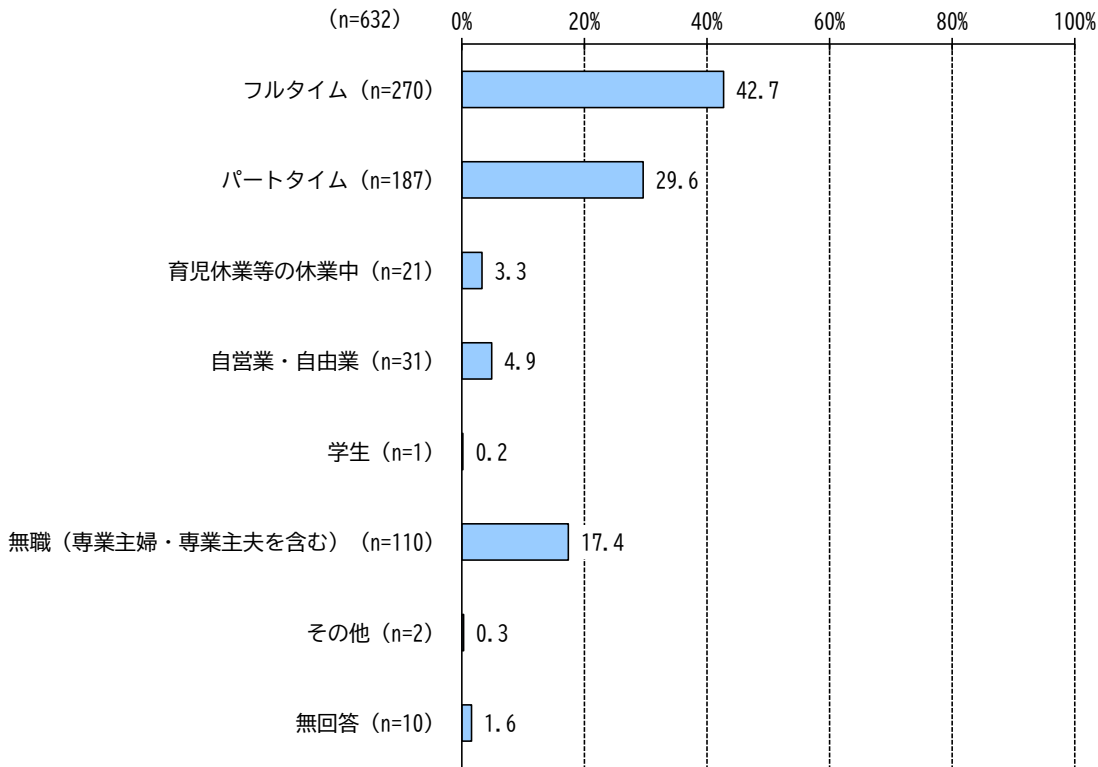


※三世代世帯とは、回答者との続柄が、祖父母、父母（又は配偶者の父母）、配偶者、子供（又は子供の配偶者）及び孫の直系世代のうち、3つ以上の世代が同居していることが判定可能な世帯をいいます。

問5 あなたの主たる就業・就学状況は次のどれにあてはまりますか。(もっともあてはまるもの1つに○)

【全体】  
 ○ 保護者（記入者）の就業・就学状況について、「フルタイム」が42.7%、次いで「パートタイム」が29.6%、「無職（専業主婦・専業主夫を含む）」が17.4%となっています。

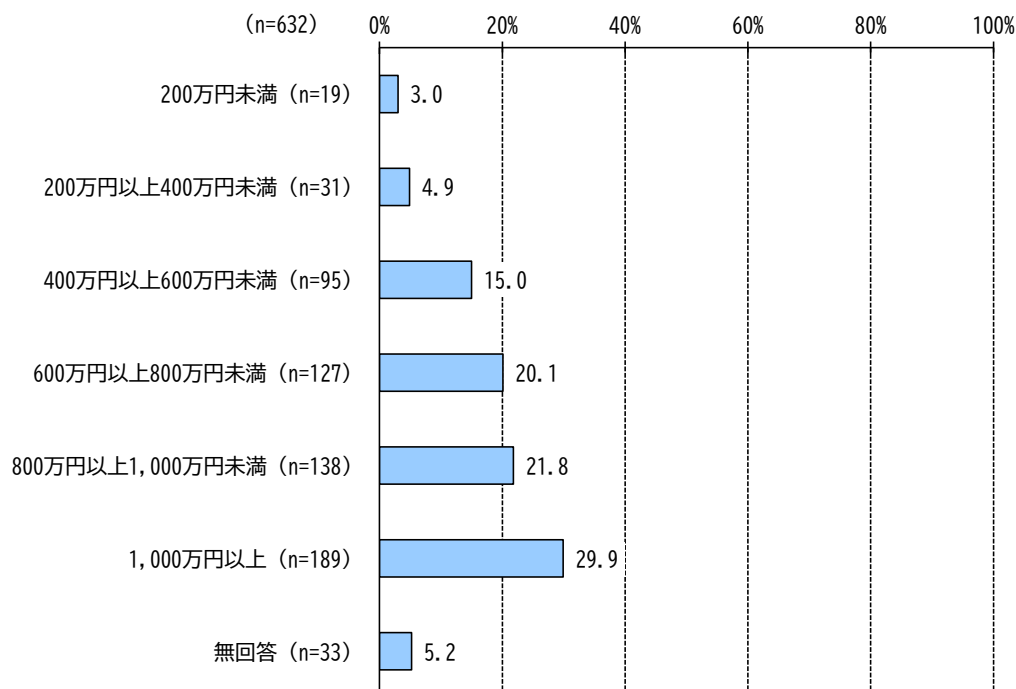
【図 10-6 保護者（記入者）の就業・就学状況】



問6 世帯全体の年間の収入は次のどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】  
 ○ 世帯年収について、「1,000万円以上」が29.9%、次いで「800万円以上1,000万円未満」が21.8%、「600万円以上800万円未満」が20.1%となっています。

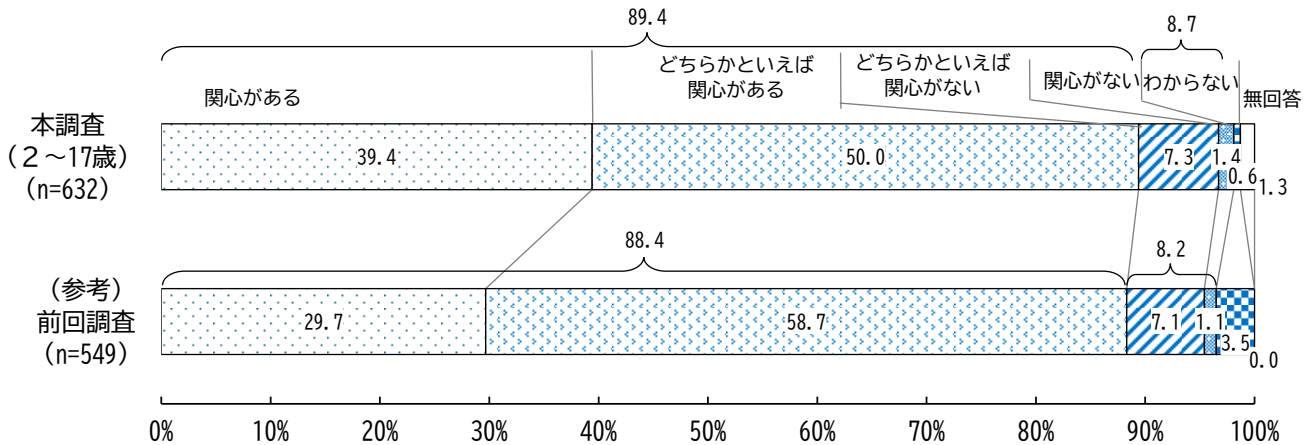
【図 10-7 世帯年収】



問7 あなたは、「食育」に関心がありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- 食育への関心度について、「どちらかといえば関心がある」が50.0%、次いで「関心がある」が39.4%、「どちらかといえば関心がない」が7.3%となっています。
  - 「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある人”は89.4%となっており、「どちらかといえば関心がない」「関心がない」を合わせた“関心がない人”は8.7%となっています。
- 【本調査と前回調査との比較】
- 「関心がある」は前回調査(29.7%)から9.7ポイント増加しています。〈有意差あり〉
  - 「どちらかといえば関心がある」は前回調査(58.7%)から8.7ポイント、「わからない」は前回調査(3.5%)から2.9ポイント減少しています。〈有意差あり〉

【図 10-8 食育への関心度】



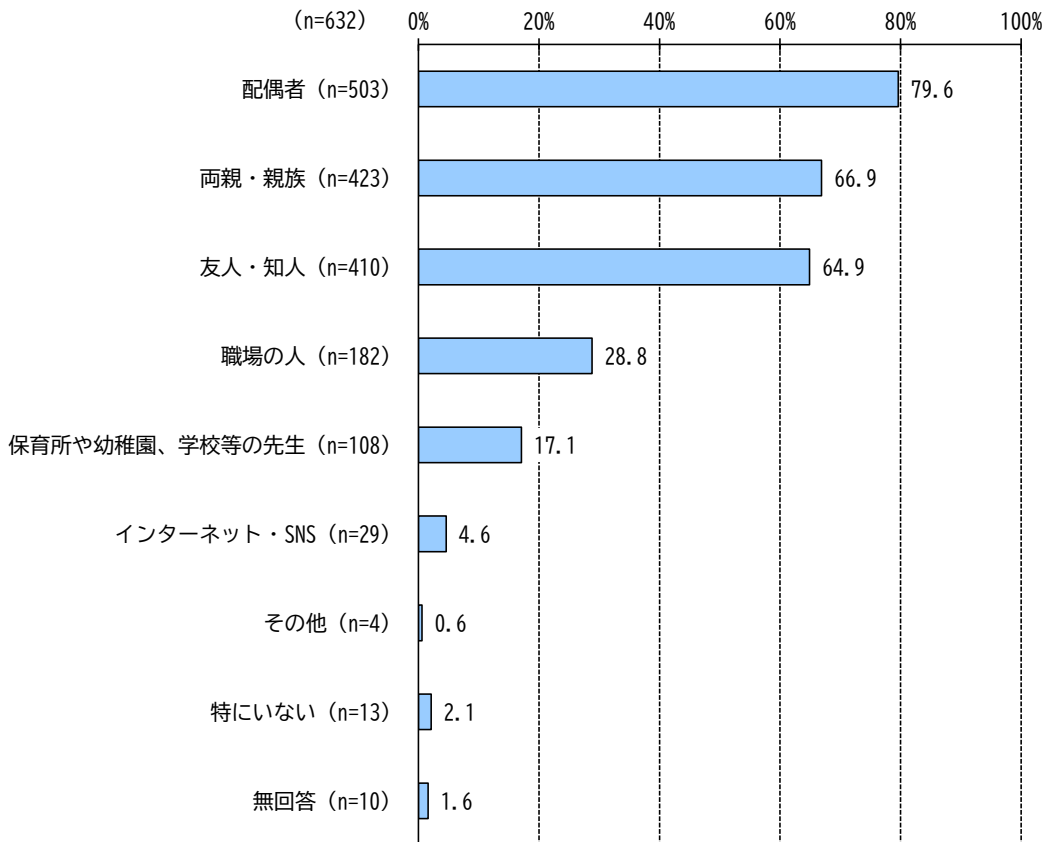
※食育とは、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつ等を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化等への理解を深めたりすることをいいます。

問8 子育てについて気軽に話せる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- 子育てについて気軽に話せる人について、「配偶者」が 79.6%、次いで「両親・親族」が 66.9%、「友人・知人」が 64.9%となっています。

【図 10-9 子育てについて気軽に話せる人】

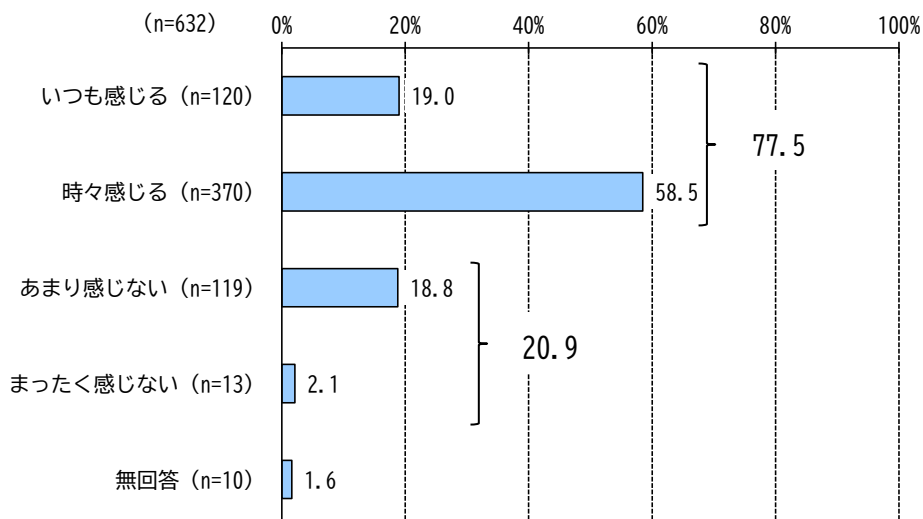


問9 子育てについて悩みや不安をどの程度感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】

- 子育てについて悩みや不安をどの程度感じているかについて、「時々感じる」が 58.5%、次いで「いつも感じる」が 19.0%、「あまり感じない」が 18.8%となっています。
- 「いつも感じる」「時々感じる」を合わせた“感じている人”は 77.5%となっており、「あまり感じない」「まったく感じない」を合わせた“感じていない人”は 20.9%となっています。

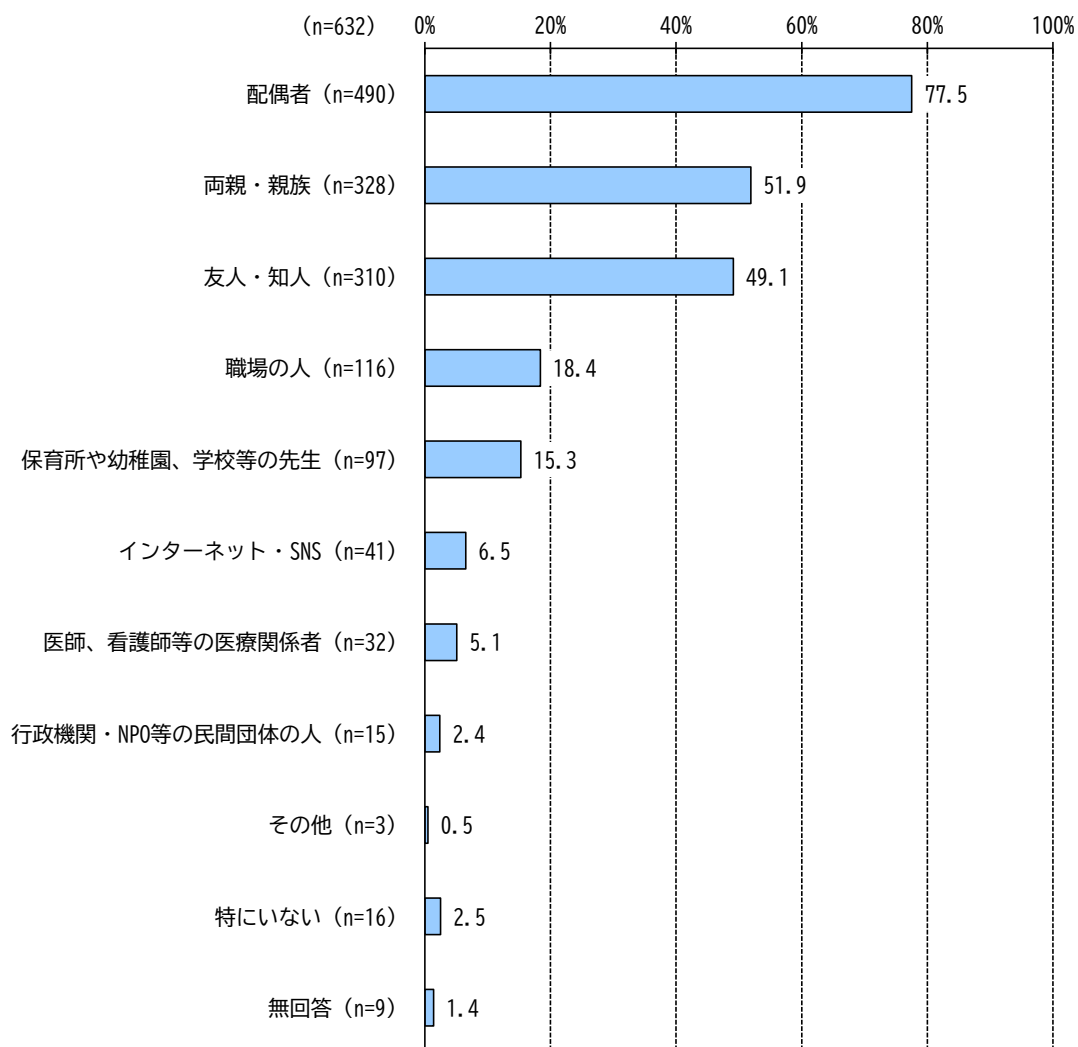
【図 10-10 子育てについて悩みや不安をどの程度感じているか】



問10 子育てについて悩みや不安を感じる時の主な相談相手はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】  
○ 子育てについて悩みや不安を感じる時の相談相手について、「配偶者」が77.5%、次いで「両親・親族」が51.9%、「友人・知人」が49.1%となっています。

【図 10-11 子育てについて悩みや不安を感じる時の相談相手】

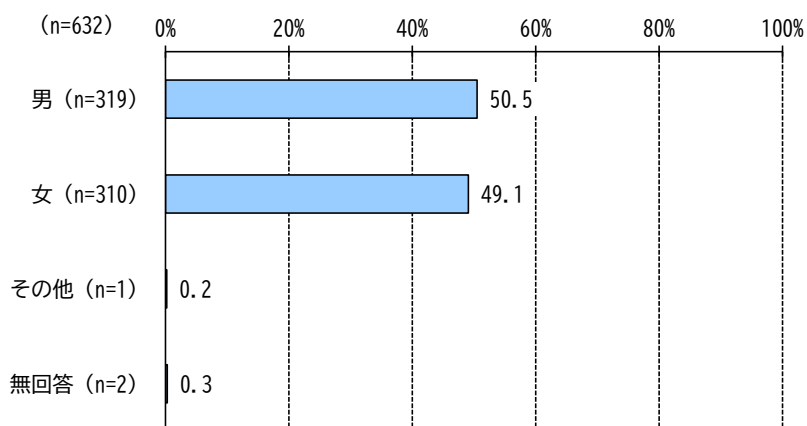


## (2) お子さんのことについて

問1 お子さんの性別はどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】  
○ 子供の性別について、「男」が50.5%、次いで「女」が49.1%となっています。

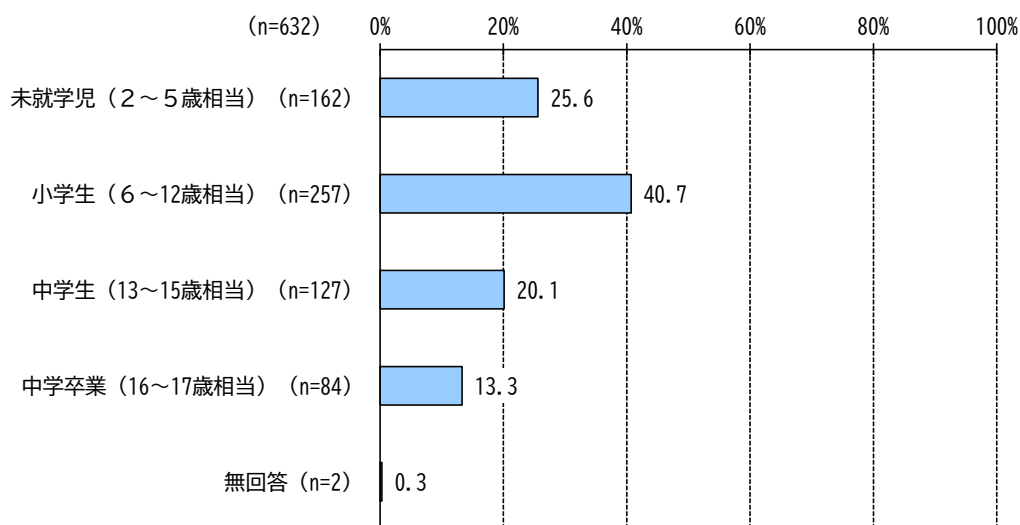
【図 11-1 子供の性別】



問2 お子さんは現在、何歳ですか。(令和7年(2025年)10月1日時点)

【全体】  
○ 子供の年齢について、「小学生相当(6~12歳相当)」が40.7%、次いで「未就学児(2~5歳相当)」が25.6%、「中学生相当(13~15歳相当)」が20.1%となっています。

【図 11-2 子供の年齢】

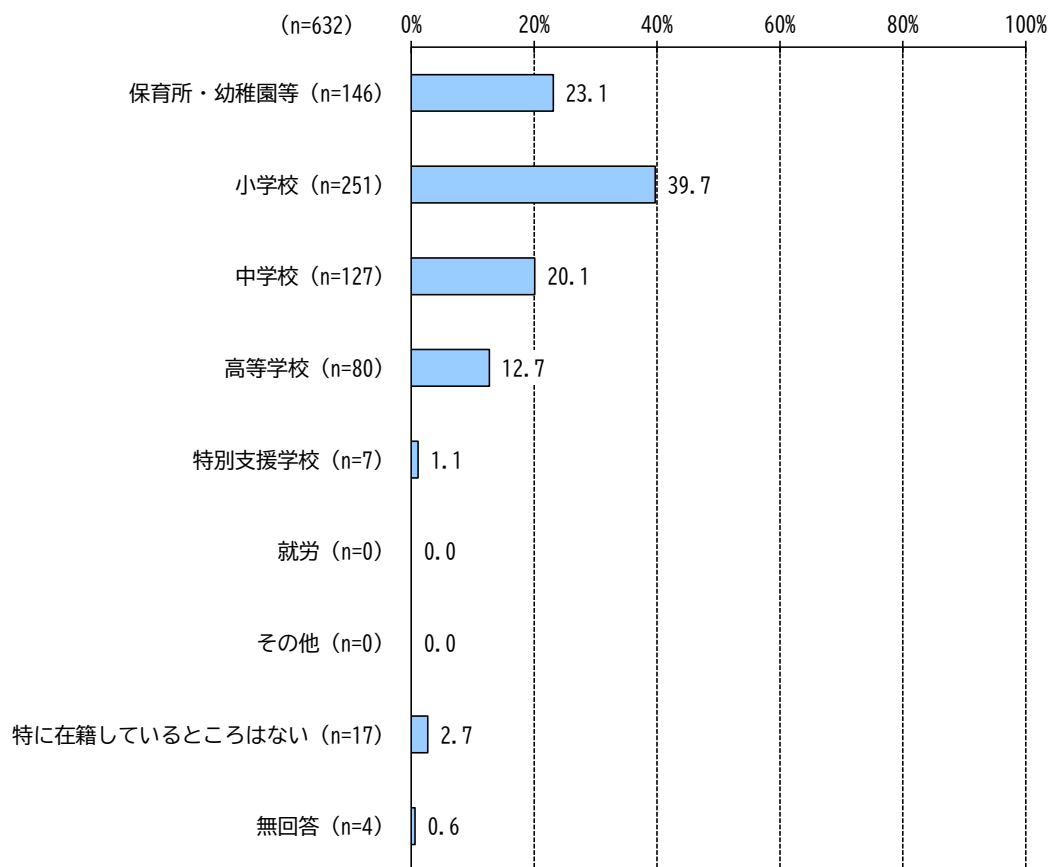


問3 お子さんが在籍している教育・保育施設や学校等はどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

【全体】

○ 子供が在籍している教育・保育施設や学校等について、「小学校」が 39.7%、次いで「保育所・幼稚園等」が 23.1%、「中学校」が 20.1%となっています。

【図 11-3 子供が在籍している教育・保育施設や学校等】

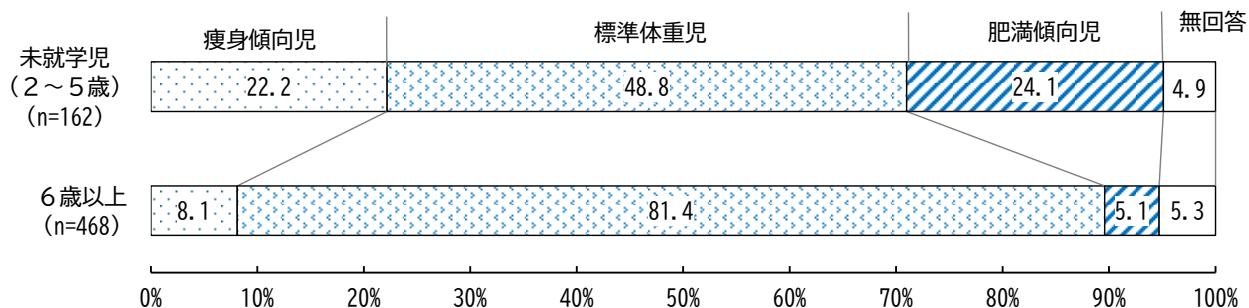


※「保育所・幼稚園等」とは、小規模園、認定こども園、わかたけ園、杉の子学園等、未就学児が通う施設すべてを含みます。

問4 お子さんの身長と体重はどのくらいですか。

- 【全体】
- 未就学児（2～5歳）について、「標準体重児」が48.8%、次いで「肥満傾向児」が24.1%、「痩身傾向児」が22.2%となっています。
  - 6歳以上について、「標準体重児」が81.4%、次いで「痩身傾向児」が8.1%、「肥満傾向児」が5.1%となっています。

【図 11-4 子供の体型】



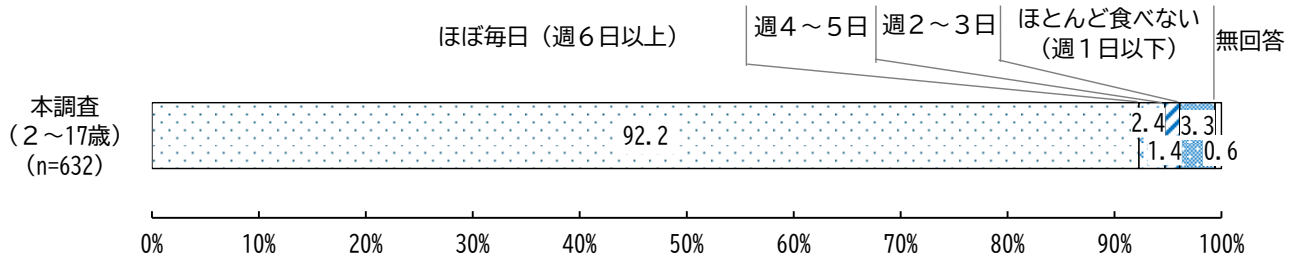
※2～5歳は「カウプ指数」、6歳以上は「学校保健統計調査における肥満痩身算出方法」を用いて算出しています。

### (3) お子さんの食生活等について

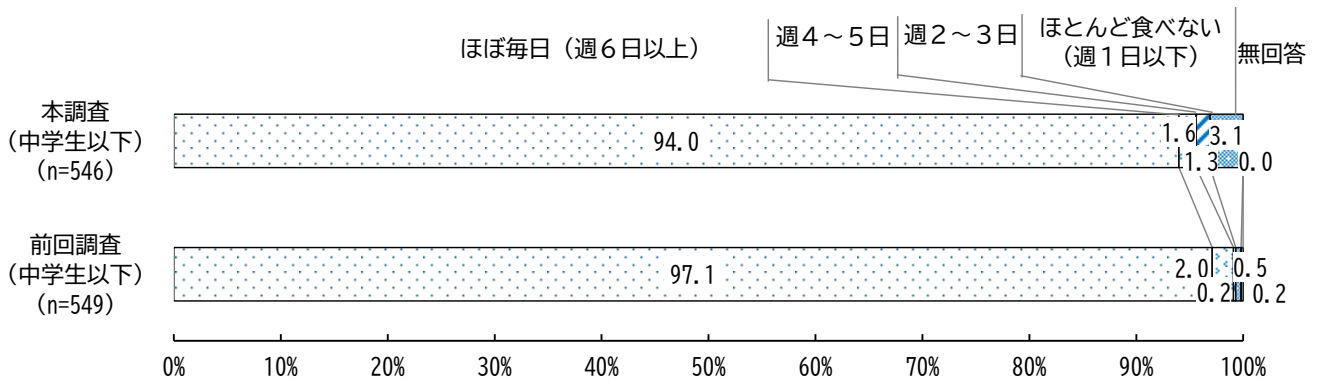
問1 お子さんは、ふだん朝食を食べていますか。(あてはまるもの1つに○)

**【全体】**  
 ○ 朝食を食べる頻度について、「ほぼ毎日（週6日以上）」が92.2%、次いで「ほとんど食べない（週1日以下）」が3.3%、「週4～5日」が2.4%となっています。  
**【本調査（中学生以下）と前回調査との比較】**  
 ○ 「ほぼ毎日（週6日以上）」は前回調査（97.1%）から3.1ポイント減少しています。〈有意差あり〉  
 ○ 「ほとんど食べない（週1日以下）」は前回調査（0.5%）から2.6ポイント増加しています。〈有意差あり〉

**【図 12-1 朝食を食べる頻度】**



**【図 12-2 （参考）朝食を食べる頻度（前回調査（中学生以下）との比較）】**



※エネルギーのない食品（水、無糖の飲料、サプリメント等）のみは朝食に含みません。

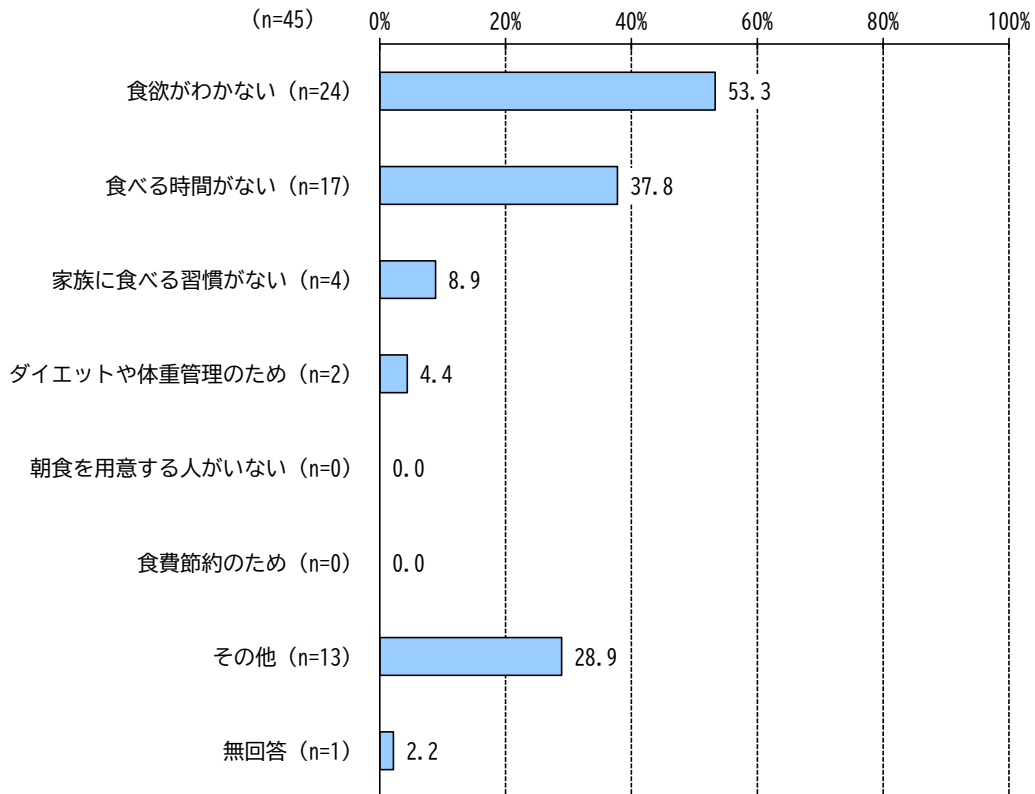
【問1で「週4～5日」「週2～3日」「ほとんど食べない」と回答した人にお聞きします。】

問1-1 お子さんが朝食を食べない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

○ 朝食を食べない理由について、「食欲がわかない」が53.3%、次いで「食べる時間がない」が37.8%、「その他」が28.9%となっています。

【図 12-3 朝食を食べない理由】



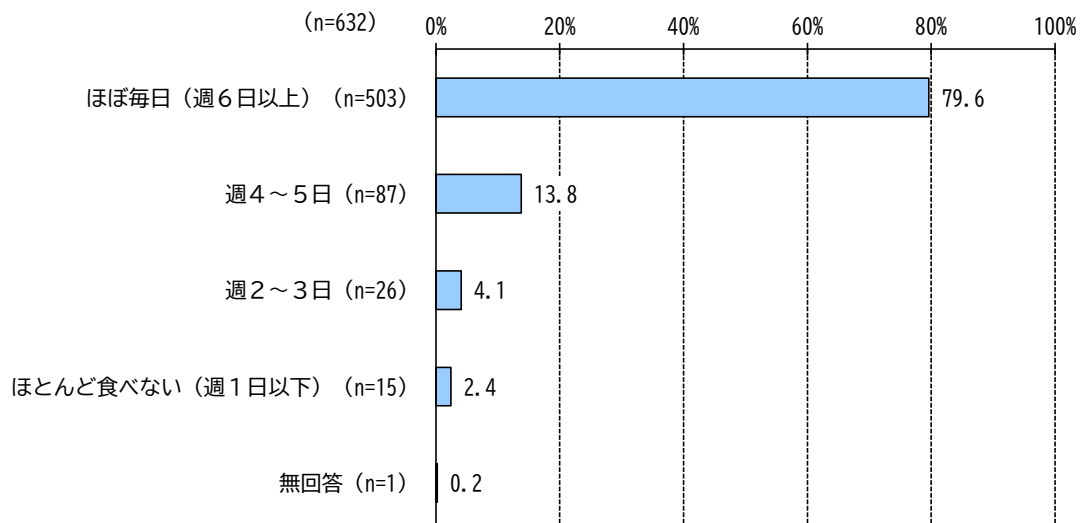
問2 お子さんは、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べていますか。

(あてはまるもの1つに○)

【全体】

○ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度について、「ほぼ毎日 (週6日以上)」が79.6%、次いで「週4～5日」が13.8%、「週2～3日」が4.1%となっています。

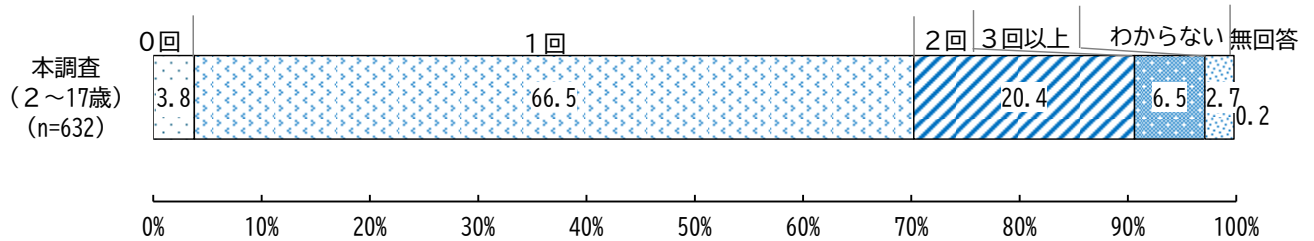
【図 12-4 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度】



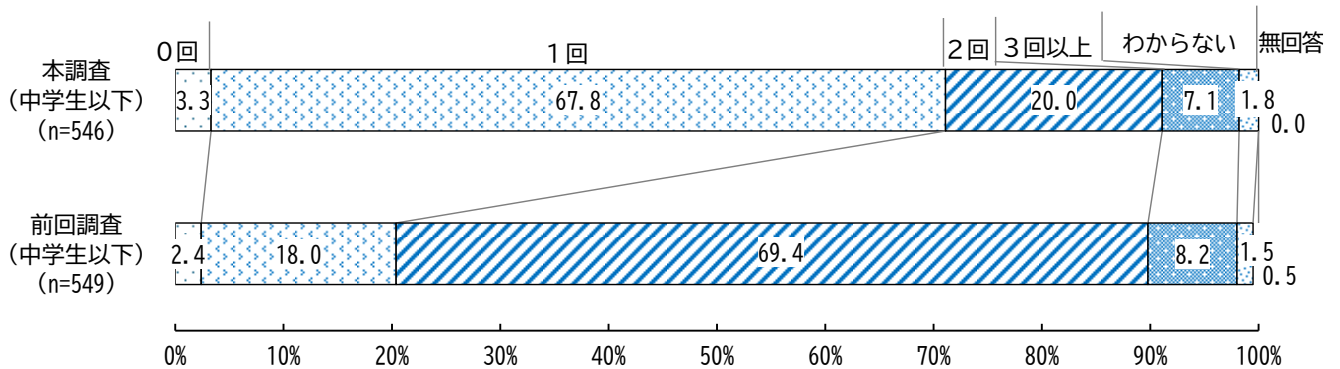
問3 お子さんは、食事以外に菓子や菓子パン、ジュース等を1日何回食べていますか。  
 (あてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- 菓子や菓子パン、ジュース等の摂取頻度について、「1回」が66.5%、次いで「2回」が20.4%、「3回以上」が6.5%となっています。
  - 【本調査(中学生以下)と前回調査との比較】
  - 「0回以上」は前回調査(2.4%)から0.9ポイント増加しています。〈有意差あり〉
  - 「3回以上」は前回調査(8.2%)から1.1ポイント減少しています。〈有意差あり〉

【図 12-5 菓子や菓子パン、ジュース等の摂取頻度】



【図 12-6 (参考) 菓子や菓子パン、ジュース等の摂取頻度(前回調査(中学生以下)との比較)】



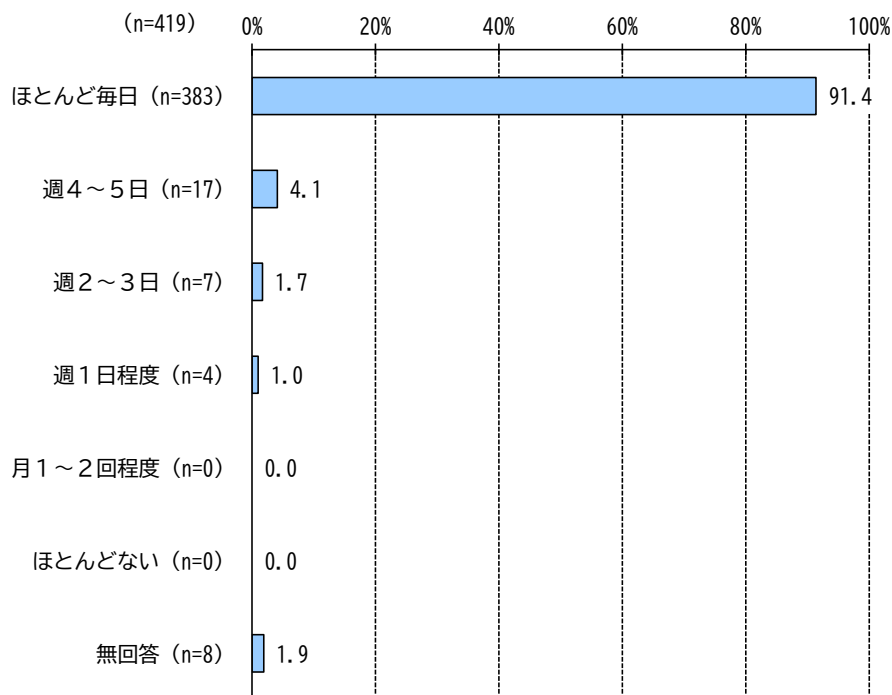
【未就学児と小学生のお子さんの保護者の方にお聞きします。】

問4 お子さんは、家族（同居者含む）と一緒に食事をするのはどのくらいありますか。  
（あてはまるもの1つに○）

【全体】

○ 共食の頻度について、「ほとんど毎日」が 91.4%、次いで「週4～5日」が 4.1%、「週2～3日」が 1.7%となっています。

【図 12-7 共食の頻度】

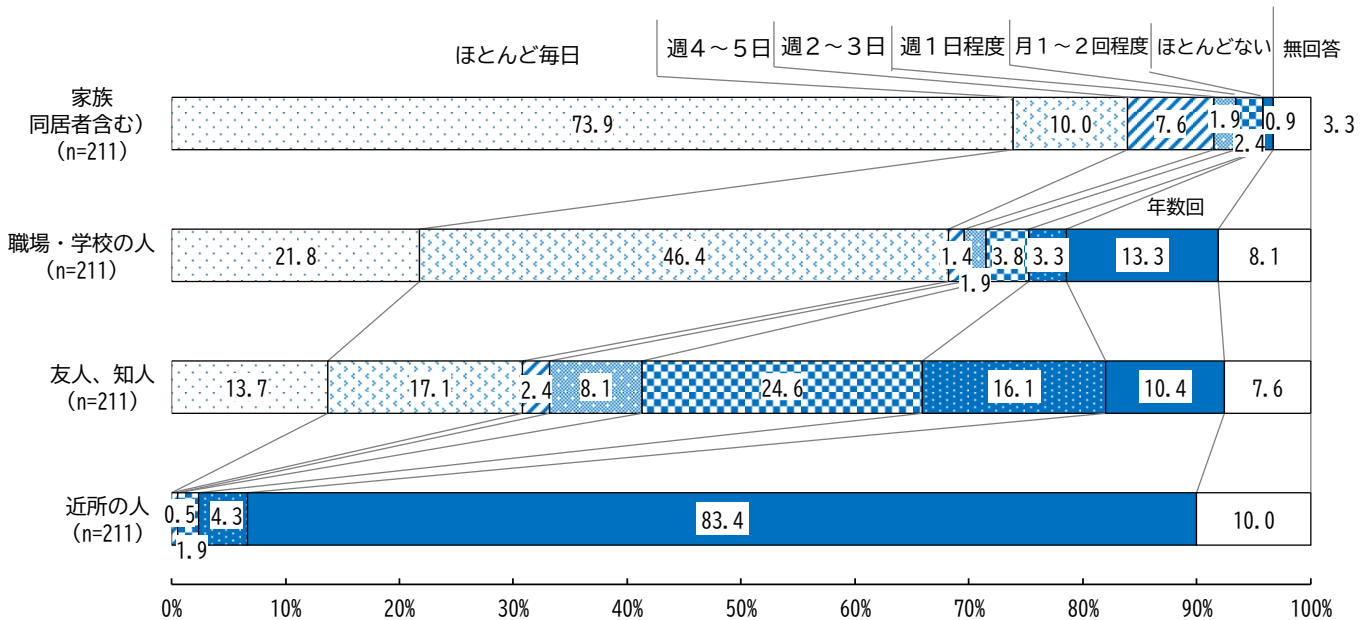


【中学生以上のお子さんの保護者の方にお聞きします。】

問5 お子さんは、家族（同居者含む）や学校（職場）の人、友人等、誰かと一緒に食事することはどのくらいありますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

- 【全体】
- 共食の頻度について、「ほとんど毎日」が78.7%、次いで「週4～5日」が12.3%、「週2～3日」「週1日程度」「月1～2回程度」「ほとんどない」が0.9%となっています。
- 【選択肢別】
- 家族（同居者含む）について、「ほとんど毎日」が73.9%、次いで「週4～5日」が10.0%、「週2～3日」が7.6%となっています。
  - 学校・職場の人について、「週4～5日」が46.4%、次いで「ほとんど毎日」が21.8%、「ほとんどない」が13.3%となっています。
  - 友人、知人について、「月1～2回程度」が24.6%、次いで「週4～5日」が17.1%、「年数回」が16.1%となっています。
  - 近所の人について、「ほとんどない」が83.4%、次いで「年数回」が4.3%、「月1～2回程度」が1.9%となっています。

【図 12-8 共食の頻度】



※回答割合が0.0%の選択肢はグラフから除外しています。

(4) お子さんの運動の状況等について

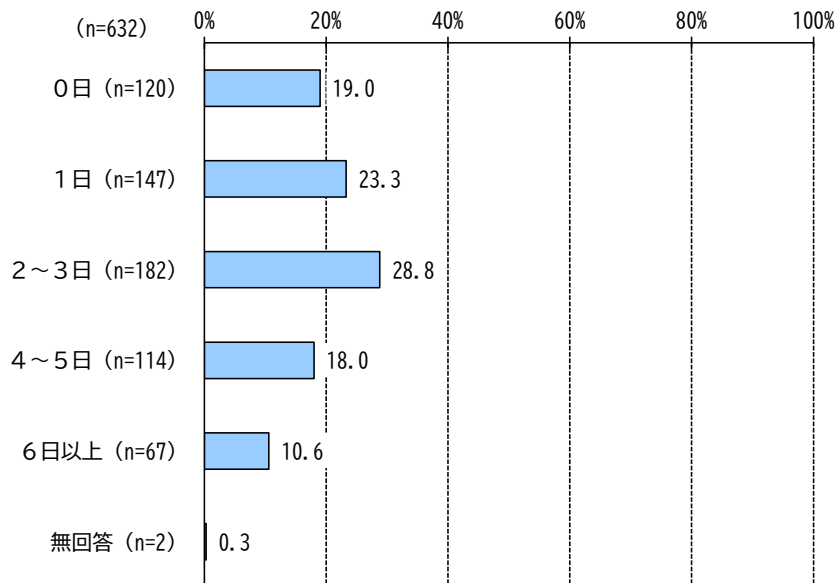
問1 お子さんは、体を動かす遊びや運動を1週間のうち、どのくらい行っていますか。

(あてはまるもの1つに○)

【全体】

- 体を動かす遊びや運動の実施頻度について、「2～3日」が28.8%、次いで「1日」が23.3%、「0日」が19.0%となっています。

【図 13-1 体を動かす遊びや運動の実施頻度】



※在籍している教育・保育施設や学校等での活動は含みません。

※運動とは、息が弾み、軽く汗をかく程度のものをいいます。

例：ウォーキング、サイクリング、フィットネス（ヨガやストレッチ）等

【問1で「1日」「2～3日」「4～5日」「6日以上」と回答した人にお聞きします。】

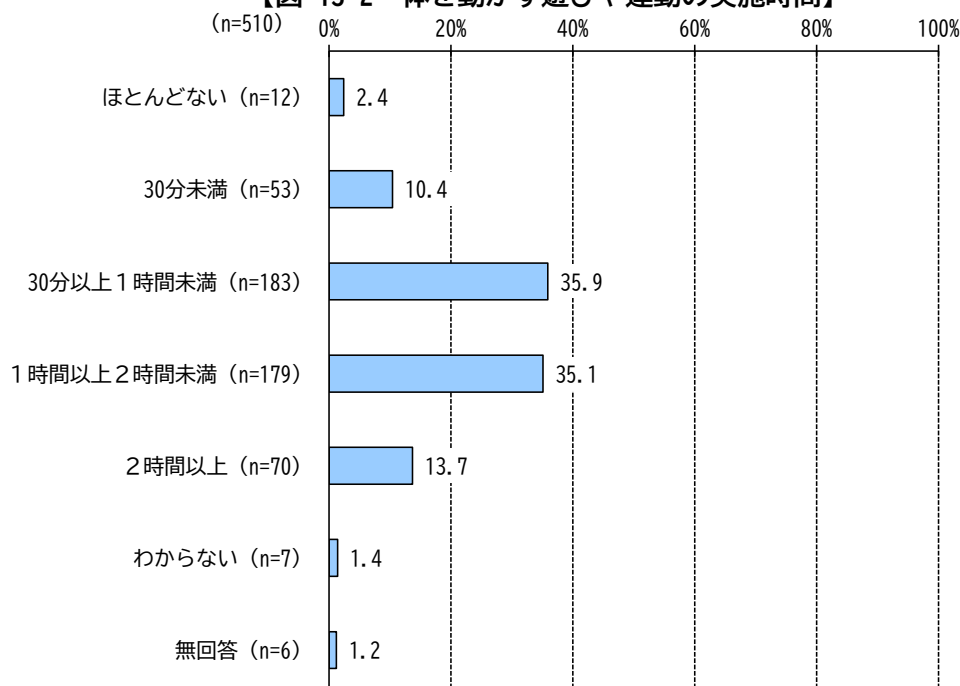
問1-1 体を動かす遊びや運動をする日は、1日あたり平均してどのくらい行っていますか。

(あてはまるもの1つに○)

【全体】

- 体を動かす遊びや運動の実施時間について、「30分以上1時間未満」が35.9%、次いで「1時間以上2時間未満」が35.1%、「2時間以上」が13.7%となっています。

【図 13-2 体を動かす遊びや運動の実施時間】

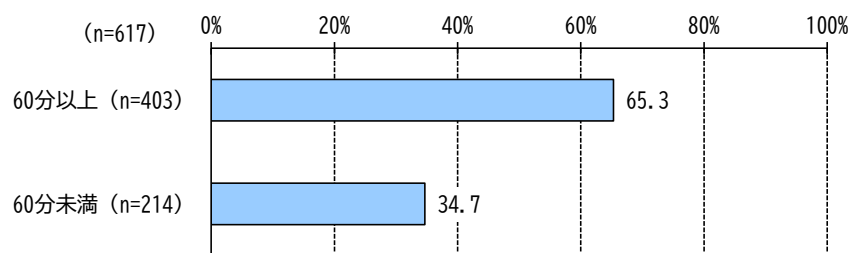


## 1週間の総運動時間（体育授業等を除く）

### 【全体】

- 1週間の総運動時間（体育授業等を除く）について、「60分以上」が65.3%、「60分未満」が34.7%となっています。

【図 13-3 1週間の総運動時間（体育授業等を除く）】



※ 1週間の総運動時間（体育授業等を除く）は、問1の運動実施頻度と問1-1の運動の実施時間を乗じて算出しています。

## (5) お子さんのこころの健康等について

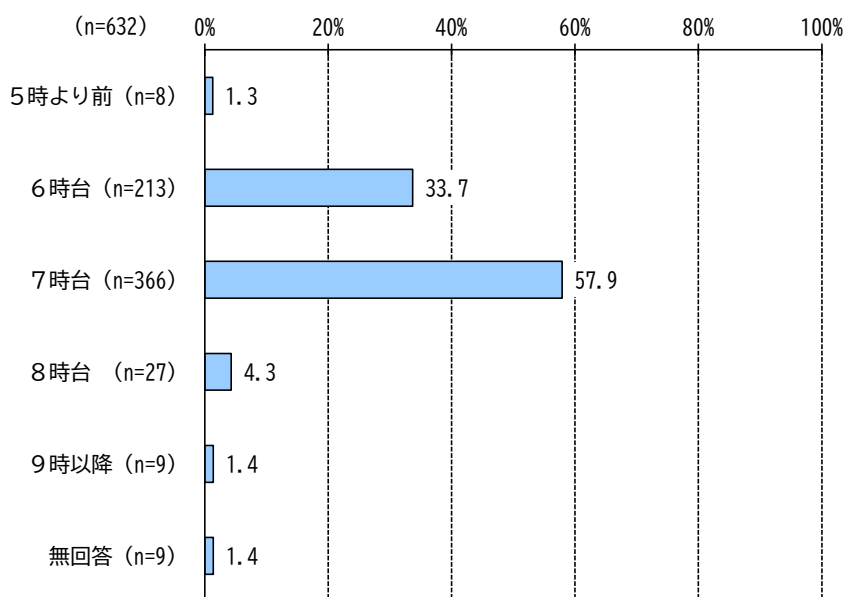
問1 お子さんの起床時間・就寝時間は何時頃ですか。

※30分単位でご回答ください。

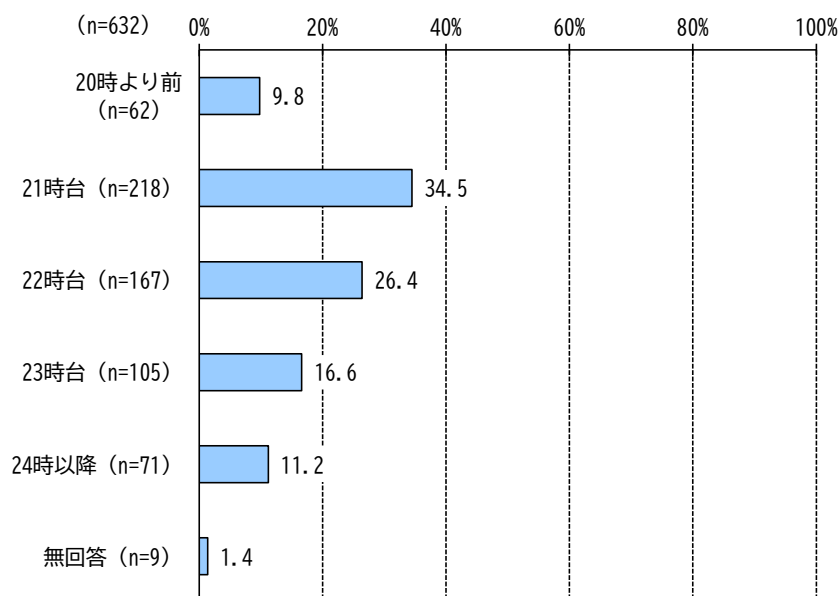
### 【全体】

- 起床時間について、「7時台」が 57.9%、次いで「6時台」が 33.7%、「8時台」が 4.3%となっています。
- 就寝時間について、「21時台」が 34.5%、次いで「22時台」が 26.4%、「23時台」が 16.6%となっています。
- 睡眠時間について、「9時間以上 10 時間未満」が 37.2%、次いで「8時間以上9時間未満」が 22.0%、「10時間以上」が 20.7%となっています。
- 睡眠時間の目安を満たす児童について、「満たしている」が 56.0%、「満たしていない」が 42.4%となっています。

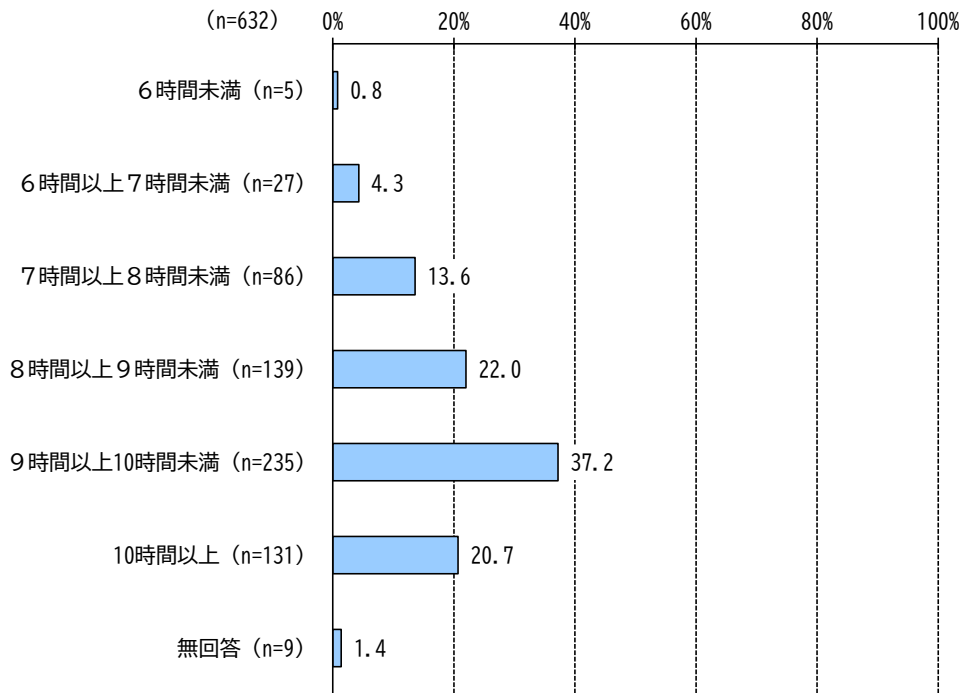
【図 14-1 起床時間】



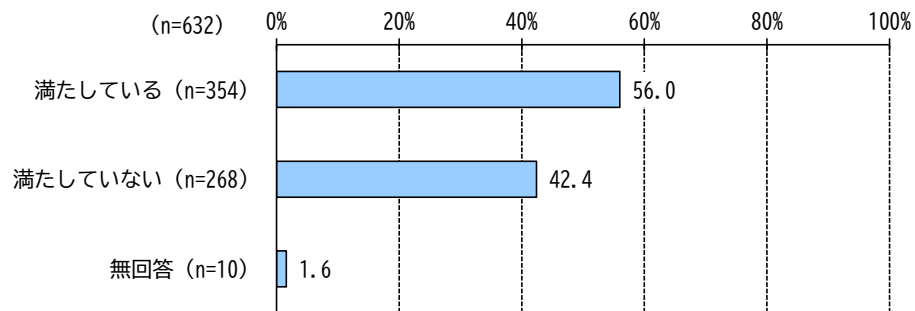
【図 14-2 就寝時間】



【図 14-3 睡眠時間】



【図 14-4 睡眠時間の目安を満たす児童】



※以下の条件を満たす人が「満たしている」となります。

未就学児(2歳)：11時間以上14時間以下

未就学児(3～5歳)：10時間以上13時間以下

小学生：9時間以上12時間以下

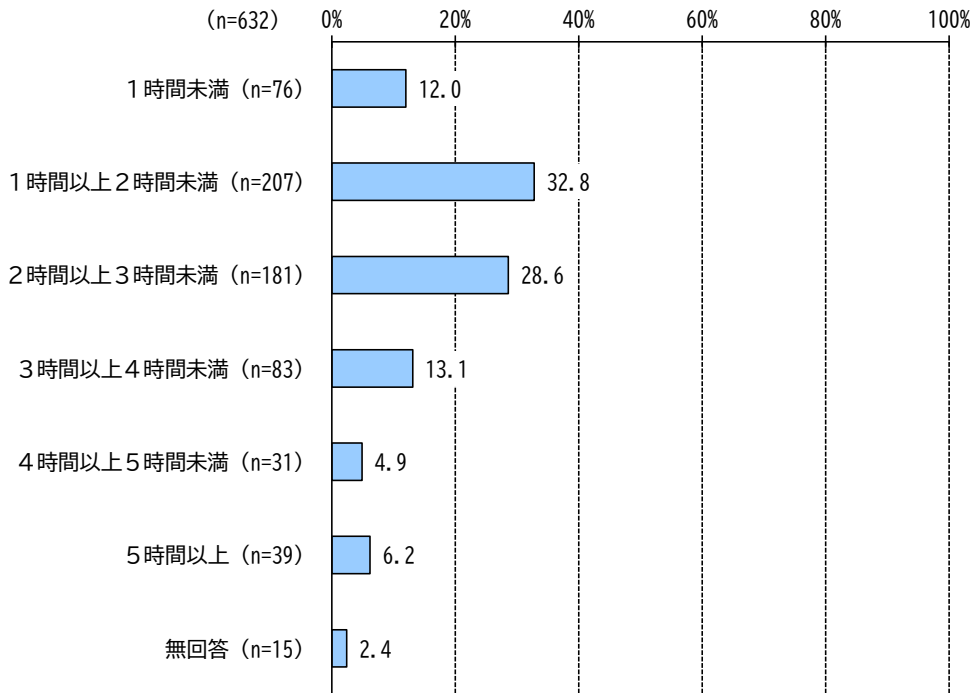
中学生～17歳：8時間以上10時間以下

なお、厚生労働省「健康づくりのための睡眠ガイド 2023」に基づき、設定したものです。

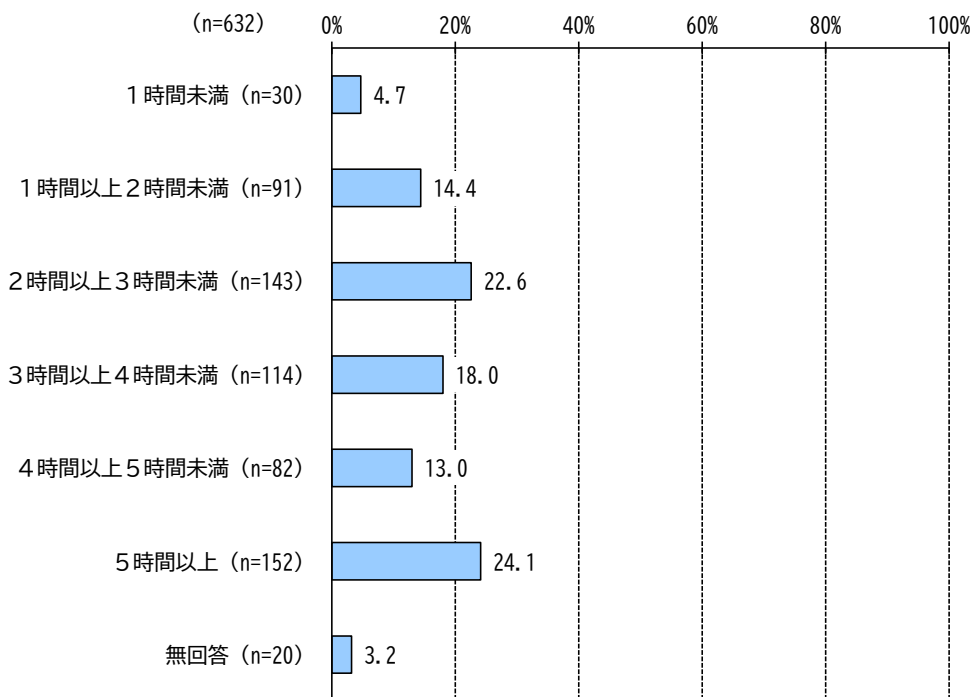
問2 この1か月間、お子さんがテレビ、スマートフォン、ゲーム機等を利用している時間は1日どのくらいですか。(勉強での視聴を除く)

- 【全体】
- 平日について、「1時間以上2時間未満」が32.8%、次いで「2時間以上3時間未満」が28.6%、「3時間以上4時間未満」が13.1%となっています。
  - 休日について、「5時間以上」が24.1%、次いで「2時間以上3時間未満」が22.6%、「3時間以上4時間未満」が18.0%となっています。

【図 14-5 メディアの利用時間（平日）】



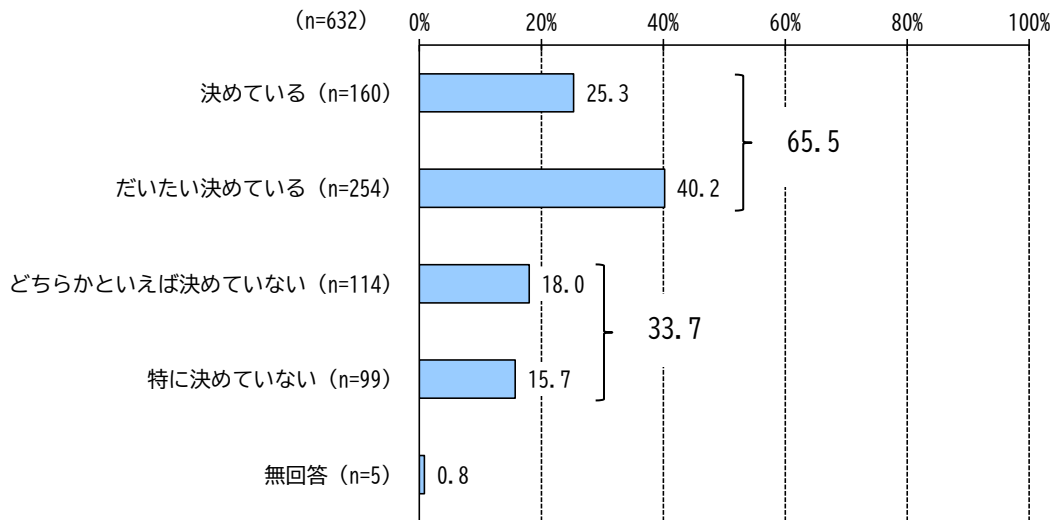
【図 14-6 メディアの利用時間（休日）】



問3 お子さんに対し、テレビ、スマートフォン、ゲーム機等の利用時間のルールを決めていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 【全体】
- メディアの利用時間のルールについて、「だいたい決めている」が40.2%、次いで「決めている」が25.3%、「どちらかといえば決めている」が18.0%となっています。
  - 「決めている」「だいたい決めている」を合わせた“決めている人”は65.5%となっており、「どちらかといえば決めている」「特に決めている」を合わせた“決めている人”は33.7%となっています。

【図 14-7 メディアの利用時間のルール】



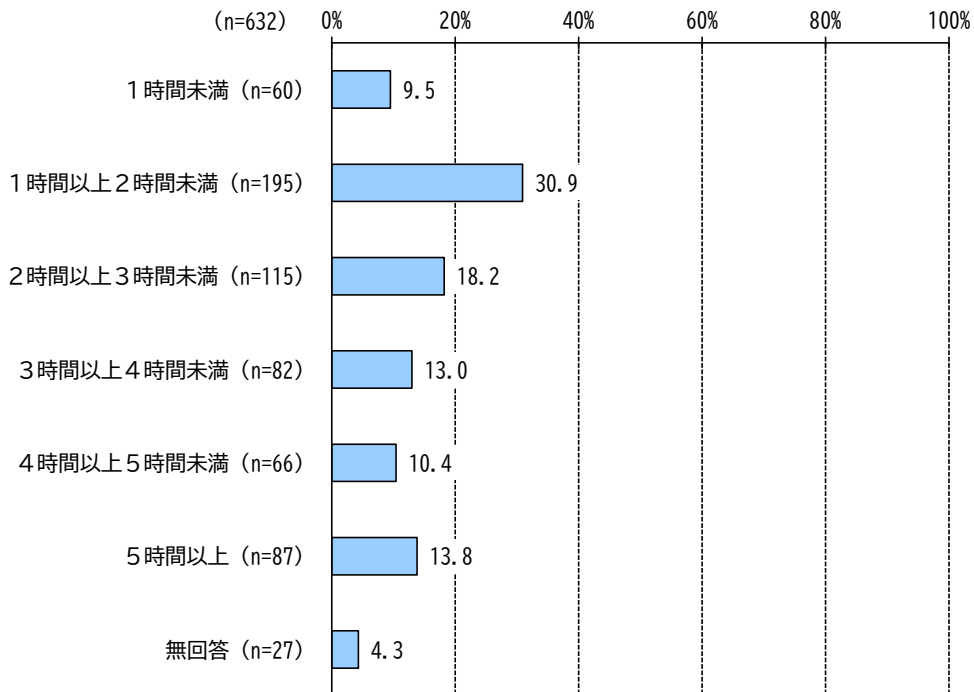
※メディアとは、テレビ、スマートフォン、ゲーム機等をいいます。

問4 お子さんとコミュニケーションをとる時間は1日どのくらいありますか。

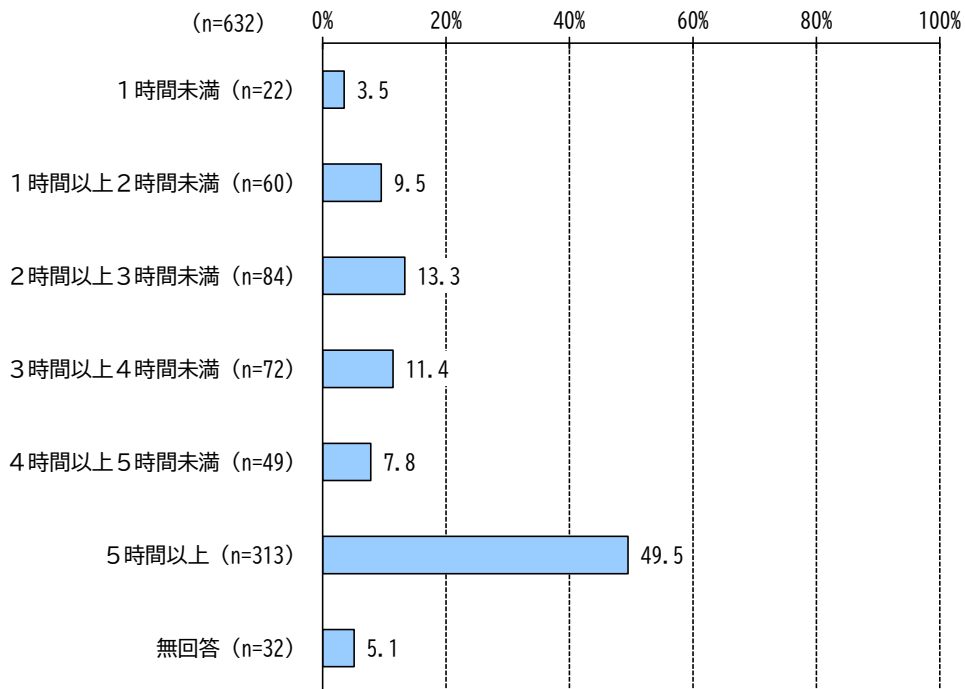
【全体】

- 平日について、「1時間以上2時間未満」が30.9%、次いで「2時間以上3時間未満」が18.2%、「5時間以上」が13.8%となっています。
- 休日について、「5時間以上」が49.5%、次いで「2時間以上3時間未満」が13.3%、「3時間以上4時間未満」が11.4%となっています。

【図 14-8 子供とコミュニケーションをとる時間（平日）】



【図 14-9 子供とコミュニケーションをとる時間（休日）】



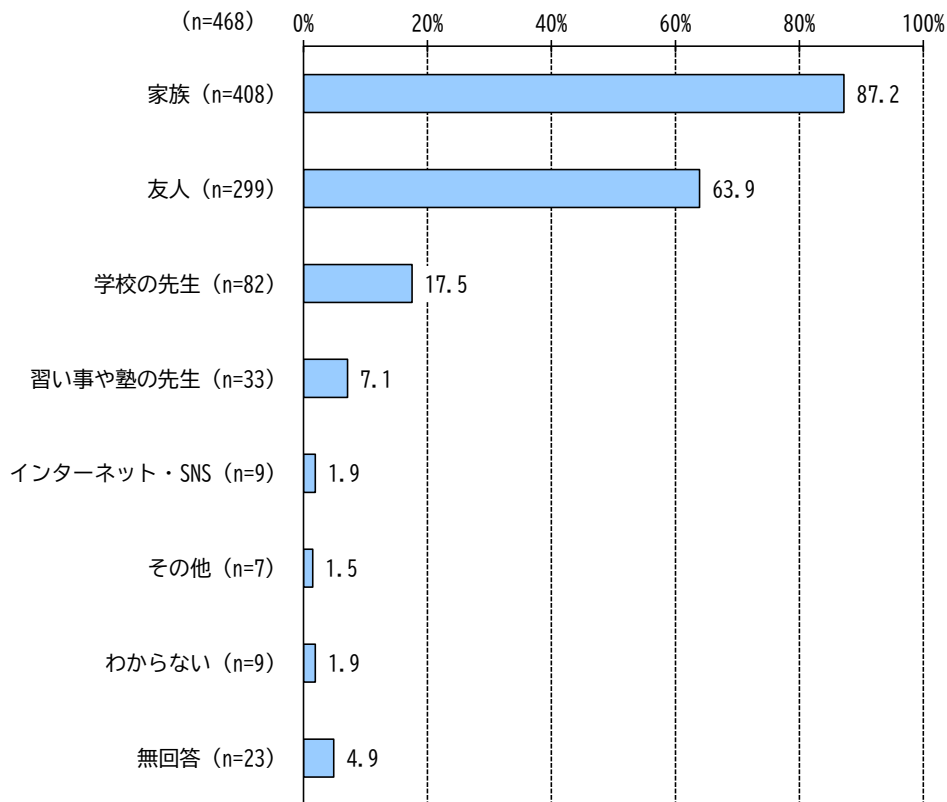
【小学生以上のお子さん本人にお聞きします。】

問5 日常的に思ったことを、ふだん、誰に話しますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

○ 日常的に思ったことを話す相手について、「家族」が 87.2%、次いで「友人」が 63.9%、「学校の先生」が 17.5%となっています。

【図 14-10 日常的に思ったことを話す相手】



※本設問は小学生以上の子供本人を対象としていますが、本人による回答が難しい場合は、保護者が回答しています。

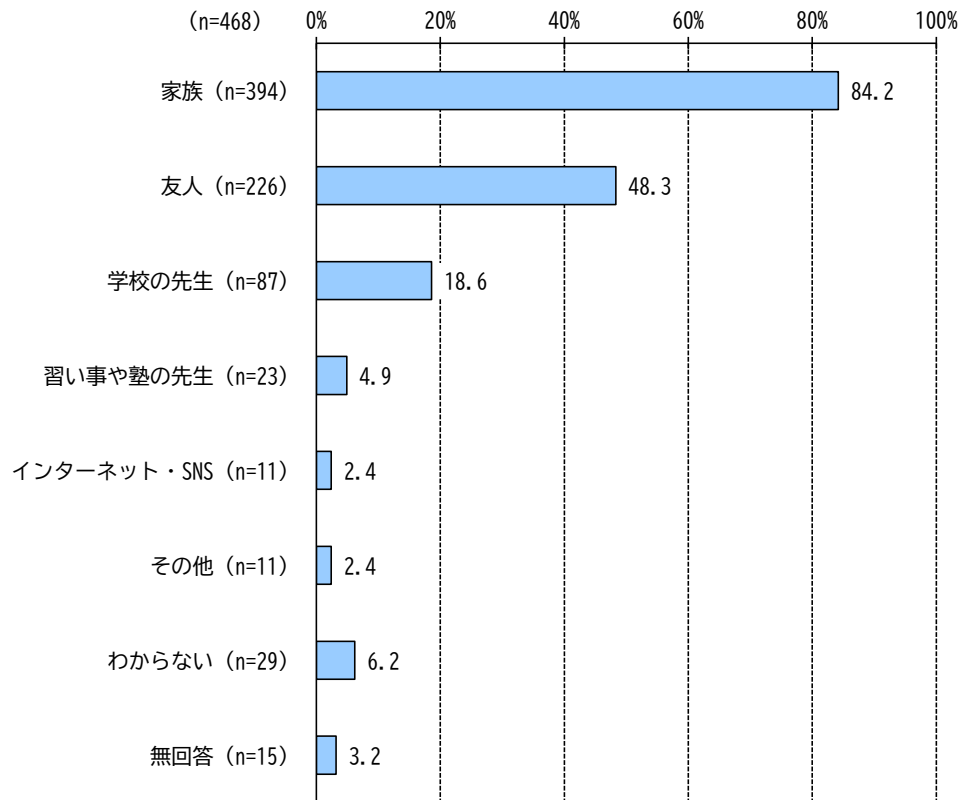
【小学生以上のお子さん本人にお聞きします。】

問6 悩みや不安を感じたときに誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

○ 悩みや不安を感じたときの相談相手について、「家族」が84.2%、次いで「友人」が48.3%、「学校の先生」が18.6%となっています。

【図 14-11 悩みや不安を感じたときの相談相手】



※本設問は小学生以上の子供本人を対象としていますが、本人による回答が難しい場合は、保護者が回答しています。

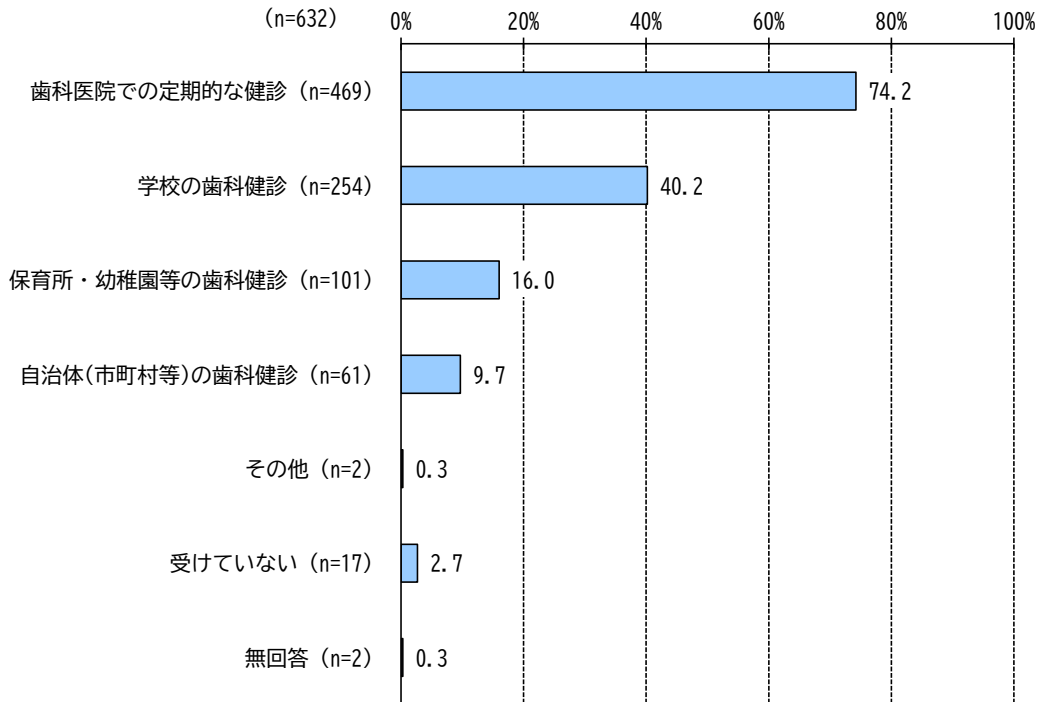
## (6) お子さんの歯の健康等について

問1 お子さんは、この1年間にどの歯科健診を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- 歯科健診の受診状況について、「歯科医院での定期的な健診」が74.2%、次いで「学校の歯科健診」が40.2%、「保育所・幼稚園等の歯科健診」が16.0%となっています。

【図 15-1 歯科健診の受診状況】

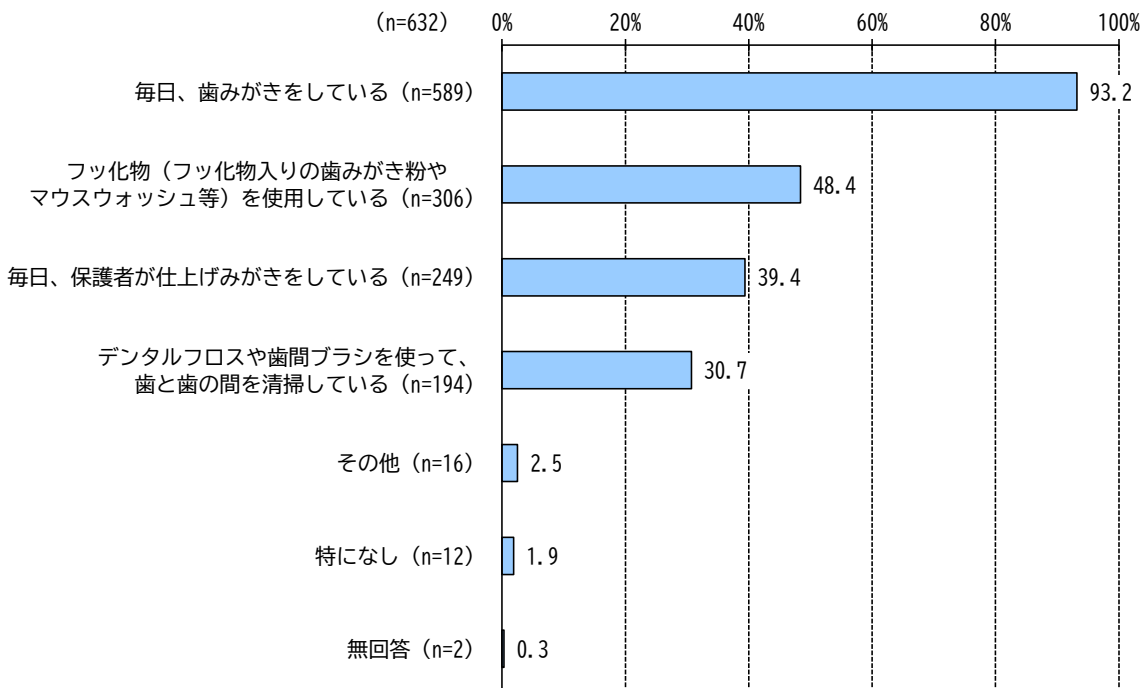


問2 お子さんのむし歯予防のために気を付けていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- むし歯予防のために気を付けていることについて、「毎日、歯みがきをしている」が93.2%、次いで「フッ化物（フッ化物入りの歯みがき粉やマウスウォッシュ等）を使用している」が48.4%、「毎日、保護者が仕上げみがきをしている」が39.4%となっています。

【図 15-2 むし歯予防のために気を付けていること】



※デンタルフロスとは、歯と歯のすき間に通して、歯ブラシでは届かない汚れを取り除く糸のことをいいます。

※歯間ブラシとは、歯と歯のすき間に差し込んで、汚れをかき出す小さなブラシのことをいいます。

(7) お子さんの周りの喫煙状況等について

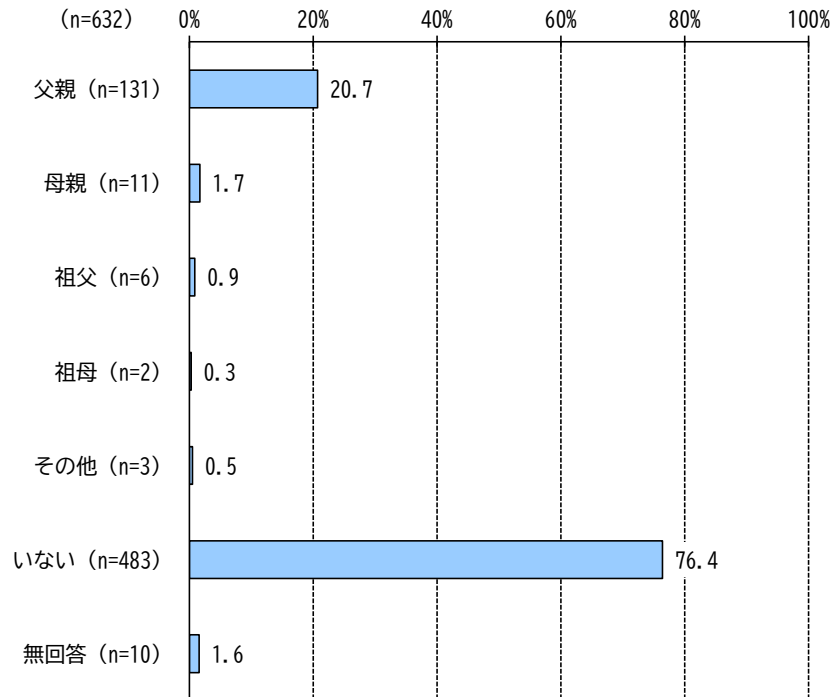
問1 お子さんと同居している家族の中に、たばこを吸う人（喫煙者）はいますか。（あてはまるものすべてに○）

※続柄はお子さんからみた関係でお答えください。

【全体】

○ 喫煙者の有無について、「いない」が 76.4%、次いで「父親」が 20.7%、「母親」が 1.7%となっています。

【図 16-1 喫煙者の有無】



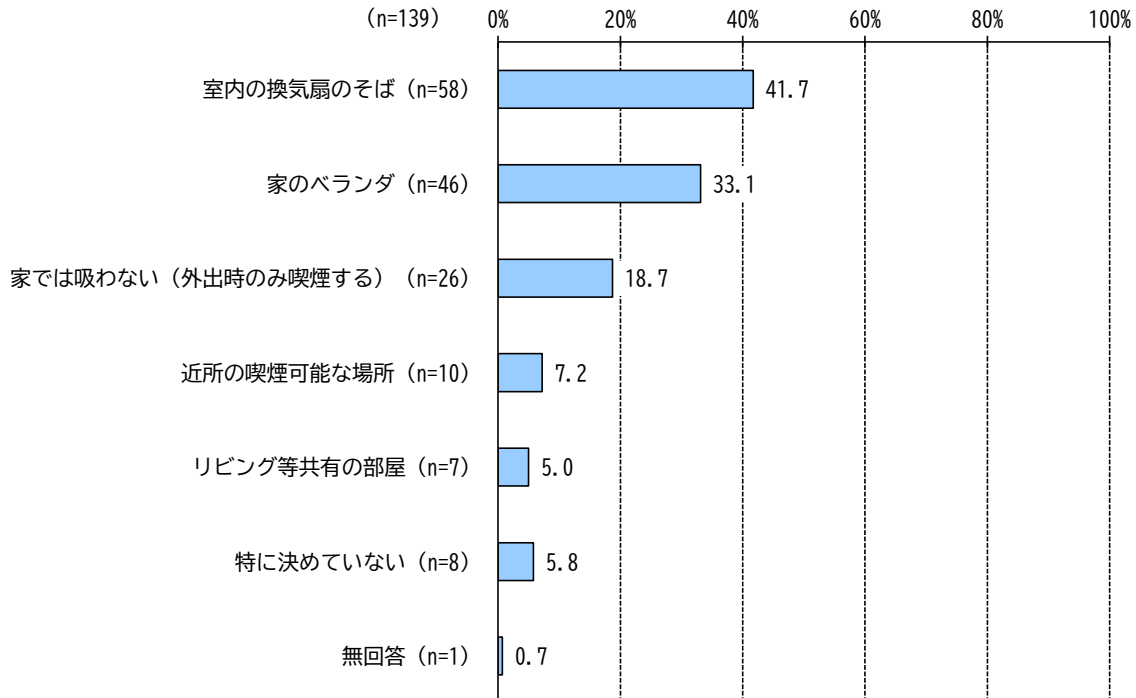
【問1で「父親」「母親」「祖父」「祖母」「その他」と回答した人にお聞きします。】

問1-1 ご家庭の喫煙場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

○ 喫煙者の続柄について、「室内の換気扇のそば」が41.7%、次いで「家のベランダ」が33.1%、「家では吸わない(外出時のみ喫煙する)」が18.7%となっています。

【図 16-2 喫煙者の続柄】



問2 お子さんをたばこの害から守るために気を付けていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

○ たばこの害から守るために気を付けていることについて、「喫煙者が多い場所を避ける」が48.6%、次いで「たばこの害を教える」が38.0%、「特になし」が27.2%となっています。

【図 16-3 たばこの害から守るために気を付けていること】

